

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	2023年4月10日提出
【発行者名】	日興アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 ステファニー・ドゥルーズ
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂九丁目7番1号
【事務連絡者氏名】	新屋敷 昇
【電話番号】	03-6447-6147
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	GW7つの卵
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	5兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

第一部【証券情報】**（１）【ファンドの名称】**

GW7つの卵（以下「ファンド」といいます。）

（２）【内国投資信託受益証券の形態等】

- ・追加型証券投資信託受益権です。（以下「受益権」といいます。）
- ・信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供された信用格付、または信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供される予定の信用格付はありません。

ファンドの受益権は、社債、株式等の振替に関する法律の規定の適用を受け、受益権の帰属は、後述の「（11）振替機関に関する事項」に記載の振替機関および当該振替機関の下位の口座管理機関（社債、株式等の振替に関する法律第2条に規定する「口座管理機関」をいい、振替機関を含め、以下「振替機関等」といいます。）の振替口座簿に記載または記録されることにより定まります（以下、振替口座簿に記載または記録されることにより定まる受益権を「振替受益権」といいます。）。委託会社は、やむを得ない事情などがある場合を除き、当該振替受益権を表示する受益証券を発行しません。また、振替受益権には無記名式や記名式の形態はありません。

（３）【発行（売出）価額の総額】

5兆円を上限とします。

（４）【発行（売出）価格】

取得申込受付日の翌営業日の基準価額とします。

- ・基準価額につきましては、販売会社または「（８）申込取扱場所」の照会先にお問い合わせください。

（５）【申込手数料】

販売会社が定めるものとします。申込手数料率につきましては、販売会社の照会先にお問い合わせください。

- ・販売会社における申込手数料率は3.3%（税抜3%）が上限となっております。

（６）【申込単位】

販売会社の照会先にお問い合わせください。

（７）【申込期間】

2023年4月11日から2023年10月10日までとします。

- ・上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。

（８）【申込取扱場所】

販売会社につきましては、委託会社の照会先にお問い合わせください。

< 委託会社の照会先 >

日興アセットマネジメント株式会社

ホームページ アドレス www.nikkoam.com/

コールセンター 電話番号 0120-25-1404

午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

(9) 【払込期日】

- ・取得申込者は、申込金額を販売会社が指定する期日までに販売会社に支払うものとします。
- ・申込期間における各取得申込受付日の発行価額の総額（設定総額）は、販売会社によって、追加設定が行なわれる日に委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払い込まれます。

(1 0) 【払込取扱場所】

申込金額は、販売会社にお支払いいただきます。

(1 1) 【振替機関に関する事項】

振替機関は、株式会社証券保管振替機構とします。

(1 2) 【その他】

該当事項はありません。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(1)【ファンドの目的及び基本的性格】

ファンドの目的

主に、世界各国の株式、債券に国際分散投資を行なうことで、中長期的な信託財産の成長をめざします。

ファンドの基本的性格

1) 商品分類

単体型投信・追加型投信	投資対象地域	投資対象資産 (収益の源泉)
単体型投信	国内	株式
	海外	債券
追加型投信		不動産投信
	内外	その他資産 ()
		資産複合

(注) 当ファンドが該当する商品分類を網掛け表示しています。

追加型投信

一度設定されたファンドであってもその後追加設定が行なわれ従来の信託財産とともに運用されるファンドをいいます。

内外

目論見書または投資信託約款において、国内および海外の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。

資産複合

目論見書または投資信託約款において、複数の資産による投資収益を実質的に源泉とする旨の記載があるものをいいます。

2) 属性区分

投資対象資産	決算頻度	投資対象地域	投資形態	為替ヘッジ
株式 一般	年1回	グローバル (含む日本)		
大型株 中小型株	年2回	日本		
債券 一般	年4回	北米	ファミリーファンド	あり ()
公債	年6回 (隔月)	欧州		
社債	年12回 (毎月)	アジア		
その他債券 クレジット属性 ()	日々	オセアニア		
不動産投信	その他 ()	中南米	ファンド・オブ・ ファンズ	なし
その他資産 (投資信託証券(資 産複合 資産配分 固定型(株式、債 券)))		アフリカ		
資産複合 ()		中近東 (中東)		
資産配分固定型 資産配分変更型		エマージング		

(注) 当ファンドが該当する属性区分を網掛け表示しています。

その他資産（投資信託証券（資産複合 資産配分固定型（株式、債券）））

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式および債券に投資を行いません。よって、商品分類の「投資対象資産（収益の源泉）」においては、「資産複合」に分類されます。

「資産配分固定型」とは、目論見書または投資信託約款において、複数資産を投資対象とし、組入比率については固定的とする旨の記載があるものをいいます。

年1回

目論見書または投資信託約款において、年1回決算する旨の記載があるものをいいます。

グローバル（含む日本）

目論見書または投資信託約款において、組入資産による投資収益が日本を含む世界の資産を源泉とする旨の記載があるものをいいます。

ファミリーファンド

目論見書または投資信託約款において、親投資信託（ファンド・オブ・ファンズにのみ投資されるものを除きます。）を投資対象として投資するものをいいます。

為替ヘッジなし

目論見書または投資信託約款において、為替のヘッジを行わない旨の記載があるものまたは為替のヘッジを行なう旨の記載がないものをいいます。

属性区分に記載している「為替ヘッジ」は、対円での為替変動リスクに対するヘッジの有無を記載しております。

上記は、一般社団法人投資信託協会が定める分類方法に基づき記載しています。

上記以外の商品分類および属性区分の定義につきましては、一般社団法人投資信託協会のホームページ (<https://www.toushin.or.jp/>) をご参照ください。

ファンドの特色

1

世界各国から7つの資産を選び、国際分散投資を行ないます。そして、効率的な資産配分を考えます。

世界各国の株式・債券から7つの資産を選び、国際分散投資を行なうことで中長期的な信託財産の成長をめざします。

2

7つの資産は、それぞれの分野に強みをもつスペシャリストが運用します。

7つの資産の運用は、それぞれの分野に強みを持つ運用アドバイザーが各マザーファンドを通じて行ないます。

3

資産配分および運用アドバイザーの決定は、日興グローバルラップ（日興GW）の助言をもとに日興アセットマネジメントが行ないます*。

日興GWが、中期的な市況見通しに応じて資産配分の助言を行ないます。また、各マザーファンドの運用状況を日々モニタリングし、必要な場合には運用アドバイザー交代の助言を行ないます。

*最終的な運用アドバイザーの決定は、日興GWに加えて日興アセットマネジメント アメリカズ・インク(NAM アメリカズ)からの情報提供や助言をもとに、日興アセットマネジメントが行ないます。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

投資の格言

「すべての卵をひとつの籠に入れるな」(Don't put all your eggs in one basket.)という格言があるように、「分散」は古くから投資の知恵として重んじられてきました。ひとつの籠にすべての卵を入れると、籠を落としたときに全部割れてしまいますが、いくつかの籠に分けて入れておけば、籠をひとつ落としたとしても他の籠の卵は無事です。



※イメージ図です。

これを資産運用の世界に置き換えると、すべての資金をひとつの資産に集中せず、値動きの異なる傾向のある複数の資産に分散投資することで安定的なリターンが期待できることを言います。



世界各国から7つの資産を選び、国際分散投資を行ないます。
そして、効率的な資産配分*1を考えます。

[投資対象となる7資産]



[基本ポートフォリオ]

2023年4月11日現在



国内49%：海外51% 株式68%：債券32%

分散投資効果をもとめるため、日本株式を大型・小型に分類し、海外株式を地域分割するなど、投資対象資産を7つに細分化しています。

長期投資の観点から、効率的な資産配分*1を構築し、中期的な市況見通しを加味した上で、資産配分を決定します*2。

- *1 「効率的な資産配分」とは、期待されるリターンが同じ水準にある場合、リターンのブレが最も小さくなると判断される配分を指します。
*2 当ファンドでは、長期投資の観点から構築される資産配分を「基本ポートフォリオ」、中期的な市況見通しを加味して構築される資産配分を「推奨ポートフォリオ」と呼びます。

株式や債券などの資産には、値動きがあります。

株式は景気上昇期に値上がりする傾向があるのに対し、債券は景気下降期に値上がりする傾向があり、一般に、株式と債券は、景気変動による値動きの傾向が異なります。

また、景気は地域によっても状況が異なるなど、さまざまな影響を受けて変動します。

[各資産の年間リターン(2003年～2022年、円ベース)]

(%)

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	
株 式	日本大型株式	22.8	10.2	44.5	6.3	-9.8	-42.3	7.7	1.0	-18.6	20.5	54.8	9.8	11.7	-0.2	21.0	-15.5	19.0	9.5	13.6	-3.6
	日本小型株式	36.6	21.8	57.7	-13.5	-16.0	-33.2	8.8	4.2	-7.1	18.4	52.9	13.1	16.1	4.8	30.2	-19.8	17.0	-0.6	8.3	1.3
	北米株式	17.5	6.4	23.2	16.6	0.9	-49.5	32.8	1.0	-4.6	29.9	58.5	28.4	0.1	8.9	17.5	-7.7	30.2	14.6	41.6	-7.3
	欧州先進国株式	25.7	16.1	26.6	35.6	7.3	-56.2	40.5	-9.0	-15.1	34.8	53.1	7.6	-2.0	-2.8	21.9	-16.6	23.4	0.6	30.5	-2.1
	アジア太平洋先進国株式	32.8	23.9	32.3	34.4	23.5	-59.5	77.7	2.0	-17.2	40.2	28.4	13.7	-8.0	4.7	21.7	-12.5	17.4	1.3	16.9	7.9
債 券	日本債券	-0.7	1.3	0.8	0.2	2.7	3.4	1.4	2.4	1.9	1.9	2.0	4.2	1.1	3.0	0.2	1.0	1.6	-0.8	-0.1	-5.2
	海外債券	5.7	7.3	10.1	10.0	4.5	-15.5	7.4	-12.7	0.2	20.4	22.7	16.4	-4.5	-3.0	4.7	-4.5	5.5	5.9	4.6	-6.1

※表は、各資産のインデックスの年間騰落率を示したものです。

※各資産の騰落率の算出に使用したインデックスについては、後述の「各マザーファンドとベンチマーク・インデックスについて」をご覧ください。



7つの資産は、それぞれの分野に強みを持つ スペシャリストが運用します。

〔運用アドバイザー〕



・上記運用アドバイザーは有価証券届出書提出日現在のものであり、今後変更される可能性があります。

日興GWが運用アドバイザーの運用状況をモニタリングし、必要な場合には運用アドバイザー交代助言を行ないます。

〔運用アドバイザーの評価・選定プロセス〕



資産配分および運用アドバイザーの決定は、 日興GWの助言をもとに日興アセットマネジメントが行ないます*1。

*1 最終的な運用アドバイザーの決定は、日興GWに加えてNAM アメリカズからの情報提供や助言をもとに、日興アセットマネジメントが行ないます。

日興GW：日興グローバルラップ株式会社

日興GWは、運用アドバイザーの評価・選定や資産配分の策定など、資産運用サービスをご提供するコンサルティング・カンパニーです。前身の「株式会社グローバルラップ・コンサルティング・グループ」は1998年2月設立。1990年代に米国で急拡大した「投資信託ラップ」を日本で初めて導入しました。

NAM アメリカズ：日興アセットマネジメント アメリカズ・インク

NAM アメリカズは、日興アセットマネジメント・グループ*2の傘下にあるグローバル運用の米国拠点です。「GW7つの卵」の運用アドバイザーを決定する際、日興アセットマネジメントへの情報提供や助言を行ないます。

*2 「日興アセットマネジメント・グループ」とは日興アセットマネジメント株式会社とそのグループ会社の総称です。

運用アドバイザーについて

日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド

●JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

世界最大級の総合金融サービスグループの資産運用会社

「JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーの資産運用部門」「JPモルガン・アセット・マネジメント」グループの一員で、グループ全体での運用資産総額は約312兆円(2022年12月末現在)。ファンダメンタルズ分析をベースに資産の均衡価値と市場価格との乖離を捉えることにより、超過収益の獲得を図る。



日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド

●スパークス・アセット・マネジメント株式会社

徹底した企業訪問調査に基づく投資を行なう運用会社

国内独立系の資産運用グループ。「マクロはミクロの集積」という仮説のもと、「徹底した企業調査をベースにした運用」という投資哲学を持つ。経済構造が変革する中で成長する新興企業や、既存の産業の中で自ら体質改善を図りながら成長を捉えようとする企業に選別投資する。グループ全体での運用資産総額は約1兆4,754億円(2022年12月末現在)。



北米株式グローバル・ラップマザーファンド

●ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・U.S.エルエルシー

綿密なファンダメンタルズ分析に基づく銘柄選択に重点を置く株式運用

ニューヨーク証券取引所およびオーストラリア証券取引所に上場しているグローバル・アクティブ運用会社であるジャナス・ヘンダーソン・グループの一員。同グループの総運用資産残高は約40兆円(2022年9月末現在)。ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・U.S.エルエルシーの株式運用は、企業利益の中長期的成長性や競争優位性の高い銘柄を見極め、より多くの情報とアナリストが推奨する最良の投資アイデアの中から、ボトムアップアプローチによる銘柄選択によって超過収益の獲得をめざす。



欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド

●MFSインターナショナル(U.K.)リミテッド

米国最古の運用会社であるMFSグループの英国法人

MFSグループは世界各地にリサーチ拠点を置くグローバルな運用会社で、米国投信の産みの親として長い歴史を持つ。産業・企業の徹底したファンダメンタルズ分析を行ない、継続的に高い収益成長が期待できるクオリティの高い企業を発掘し、相対的に割安な株価水準で組入れを図る。グループ全体の運用資産総額は約72兆円(2022年12月末現在)。



アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド

●シュローダー・インベストメント・マネージメント(シンガポール)リミテッド

英国を本拠とするグローバル資産運用グループのアジア拠点

シュローダーグループの国際運用拠点の1つ。投資対象市場や投資対象企業について実施される徹底した調査・分析によって、本来の投資価値に比べて株価水準が割安な銘柄を見極め、またマクロ分析に基づく個別配分を組合せ、リスクコントロールに配慮しながらポートフォリオを構築する。グループ全体での運用資産総額は約122兆円(2022年9月末現在)。



日本債券グローバル・ラップマザーファンド

●三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

国内唯一の専門信託銀行グループである「三井住友トラスト・グループ」の中核を成す資産運用会社

三井住友トラスト・アセットマネジメントは、三井住友トラスト・グループの中核を成す資産運用会社であり、資産運用で高い専門性を有する。長期的な市場動向が中短期的な「市場テーマ(=市場が注目する材料)」の積み重ねにより構成されていると考えており、マーケット動向、マクロ動向、クレジット動向の月次調査・分析により、独自に市場テーマを追求し、投資行動に効果的に反映することで超過収益の獲得をめざす。なお、運用資産総額は約81.5兆円(2022年12月末現在)。



海外債券グローバル・ラップマザーファンド

●ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー

機関投資家向け運用サービスに特化した独立系運用会社

自社ブランドでの投信販売は行わず、運用業務に専念。世界の機関投資家に運用サービスを提供し、グループ全体の運用資産額は約152兆円(2022年12月末現在)。「専門性を持ったリサーチ」、「分散されたアルファ源泉における多様な戦略」、「統合されたリスク管理」を通じて、超過収益の獲得をめざす。



※上記の運用アドバイザーは有価証券届出書提出日現在のものであり、将来変更する場合があります。

※上記内容は、各社提供の情報に基づいて作成しています。

ファンドの仕組み

■当ファンドは、主にマザーファンドに投資するファミリーファンド方式で運用を行ないます。



■主な投資制限

- ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。
- ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。

■分配方針

毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

【各マザーファンドとベンチマーク・インデックスについて】

各マザーファンドにおけるベンチマーク・インデックスは、以下のとおりです。

- 日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド…………… ラッセル野村大型インデックス
- 日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド…………… ラッセル野村小型インデックス
- 北米株式グローバル・ラップマザーファンド…………… MSCI北米インデックス(ヘッジなし・円ベース*)
- 欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド…………… MSCI欧州インデックス(ヘッジなし・円ベース*)
- アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド…………… MSCI太平洋フリー・インデックス
マザーファンド (日本を除く、ヘッジなし・円ベース*)
- 日本債券グローバル・ラップマザーファンド…………… NOMURA-BPI総合
- 海外債券グローバル・ラップマザーファンド…………… FTSE世界国債インデックス
(除く日本、ヘッジなし・円ベース*)

*ヘッジなし・円ベースとは、現地通貨ベースの指数をヘッジを行わずに円換算したものです。

※ラッセル野村大型インデックスおよびラッセル野村小型インデックスの知的財産権およびその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(以下「NFRIC」)およびFrank Russell Companyに帰属します。なお、NFRICおよびFrank Russell Companyは、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行なわれる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

※NOMURA-BPI総合は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(以下「NFRIC」)が公表している指数で、その知的財産権はNFRICに帰属します。なお、NFRICは、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行なわれる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

※MSCI指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

※FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

情報提供サービスを充実させています。

ファンドの運用実績、パフォーマンスの要因分析、世界の市況・経済動向、各マザーファンドの運用状況等についてご説明しています。



マンズリーレポート
(原則、毎月9営業日目作成)



スペシャルレビュー
(原則、毎年1月作成)

それぞれ、日興アセットマネジメントのホームページ(アドレス www.nikkoam.com/)に掲載されます。

信託金限度額

- ・1兆円を限度として信託金を追加することができます。
- ・委託会社は受託会社と合意のうえ、当該限度額を変更することができます。

(2) 【ファンドの沿革】

2003年 2月28日

- ・ファンドの信託契約締結、運用開始

2004年12月28日

- ・「日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド」における投資顧問会社の変更

2005年12月 9日

- ・「日本債券グローバル・ラップマザーファンド」、「北米株式グローバル・ラップマザーファンド」、「アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド」における投資顧問会社の変更など、ならびに「海外債券グローバル・ラップマザーファンド」における運用指図権限の範囲の変更

2008年11月18日

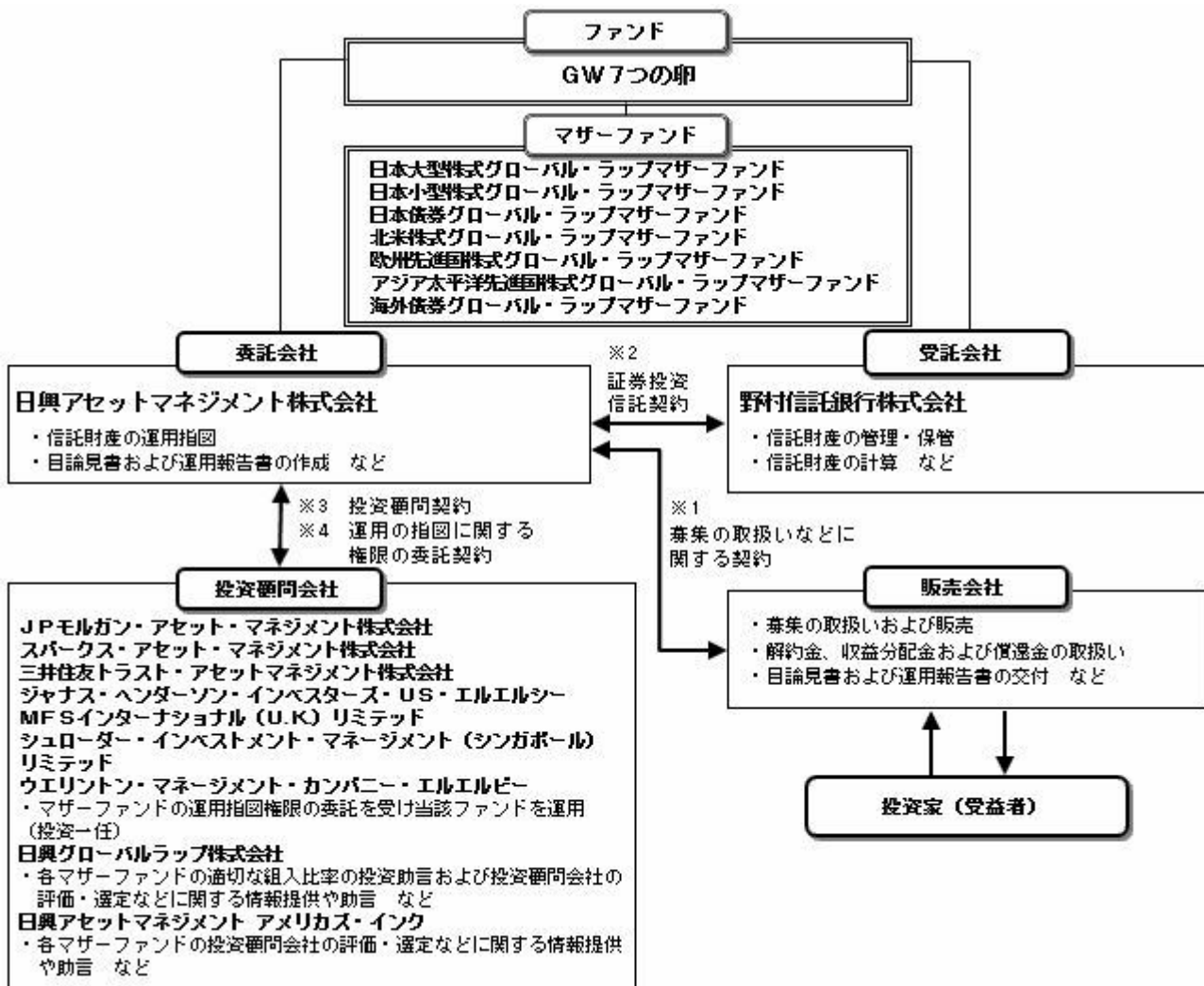
- ・「北米株式グローバル・ラップマザーファンド」、「欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド」における投資顧問会社の変更など

2010年 5月18日

- ・「海外債券グローバル・ラップマザーファンド」における投資顧問会社の変更

(3) 【ファンドの仕組み】

ファンドの仕組み



- 1 投資信託を販売するルールを委託会社と販売会社の間で規定したものの。販売会社が行なう募集の取扱い、収益分配金・償還金の支払い、解約請求の受付の業務範囲の取決めの内容などが含まれています。
- 2 投資信託を運営するルールを委託会社と受託会社の間で規定したものの。運用の基本方針、投資対象、投資制限、信託報酬、受益者の権利、募集方法の取決めの内容などが含まれています。
- 3 投資顧問会社から株式、債券などの有価証券に対する投資判断についての助言（有価証券の種類、銘柄、数量、売買時期の判断など）を受けるルールを委託会社と投資顧問会社との間で規定したものの。投資助言を受ける対象資産、助言の内容、報酬の取決めの内容などが含まれています。
- 4 投資顧問会社に運用の指図に関する権限を委託するにあたり、そのルールを委託会社と投資顧問会社との間で規定したものの。委託する業務内容、報酬の取決めの内容などが含まれています。

委託会社の概況（2023年1月末現在）

1) 資本金

17,363百万円

2) 沿革

1959年：日興証券投資信託委託株式会社として設立

1999年：日興国際投資顧問株式会社と合併し「日興アセットマネジメント株式会社」に社名変更

3) 大株主の状況

名 称	住 所	所有株数	所有比率
三井住友トラスト・ホールディングス株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号	192,211,000株	97.562%

2【投資方針】

(1)【投資方針】

- ・主として、以下に掲げる各マザーファンドの受益証券に分散投資を行ない、信託財産の中長期的な成長をめざします。
- ・各マザーファンドの受益証券への投資比率は、下記の資産配分を基本とし、中期的な市況見通しに応じて機動的に変更します。なお、市況動向などによっては内外の有価証券などへの直接投資を行なうことがあります。

証券投資信託 「日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド」.....21%

証券投資信託 「日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド」..... 8%

証券投資信託 「日本債券グローバル・ラップマザーファンド」.....21%

証券投資信託 「北米株式グローバル・ラップマザーファンド」.....20%

証券投資信託 「欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド」.....14%

証券投資信託 「アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド」... 4%

証券投資信託 「海外債券グローバル・ラップマザーファンド」.....12%

- ・上記の基本資産配分は、長期的な市況見通しに応じて変更される場合があります。
- ・ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

(2)【投資対象】

< GW7つの卵 >

以下に掲げる各証券投資信託の受益証券を主要投資対象とします。

証券投資信託 「日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド」

証券投資信託 「日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド」

証券投資信託 「日本債券グローバル・ラップマザーファンド」

証券投資信託 「北米株式グローバル・ラップマザーファンド」

証券投資信託 「欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド」

証券投資信託 「アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド」

証券投資信託 「海外債券グローバル・ラップマザーファンド」

投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

1) 有価証券

2) デリバティブ取引に係る権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、約款第23条、第24条および第25条に定めるものに限り。）

3) 金銭債権

4) 約束手形

5) 為替手形

主として次のマザーファンドの受益証券ならびに次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することができます。

1) 証券投資信託 日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド

2) 証券投資信託 日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド

- 3) 証券投資信託 日本債券グローバル・ラップマザーファンド
- 4) 証券投資信託 北米株式グローバル・ラップマザーファンド
- 5) 証券投資信託 欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド
- 6) 証券投資信託 アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド
- 7) 証券投資信託 海外債券グローバル・ラップマザーファンド
- 8) 株券または新株引受権証券
- 9) 国債証券
- 10) 地方債証券
- 11) 特別の法律により法人の発行する債券
- 12) 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）
- 13) 特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）
- 14) コマーシャル・ペーパー
- 15) 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）および新株予約権証券
- 16) 外国または外国の者の発行する証券または証書で、8)～15)の証券または証書の性質を有するもの
- 17) 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいい、マザーファンドの受益証券を除きます。）
- 18) 投資証券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。以下同じ。）で19)に定めるもの以外のもの
- 19) 投資法人債券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。以下同じ。）または外国投資証券で投資法人債券に類する証券
- 20) 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
- 21) オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券に係るものに限りません。）
- 22) 預託証券（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
- 23) 外国法人が発行する譲渡性預金証券
- 24) 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限りません。）
- 25) 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
- 26) 外国の者に対する権利で25)の有価証券の性質を有するもの
次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することができます。
 - 1) 預金
 - 2) 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
 - 3) コール・ローン
 - 4) 手形割引市場において売買される手形
 - 5) 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
 - 6) 外国の者に対する権利で5)の権利の性質を有するもの
次の取引ができます。
 - 1) 信用取引
 - 2) 先物取引等
 - 3) スワップ取引
 - 4) 金利先渡取引
 - 5) 為替先渡取引
 - 6) 有価証券の貸付
 - 7) 公社債の空売
 - 8) 公社債の借入
 - 9) 外国為替予約取引
 - 10) 資金の借入

<日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド>

わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。

<日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド>

わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。

<日本債券グローバル・ラップマザーファンド>

わが国の公社債および短期金融資産を主要投資対象とします。

<北米株式グローバル・ラップマザーファンド>

米国およびカナダの金融商品取引所上場株式およびNASDAQ市場で取引されている株式を主要投資対象とします。

<欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド>

欧州主要先進国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を主要投資対象とします。

<アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド>

アジア・環太平洋主要先進国の株式（DR（預託証券）およびカンントリーファンドなどを含みます。）を主要投資対象とします。

<海外債券グローバル・ラップマザーファンド>

海外の公社債を主要投資対象とします。

「日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド」、「日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド」、「日本債券グローバル・ラップマザーファンド」、「北米株式グローバル・ラップマザーファンド」および「海外債券グローバル・ラップマザーファンド」の投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

- 1) 有価証券
- 2) デリバティブ取引に係る権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、約款第18条、第19条および第20条に定めるものに限ります。）

3) 金銭債権

4) 約束手形

5) 為替手形

「欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド」および「アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド」の投資の対象とする資産の種類は、次に掲げるものとします。

- 1) 有価証券
- 2) デリバティブ取引に係る権利（金融商品取引法第2条第20項に規定するものをいい、約款第17条、第18条および第19条に定めるものに限ります。）

3) 金銭債権

4) 約束手形

5) 為替手形

「日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド」および「日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド」は、主として次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することができます。

- 1) 株券または新株引受権証券
- 2) 国債証券
- 3) 地方債証券
- 4) 特別の法律により法人の発行する債券
- 5) 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）
- 6) 特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）
- 7) コマーシャル・ペーパー
- 8) 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）および新株予約権証券
- 9) 外国または外国の者の発行する証券または証書で、1)～8)の証券または証書の性質を有するもの
- 10) 投資法人債券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。以下同じ。）または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）で投資法人債券に類する証券
- 11) 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
- 12) オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、

有価証券に係るものに限ります。）

- 13) 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
- 14) 外国法人が発行する譲渡性預金証書
- 15) 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）
- 16) 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
- 17) 外国の者に対する権利で16)の有価証券の性質を有するもの
「日本債券グローバル・ラップマザーファンド」は、主として次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することができます。
 - 1) 株券または新株引受権証書
 - 2) 国債証券
 - 3) 地方債証券
 - 4) 特別の法律により法人の発行する債券
 - 5) 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）
 - 6) 特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）
 - 7) コマーシャル・ペーパー
 - 8) 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）および新株予約権証券
 - 9) 外国または外国の者の発行する本邦通貨表示の証券で、2)～8)の証券の性質を有するもの
- 10) 投資法人債券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。以下同じ。）または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）で投資法人債券に類する証券
- 11) オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券に係るものに限ります。）
- 12) 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
- 13) 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）
- 14) 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
「北米株式グローバル・ラップマザーファンド」、「欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド」および「アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド」は、主として次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することができます。
 - 1) 株券または新株引受権証書
 - 2) 国債証券
 - 3) 地方債証券
 - 4) 特別の法律により法人の発行する債券
 - 5) 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）
 - 6) 特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）
 - 7) コマーシャル・ペーパー
 - 8) 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）および新株予約権証券
 - 9) 外国または外国の者の発行する証券または証書で、1)～8)の証券または証書の性質を有するもの
- 10) 投資信託または外国投資信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第10号で定めるものをいいます。）
- 11) 投資証券または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。以下同じ。）で12)に定めるもの以外のもの
- 12) 投資法人債券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。以下同じ。）または

外国投資証券で投資法人債券に類する証券

- 13) 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
- 14) オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券に係るものに限ります。）
- 15) 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
- 16) 外国法人が発行する譲渡性預金証書
- 17) 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）
- 18) 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
- 19) 外国の者に対する権利で18)の有価証券の性質を有するもの
「海外債券グローバル・ラップマザーファンド」は、主として次の有価証券（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することができます。
 - 1) 株券または新株引受権証書
 - 2) 国債証券
 - 3) 地方債証券
 - 4) 特別の法律により法人の発行する債券
 - 5) 社債券（新株引受権証券と社債券とが一体となった新株引受権付社債券（以下「分離型新株引受権付社債券」といいます。）の新株引受権証券を除きます。）
 - 6) 特定社債券（金融商品取引法第2条第1項第4号で定めるものをいいます。）
 - 7) コマーシャル・ペーパー
 - 8) 新株引受権証券（分離型新株引受権付社債券の新株引受権証券を含みます。以下同じ。）および新株予約権証券
 - 9) 外国または外国の者の発行する証券または証書で、1)～8)の証券または証書の性質を有するもの
- 10) 投資法人債券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。以下同じ。）または外国投資証券（金融商品取引法第2条第1項第11号で定めるものをいいます。）で投資法人債券に類する証券
- 11) 外国貸付債権信託受益証券（金融商品取引法第2条第1項第18号で定めるものをいいます。）
- 12) オプションを表示する証券または証書（金融商品取引法第2条第1項第19号で定めるものをいい、有価証券に係るものに限ります。）
- 13) 預託証書（金融商品取引法第2条第1項第20号で定めるものをいいます。）
- 14) 外国法人が発行する譲渡性預金証書
- 15) 指定金銭信託の受益証券（金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に限ります。）
- 16) 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第1項第14号で定める受益証券発行信託の受益証券に表示されるべきもの
- 17) 外国の者に対する権利で16)の有価証券の性質を有するもの
各マザーファンドは、次に掲げる金融商品（金融商品取引法第2条第2項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を含みます。）により運用することができます。
 - 1) 預金
 - 2) 指定金銭信託（金融商品取引法第2条第1項第14号に規定する受益証券発行信託を除きます。）
 - 3) コール・ローン
 - 4) 手形割引市場において売買される手形
 - 5) 貸付債権信託受益権であって金融商品取引法第2条第2項第1号で定めるもの
 - 6) 外国の者に対する権利で5)の権利の性質を有するもの（「日本債券グローバル・ラップマザーファンド」を除きます。）各マザーファンドは、次の取引ができます。
 - 1) 信用取引
 - 2) 先物取引等
 - 3) スワップ取引
 - 4) 金利先渡取引

- 5) 為替先渡取引（「日本債券グローバル・ラップマザーファンド」は行ないません。）
- 6) 有価証券の貸付
- 7) 公社債の空売
- 8) 公社債の借入
- 9) 外国為替予約取引（「日本債券グローバル・ラップマザーファンド」は行ないません。）

投資対象とするマザーファンドの概要

<日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド>

運用の基本方針	
基本方針	中長期的な観点から、わが国の大型株式の動き（ラッセル野村大型インデックス [*] ）を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行ないます。
主な投資対象	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国の金融商品取引所上場株式の中から、時価総額の大きな銘柄を中心に厳選投資を行ないます。 ・ポートフォリオ構築にあたっては、企業のファンダメンタルズ分析、バリュエーション分析などにより、中長期的に成長が期待できる銘柄を厳選し、流動性、銘柄分散も考慮して、リスクの低減につとめます。 ・株式の組入比率は原則として高位を維持します。 ・株式以外の資産への投資割合は、原則として、信託財産の総額の50%以下とします。 ・ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとします。 ・一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。
収益分配	収益分配は行ないません。
ファンドに係る費用	
信託報酬	ありません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用など	組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税など。 上記費用に付随する消費税等相当額を含みます。
その他	
委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
投資顧問会社	J P モルガン・アセット・マネジメント株式会社（投資一任）
信託期間	無期限（2001年9月14日設定）

決算日	毎年3月25日（休業日の場合は翌営業日）
-----	----------------------

* ラッセル野村大型インデックスは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（旧野村證券株式会社、以下「NFRC」）およびFrank Russell Companyが共同開発したラッセル野村日本株インデックスにおける大型株中心のサイズ別指数です。わが国の株式市場の動きを示すラッセル野村総合インデックスの時価総額上位85%の銘柄群で構成されています。

同指数の知的財産権およびその他一切の権利はNFRCおよびFrank Russell Companyに帰属します。なお、NFRCおよびFrank Russell Companyは、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行なわれる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

<日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド>

運用の基本方針	
基本方針	中長期的な観点から、わが国の小型株式の動き（ラッセル野村小型インデックス [*] ）を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行ないます。
主な投資対象	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> わが国の金融商品取引所上場株式の中から、時価総額の小さな銘柄を中心に厳選投資を行ないます。 ポートフォリオ構築にあたっては、企業のファンダメンタルズ分析、バリュエーション分析などにより、中長期的に成長が期待できる銘柄を厳選し、流動性、銘柄分散も考慮して、リスクの低減につとめます。 株式の組入比率は原則として高位を維持します。 株式以外の資産への投資割合は、原則として、信託財産の総額の50%以下とします。 ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとします。 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。
収益分配	収益分配は行ないません。
ファンドに係る費用	
信託報酬	ありません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用など	組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税など。 上記費用に付随する消費税等相当額を含みます。
その他	
委託会社	日興アセットマネジメント株式会社

受託会社	野村信託銀行株式会社
投資顧問会社	スパークス・アセット・マネジメント株式会社（投資一任）
信託期間	無期限（2001年9月14日設定）
決算日	毎年3月25日（休業日の場合は翌営業日）

* ラッセル野村小型インデックスは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（旧野村證券株式会社、以下「NFRC」）およびFrank Russell Companyが共同開発したラッセル野村日本株インデックスにおける小型株中心のサイズ別指数です。わが国の株式市場の動きを示すラッセル野村総合インデックスの時価総額下位15%の銘柄群で構成されています。

同指数の知的財産権およびその他一切の権利はNFRCおよびFrank Russell Companyに帰属します。なお、NFRCおよびFrank Russell Companyは、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行なわれる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

<日本債券グローバル・ラップマザーファンド>

運用の基本方針	
基本方針	中長期的な観点から、わが国の公社債市場全体の動き（NOMURA-BPI総合 [*] ）を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行ないます。
主な投資対象	わが国の公社債および短期金融資産を主要投資対象とします。
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> わが国の公社債を中心に投資を行ない、安定したインカム（利子等収益）の確保と中長期的な信託財産の成長をめざします。 国債、政府保証債、金融債などで核となるポートフォリオを構築し、社債への投資にあたっては、企業の信用度調査を充分に行ない、流動性、銘柄分散も考慮したうえで、ポートフォリオ全体のリスクの低減につとめます。 公社債の組入比率は原則として高位を維持します。 ただし、資金動向、市況動向の急激な変化が生じたときなどならびに信託財産の規模によっては、上記のような運用を行なうことができない場合があります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資は行ないません。 デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとします。 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。
収益分配	収益分配は行ないません。
ファンドに係る費用	
信託報酬	ありません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用など	組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税など。 上記費用に付随する消費税等相当額を含みます。

その他	
委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
投資顧問会社	三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社（投資一任）
信託期間	無期限（2001年9月14日設定）
決算日	毎年3月25日（休業日の場合は翌営業日）

* NOMURA-BPI総合は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社（以下「NFRC」）が公表している、わが国の債券市場の動きを示す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された債券ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。国債、地方債、政府保証債、金融債、事業債、円建外債、MBS、ABSなど、国内で発行された円建公募利付債で構成されています。対象となる債券は残存期間1年以上、残存額面10億円以上で、事業債、円建外債、MBS、ABSについては、A格相当以上の格付を取得しているものに限られます。

同指数の知的財産権はNFRCに帰属します。なお、NFRCは、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行なわれる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

<北米株式グローバル・ラップマザーファンド>

運用の基本方針	
基本方針	中長期的な観点から、米国およびカナダの株式市場全体の動き（MSCI北米インデックス（ヘッジなし・円ベース） [*] ）を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行ないます。
主な投資対象	米国およびカナダの金融商品取引所上場株式およびNASDAQ市場で取引されている株式を主要投資対象とします。
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・米国およびカナダの金融商品取引所上場株式およびNASDAQ市場で取引されている株式を中心に厳選投資を行ないます。 ・投資対象銘柄については、企業訪問などにより調査、分析を充分に行ない、中長期的に成長が期待できる銘柄を厳選します。 ・株式の組入比率は原則として高位を維持します。 ・外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、為替ヘッジを行なうことがあります。為替ヘッジ比率は、マクロ環境、金利動向、ヘッジコストなどを勘案して決定します。また、ヘッジコストなどを勘案して、当該外貨建資産と異なる通貨により為替ヘッジを行なうこともあります。 ・ただし、資金動向、市況動向の急激な変化が生じたときなどならびに信託財産の規模によっては、上記のような運用を行なうことができない場合があります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。 ・投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとします。 ・一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。

収益分配	収益分配は行ないません。
ファンドに係る費用	
信託報酬	ありません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用など	組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税など。 上記費用に付随する消費税等相当額を含みます。
その他	
委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
投資顧問会社	ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・U S・エルエルシー（投資一任）
信託期間	無期限（2001年9月14日設定）
決算日	毎年3月25日（休業日の場合は翌営業日）

* M S C I 北米インデックスは、MSCI Inc. が発表している、アメリカとカナダの株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。当インデックスのリターンは、両国市場の配当込みリターンを時価総額比に基づいて加重平均して計算されます。（ヘッジなし・円ベース）とは、現地通貨ベースの指数をヘッジを行わずに円換算したものです。

同指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

< 欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド >

運用の基本方針	
基本方針	中長期的な観点から、欧州先進国の株式市場全体の動き（MSCI 欧州インデックス（ヘッジなし・円ベース） [*] ）を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行ないます。
主な投資対象	欧州主要先進国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を主要投資対象とします。
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欧州主要先進国（MSCI 欧州インデックス採用国）の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を中心に厳選投資を行ないます。 ・ 投資対象銘柄については、企業訪問などにより調査、分析を充分に行ない、中長期的に成長が期待できる銘柄を厳選します。 ・ また、投資対象国間の資産配分を図ることによりリスクの低減につとめます。 ・ 株式の組入比率は原則として高位を維持します。 ・ 外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、為替ヘッジを行なうことがあります。為替ヘッジ比率は、マクロ環境、金利動向、ヘッジコストなどを勘案して決定します。また、ヘッジコストなどを勘案して、当該外貨建資産と異なる通貨により為替ヘッジを行なうこともあります。 ・ ただし、資金動向、市況動向の急激な変化が生じたときなどならびに信託財産の規模によっては、上記のような運用を行なうことができない場合があります。

主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。 ・投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとします。 ・一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。
収益分配	収益分配は行ないません。

ファンドに係る費用

信託報酬	ありません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用など	<p>組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税など。</p> <p>上記費用に付随する消費税等相当額を含みます。</p>

その他

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
投資顧問会社	M F S インターナショナル（U. K.）リミテッド（投資一任）
信託期間	無期限（2001年9月14日設定）
決算日	毎年3月25日（休業日の場合は翌営業日）

* M S C I 欧州インデックスは、MSCI Inc. が発表している、イギリス、フランス、ドイツなど、欧州主要先進国の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。当インデックスのリターンは、各国市場の配当込みリターンを時価総額比に基づいて加重平均して計算されます。（ヘッジなし・円ベース）とは、現地通貨ベースの指数をヘッジを行わずに円換算したものです。同指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

<アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド>

運用の基本方針	
基本方針	<p>中長期的な観点から、アジアおよび環太平洋の主要先進国の株式市場全体の動き（MSCI 太平洋フリー・インデックス（日本を除く、ヘッジなし・円ベース）[*]）を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行ないます。</p>
主な投資対象	<p>アジア・環太平洋主要先進国の株式（DR（預託証券）およびカントリーファンドなどを含みます。以下同じ。）を主要投資対象とします。</p>

投資方針	<ul style="list-style-type: none"> 日本を除くアジアおよび環太平洋地域の主要先進国（MSCI太平洋フリー・インデックス（日本を除く）採用国・地域）の株式を中心に厳選投資を行ないます。 投資対象銘柄については、企業訪問などにより調査、分析を充分に行ない、中長期的に成長が期待できる銘柄を厳選します。 また、投資対象国間の資産配分を図ることによりリスクの低減につとめます。 株式の組入比率は原則として高位を維持します。 外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、為替ヘッジを行なうことがあります。為替ヘッジ比率は、マクロ環境、金利動向、ヘッジコストなどを勘案して決定します。また、ヘッジコストなどを勘案して、当該外貨建資産と異なる通貨により為替ヘッジを行なうこともあります。 ただし、資金動向、市況動向の急激な変化が生じたときなどならびに信託財産の規模によっては、上記のような運用を行なうことができない場合があります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。 投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとします。 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。
収益分配	収益分配は行ないません。
ファンドに係る費用	
信託報酬	ありません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用など	組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税など。 上記費用に付随する消費税等相当額を含みます。
その他	
委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
投資顧問会社	シュローダー・インベストメント・マネージメント（シンガポール）リミテッド（投資一任）
信託期間	無期限（2001年9月14日設定）
決算日	毎年3月25日（休業日の場合は翌営業日）

* M S C I 太平洋フリー・インデックス（日本を除く）は、MSCI Inc. が発表している、オーストラリア、香港など、日本を除くアジアおよび環太平洋地域の主要先進国の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。当インデックスのリターンは、各国市場の配当込みリターンを時価総額比に基づいて加重平均して計算されます。（ヘッジなし・円ベース）とは、現地通貨ベースの指数をヘッジを行わずに円換算したものです。
同指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc.

は同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

<DR（預託証券）>

ある国で発行されている株式をその国以外の海外市場で流通させる目的で、原株式を銀行などに預託し海外で発行する代替証券をいいます。海外投資家も国内投資家とほぼ同様の権利を享受でき、取引形態についても株式と変わりません。

<カンントリーファンド>

特定の国、地域の有価証券に投資することを目的としたクローズド・エンド型の会社型投資信託をいいます。会社型投資信託とは、証券投資を目的とする会社を設立し、投資家はその発行株式に投資する形態をいいます。

<海外債券グローバル・ラップマザーファンド>

運用の基本方針	
基本方針	中長期的な観点から、世界の主要国の債券市場の動き（FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース） [*] ）を上回る投資成果の獲得をめざして運用を行ないます。
主な投資対象	海外の公社債を主要投資対象とします。
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各国の信用度の高い公社債を中心に投資を行ない、安定したインカム（利子等収益）の確保と中長期的な信託財産の成長をめざします。 ・ポートフォリオの構築にあたっては、信用度の調査、各国の金利動向の見通しに基づき、安定したリターンの提供とリスクコントロールにつとめます。 ・外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、為替ヘッジを行なうことがあります。為替ヘッジ比率は、マクロ環境、金利動向、ヘッジコストなどを勘案して決定します。また、ヘッジコストなどを勘案して、当該外貨建資産と異なる通貨により為替ヘッジを行なうこともあります。 ・ただし、資金動向、市況動向の急激な変化が生じたときなどならびに信託財産の規模によっては、上記のような運用を行なうことができない場合があります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとします。 ・一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%以内とすることとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。
収益分配	収益分配は行ないません。
ファンドに係る費用	
信託報酬	ありません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用など	組入有価証券の売買時の売買委託手数料、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税など。 上記費用に付随する消費税等相当額を含みます。

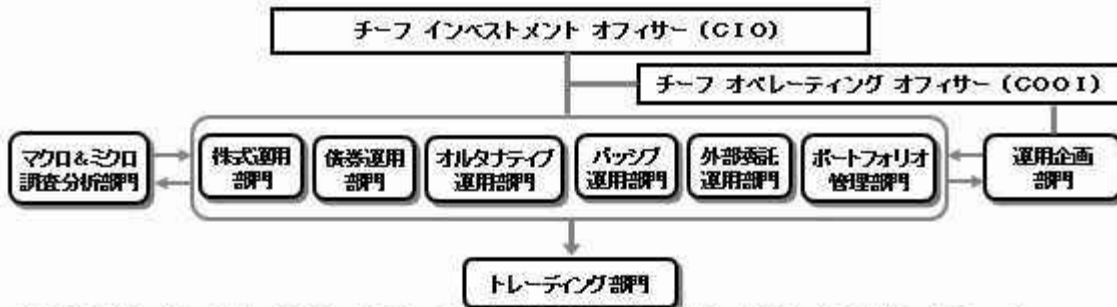
その他	
委託会社	日興アセットマネジメント株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
投資顧問会社	ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー(投資一任)
信託期間	無期限(2001年9月14日設定)
決算日	毎年3月25日(休業日の場合は翌営業日)

* FTSE世界国債インデックス(除く日本)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権などの知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

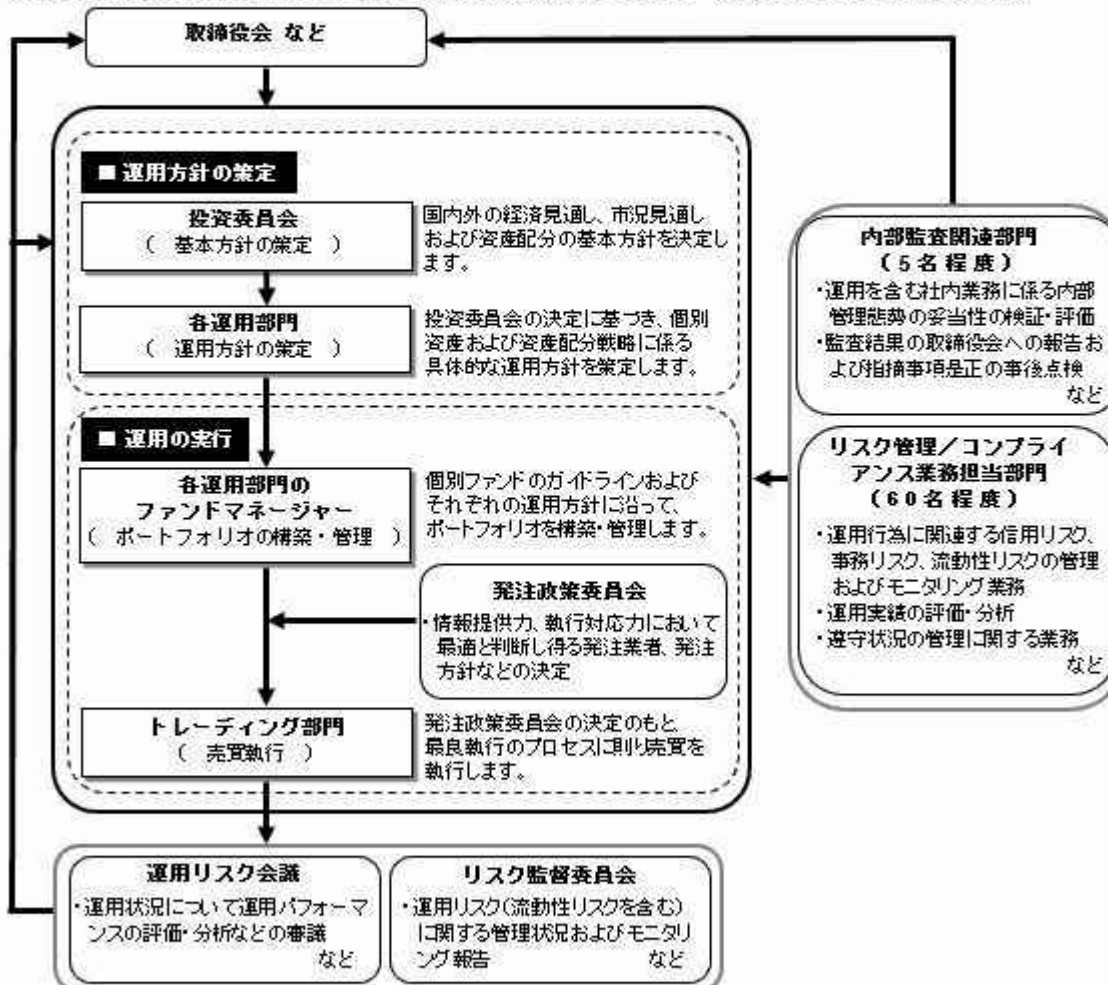
(3) 【運用体制】

<日興アセットマネジメント株式会社(委託会社)における運用体制>

◆委託会社における運用体制は以下の通りです。



◆委託会社の運用体制における内部管理および意思決定を監督する組織などは以下の通りです。



委託会社によるファンドの関係法人（販売会社を除く）に対する管理体制

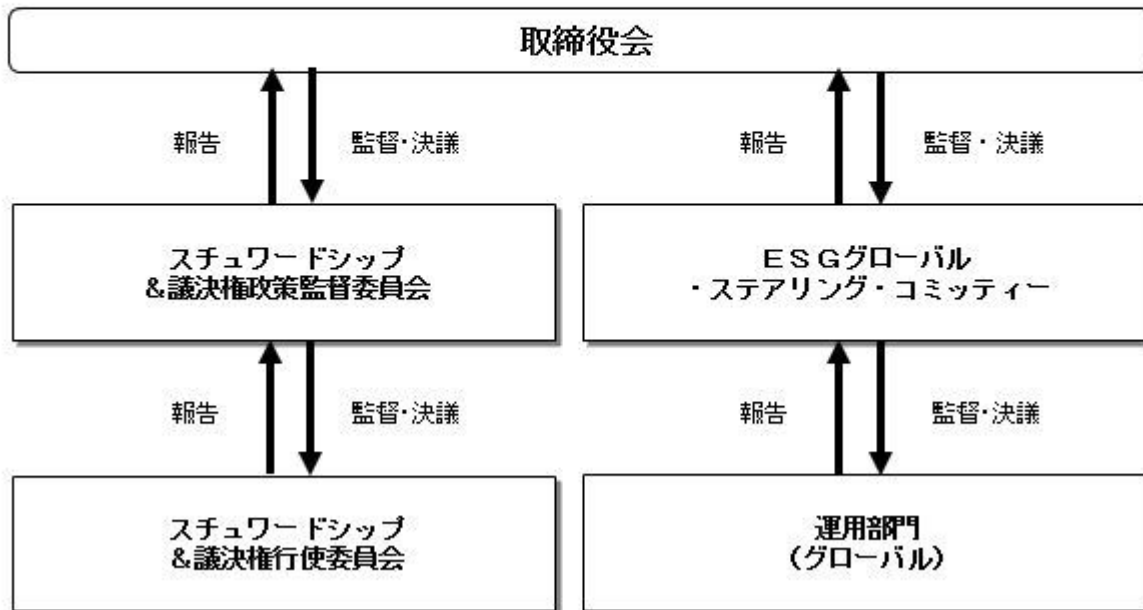
「受託会社」に対しては、日々の純資産照会、月次の勘定残高照会などを行っております。また、独立した監査法人が所定の手続きで受託業務について監査を行っており、内部統制が有効に機能している旨の監査報告書を定期的に受け取っております。

「投資顧問会社」については、投資顧問会社の管理体制およびリスク管理状況のモニタリングをリスク管理業務担当部門にて行ないます。また、外部委託運用部門では外部委託ファンドの運用管理を行ない、投資方針に沿った運用が行なわれているかなどのモニタリングを行っております。

◆投資家としてのESG/フィデューシャリー・デューティ

ESG（環境、社会、企業統治）やフィデューシャリーは、当委託会社にとって最高位に位置する概念であるため、同原則に関連する決議、報告、議論は、当委託会社の取締役会にて行うこととしています。

（スチュワードシップ&議決権政策監督委員会は、議長含め社外委員が過半数以上を占めるメンバーで構成されています）



上記体制は2023年1月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

各マザーファンドの運用アドバイザー（投資顧問会社）は以下の通りです。なお、運用アドバイザーについては、将来、変更する場合があります。

以下の内容は、各社提供の情報に基づいて作成しています。

「日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド」の運用は、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社に委託します。

JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社は、世界有数の金融サービス会社であるJPモルガン・チェース・アンド・カンパニー傘下の日本拠点のひとつであり、「JPモルガン・チェース・アンド・カンパニー」の資産運用部門である「JPモルガン・アセット・マネジメント」グループに属しています。同グループの運用総資産は約312兆円にのぼります（2022年12月末現在）。

同社のJPモルガン（JPM）日本株運用の運用哲学は、アナリストが市場では手薄になりがちな長期的な業績予想を行なうことによって当該企業株価の均衡価値を解明し、その均衡価値と市場価格のカイ離を捉えるというものです。また、期待リターンモデルを活用することにより客観的に銘柄の割安度を判定し、市場タイミングや業種配分の偏りといった銘柄選択以外のリスクは原則として排除するなど、徹底したリスクコントロールのもと、安定的な超過収益の積上げをめざします。

「日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド」の運用は、スパークス・アセット・マネジメント株式会社に委託します。

スパークス・アセット・マネジメントは、1989年に発足した日本で数少ない独立系の投資顧問会社です。同社は創業以来「マクロはミクロの集積」という投資哲学の下、「徹底した企業調査をベースにした投資」を一貫して行なっています。特に、経済構造が変革する中で成長する新興企業群や、既存の産業の中で自ら体質改善を図りながら成長を捉えようとする企業群に注目しています。2022年12月末現在の同社を含むグループ全体の運用資産額は1兆4,754億円です。

徹底した企業訪問・財務分析から得た調査結果を同社独自の社内データベースに蓄積し活用しています。この中から合議の上で有望銘柄がリストアップされ、ポートフォリオの構築が行なわれます。また、運用はチームによる組織立った運用体制が敷かれています。

「日本債券グローバル・ラップマザーファンド」の運用は、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社に委託します。

三井住友トラスト・アセットマネジメントは、三井住友トラスト・グループの中核を成す資産運用会社で

あり、資産運用で高い専門性を有しています。長期的な市場動向が中短期的な「市場テーマ(=市場が注目する材料)」の積み重ねにより構成されていると考えており、マーケット動向、マクロ動向、クレジット動向の丹念な調査・分析により、独自に市場テーマを追求し、投資行動に効果的に反映することで超過収益の獲得をめざします。三井住友トラスト・アセットマネジメントにおける運用資産総額は約81.5兆円(2022年12月末現在)にのびります。

「北米株式グローバル・ラップマザーファンド」の運用は、ジャンナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーに委託します。

ジャンナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーは、ジャンナス・ヘンダーソン・グループの一員です。同グループは、ニューヨーク証券取引所およびオーストラリア証券取引所に上場しているグローバル・アクティブ運用会社です。世界24都市のオフィスに約2,000名の従業員が在籍しており、グループの総運用資産残高は約40兆円に上ります(2022年9月末現在)

ジャンナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシーは、創設以来、一貫して資産運用に専念し、揺るぎない投資哲学と豊富な専門知識、グローバルに広がるネットワークを基盤に、様々な資産運用戦略の提供に取り組み、確かな実績を築いています。

ジャンナスの株式運用は、綿密なファンダメンタルズ分析に基づく銘柄選択に重点を置いています。企業利益の中長期的成長性や競争優位性の高い銘柄を見極め、より多くの情報とアナリストが推奨する最良の投資アイデアの中から、ボトムアップアプローチによる銘柄選択によって超過収益の獲得を目指します。

「欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド」の運用は、MFSインターナショナル(U.K.)リミテッドに委託します。

MFSインターナショナル(U.K.)リミテッドは、米国に本拠を置くマサチューセッツ・ファイナンシャル・サービスズ・カンパニー(MFS)グループの英国法人です。MFSは1924年米国初のミューチュアル・ファンドの設定と共に創業した米国最古の資産運用会社で、発祥の地であるボストンの他、ロンドン・シンガポール・東京・シドニー・メキシコシティ・トロント、香港、サンパウロにリサーチ拠点を置くグローバルな運用会社として、世界中の投資家から約72兆円の運用資産を受託しています(2022年12月末現在)。

同社は、「企業の利益・キャッシュフローの持続的な成長こそが中長期的な株価上昇に繋がる」との信念のもと、独自のリサーチ活動を通じて、産業や個別企業について徹底したファンダメンタルズ分析を行っています。業界平均以上の、かつ継続的に高い収益成長が期待できるクオリティの高い企業を発掘し、相対的に割安な株価水準でポートフォリオに組み入れるよう努めています。

「アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド」の運用は、シュローダー・インベストメント・マネージメント(シンガポール)リミテッドに委託します。

シュローダー・インベストメント・マネージメント(シンガポール)リミテッドは、シュローダー・グループの中でロンドン、ニューヨークと並んで国際運用拠点の一つと位置付けられています。シュローダー・グループは、1804年に英国に創業した国際金融グループで、ロンドンに本拠地を置きグローバルにオフィスを展開しています。なお、運用資産総額は約122兆円にのびります(2022年9月末現在)。

同社は、投資対象市場や投資対象企業について実施される徹底した調査、分析によって、本来の投資価値に比べて株価水準が割安な銘柄を見極め、またマクロ分析に基づく国別配分を組み合わせ、リスクのコントロールに配慮しながら、ポートフォリオを構築します。

「海外債券グローバル・ラップマザーファンド」の運用は、ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに委託します。

ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー(ウエリントン)は、マサチューセッツ州ボストンに本拠を構えるアメリカの独立系投資運用会社です。その起源は1928年に遡るアメリカでも歴史のある運用会社の一つです。自社ブランドでの投信販売は行わずに、純粋に資産運用業務のみに専念しています。ウエリントン・マネージメント・グループ全体での運用資産額は約152兆円におよび、アメリカでも大手の一角を担っています(2022年12月末現在)。

ウエリントンでは、「専門性を持ったリサーチ」、「分散されたアルファ源泉における多様な戦略」、「統合されたリスク管理」を通じて、超過収益の獲得を目指しています。マクロ、定量、スプレッドの各チームが、独立した投資アイデアを創出するとともに、個別取引・戦略レベルとポートフォリオ・レベルでアクティブにリスクを管理しています。

各マザーファンドの適切な組入比率および運用アドバイザーの評価・選定などについて、日興グローバルラップ株式会社(日興GW)より情報提供や助言を受けます。

日興GWでは、多角的な視点から資産配分を策定します。月例で投資政策に関する委員会を開催し、投資環境と中長期的な市況見通しを確認しています。

各マザーファンドの運用アドバイザーの評価・選定などについて、日興アセットマネジメント アメリカズ・インクより情報提供や助言を受けます。

日興アセットマネジメント アメリカズ・インクは、運用会社に関する情報収集と評価分析をグローバルベースで実施可能な調査体制を有しており、運用会社調査に関しての豊かな経験と実績があります。

(4) 【分配方針】

収益分配方針

毎決算時に、原則として次の通り収益分配を行なう方針です。

1) 分配対象額の範囲

経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価益を含みます。)などの全額とします。

2) 分配対象額についての分配方針

分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

3) 留保益の運用方針

収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、約款に定める運用の基本方針に基づき運用を行いません。

収益分配金の支払い

<分配金再投資コース>

原則として、収益分配金は税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。

<分配金受取りコース>

毎計算期間終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日(原則として決算日から起算して5営業日まで)から収益分配金を支払います。支払いは販売会社において行なわれます。

(5) 【投資制限】

約款に定める投資制限

<GW7つの卵>

- 1) 株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への実質投資割合には、制限を設けません。
- 2) 投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所が開設する市場に上場(金融商品取引所が開設する市場に準ずる市場等において取引されている場合を含みます。以下同じ。)されている株式等の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券および新株予約権証券については、この限りではありません。また、上場予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場されることが確認できるものについては、投資することを指図することができます。
- 3) 投資信託証券(マザーファンドの受益証券を除きます。)への実質投資割合は、信託財産の総額の5%以下とします。
- 4) 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
- 5) 信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売り付けることの指図をすることができます。信用取引の指図は、当該売付けにかかる建玉の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- 6) わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。)、有価証券指数等先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。)および有価証券オプション取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。)ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします。
- 7) わが国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引を行なうことの指図をすることができます。
- 8) わが国の金融商品取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。

- 9) 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行なうことの指図をすることができます。スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則として当ファンドの信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- 10) 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうことの指図をすることができます。金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則として、当ファンドの信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- 11) 信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の範囲内で貸付の指図をすることができます。
- イ) 株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額の50%を超えないものとします。
- ロ) 公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額の50%を超えないものとします。
- 12) 信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産の計算においてする信託財産に属さない公社債を売り付けることの指図をすることができます。当該売付けの指図は、当該売付けにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- 13) 信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。公社債の借入れの指図は、当該借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- 14) 信託財産の効率的な運用に資するため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。外国為替の売買の予約取引の指図は、信託財産にかかる為替の買予約の合計額と売予約の合計額との差額につき円換算した額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。ただし、信託財産に属する外貨建資産（マザーファンドの信託財産に属する外貨建資産のうち信託財産に属するとみなした額を含みます。）の為替変動リスクを回避するためにする当該予約取引の指図については、この限りではありません。
- 15) 信託財産の効率的な運用ならびに運用の安定性に資するため、解約に伴う支払資金の手当て（解約に伴う支払資金の手当てのために借り入れた資金の返済を含みます。）を目的として、および再投資に係る収益分配金の支払資金の手当てを目的として、資金借入れ（コール市場を通じる場合を含みます。）の指図をすることができます。なお、当該借入金をもって有価証券等の運用は行なわないものとします。資金借入れ額および借入期間は、次に掲げる要件を満たす範囲内とします。
- イ) 解約に伴う支払資金の手当てにあたっては、解約金の支払資金の手当てのために行なった有価証券等の売却または解約等ならびに有価証券等の償還による受取りの確定している資金の額の範囲内
- ロ) 再投資に係る収益分配金の支払資金の手当てにあたっては、収益分配金の再投資額の範囲内
- ハ) 借入指図を行なう日における信託財産の純資産総額の10%以内
- ニ) 解約に伴う支払資金の手当てのための借入期間は、受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の売却代金の受渡日までの間または受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の解約代金入金日までの間もしくは受益者への解約代金支払開始日から信託財産で保有する有価証券等の償還金の入金日までの期間が5営業日以内である場合の当該期間とします。
- ホ) 再投資に係る収益分配金の支払資金の手当てのための借入期間は、信託財産から収益分配金が支弁される日からその翌営業日までとします。
- 16) デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとします。
- 17) 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。

<日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド>

<日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド>

- 1) 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。

- 2) 投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所が開設する市場に上場(金融商品取引所が開設する市場に準ずる市場等において取引されている場合を含みます。以下同じ。)されている株式等の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券および新株予約権証券については、この限りではありません。また、上場予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場されることが確認できるものについては、投資することを指図することができるものとします。
- 3) 外貨建資産への投資は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
- 4) 信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売り付けることの指図をすることができます。信用取引の指図は、当該売付けにかかる建玉の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- 5) わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。)、有価証券指数等先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。)および有価証券オプション取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。)ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします。
- 6) わが国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引を行なうことの指図をすることができます。
- 7) わが国の金融商品取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。
- 8) 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(以下「スワップ取引」といいます。)を行なうことの指図をすることができます。スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則としてマザーファンドの信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- 9) 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうことの指図をすることができます。金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則としてマザーファンドの信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- 10) 信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の範囲内で貸付の指図をすることができます。
 - イ) 株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額の50%を超えないものとします。
 - ロ) 公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額の50%を超えないものとします。
- 11) 信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産の計算においてする信託財産に属さない公社債を売り付けることの指図をすることができます。当該売付けの指図は、当該売付けにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- 12) 信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。公社債の借入れの指図は、当該借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- 13) 信託財産の効率的な運用に資するため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。外国為替の売買の予約取引の指図は、信託財産にかかる為替の買予約の合計額と売予約の合計額との差額につき円換算した額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。ただし、信託財産に属する外貨建資産の為替変動リスクを回避するためにする当該予約取引の指図については、この限りではありません。
- 14) デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとします。
- 15) 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。

<日本債券グローバル・ラップマザーファンド>

- 1) 株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資は、信託財産の純資産総額の

10%以下とします。

- 2) 投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所が開設する市場に上場（金融商品取引所が開設する市場に準ずる市場等において取引されている場合を含みます。以下同じ。）されている株式等の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券および新株予約権証券については、この限りではありません。また、上場予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場されることが確認できるものについては、投資することを指図することができるものとします。
- 3) 外貨建資産への投資は行ないません。
- 4) 信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売り付けることの指図をすることができます。信用取引の指図は、当該売付けにかかる建玉の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- 5) わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。以下同じ。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。以下同じ。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。以下同じ。）ならびに外国の金融商品取引所におけるわが国の有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします。
- 6) わが国の金融商品取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所におけるわが国の金利にかかるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。
- 7) 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行なうことの指図をすることができます。スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則としてマザーファンドの信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- 8) 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引を行なうことの指図をすることができます。金利先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則としてマザーファンドの信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- 9) 信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の範囲内で貸付の指図をすることができます。
 - イ) 株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額の50%を超えないものとします。
 - ロ) 公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額の50%を超えないものとします。
- 10) 信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産の計算においてする信託財産に属さない公社債を売り付けることの指図をすることができます。当該売付けの指図は、当該売付けにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- 11) 信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。公社債の借入れの指図は、当該借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- 12) デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとします。
- 13) 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。

<北米株式グローバル・ラップマザーファンド>

<欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド>

<アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド>

- 1) 株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合には制限を設けません。
- 2) 投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所が開設する市場に上場（金融商品取引所が開設する市場に準ずる市場等において取引されている場合を含みま

す。以下同じ。)されている株式等の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券および新株予約権証券については、この限りではありません。また、上場予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場されることが確認できるものについては、投資することを指図することができるものとします。

- 3) 投資信託証券への投資は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
- 4) 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
- 5) 信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売り付けることの指図をすることができます。信用取引の指図は、当該売付けにかかる建玉の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- 6) わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。)、有価証券指数等先物取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。)および有価証券オプション取引(金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。)ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします。
- 7) わが国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引を行なうことの指図をすることができます。
- 8) わが国の金融商品取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。
- 9) 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引(以下「スワップ取引」といいます。)を行なうことの指図をすることができます。スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期間が、原則としてマザーファンドの信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- 10) 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうことの指図をすることができます。金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則としてマザーファンドの信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- 11) 信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の範囲内で貸付の指図をすることができます。
 - イ) 株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額の50%を超えないものとします。
 - ロ) 公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額の50%を超えないものとします。
- 12) 信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産の計算においてする信託財産に属さない公社債を売り付けることの指図をすることができます。当該売付けの指図は、当該売付けにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- 13) 信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。公社債の借入れの指図は、当該借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- 14) 信託財産の効率的な運用に資するため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。外国為替の売買の予約取引の指図は、信託財産にかかる為替の買予約の合計額と売予約の合計額との差額につき円換算した額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。ただし、信託財産に属する外貨建資産の為替変動リスクを回避するためにする当該予約取引の指図については、この限りではありません。
- 15) デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとします。
- 16) 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。

<海外債券グローバル・ラップマザーファンド>

- 1) 株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

- 2) 投資することを指図する株式、新株引受権証券および新株予約権証券は、金融商品取引所が開設する市場に上場（金融商品取引所が開設する市場に準ずる市場等において取引されている場合を含みます。以下同じ。）されている株式等の発行会社の発行するものとします。ただし、株主割当または社債権者割当により取得する株式、新株引受権証券および新株予約権証券については、この限りではありません。また、上場予定の株式、新株引受権証券および新株予約権証券で目論見書等において上場されることが確認できるものについては、投資することを指図することができるものとします。
- 3) 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
- 4) 信託財産の効率的な運用に資するため、信用取引により株券を売り付けることの指図をすることができます。信用取引の指図は、当該売付けにかかる建玉の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- 5) わが国の金融商品取引所における有価証券先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号イに掲げるものをいいます。）、有価証券指数等先物取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ロに掲げるものをいいます。）および有価証券オプション取引（金融商品取引法第28条第8項第3号ハに掲げるものをいいます。）ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。なお、選択権取引は、オプション取引に含めるものとします。
- 6) わが国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引ならびに外国の金融商品取引所における通貨にかかる先物取引およびオプション取引を行なうことの指図をすることができます。
- 7) わが国の金融商品取引所における金利にかかる先物取引およびオプション取引ならびに外国の金融商品取引所におけるこれらの取引と類似の取引を行なうことの指図をすることができます。
- 8) 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、異なった通貨、異なった受取金利または異なった受取金利とその元本を一定の条件のもとに交換する取引（以下「スワップ取引」といいます。）を行なうことの指図をすることができます。スワップ取引の指図にあたっては、当該取引の契約期限が、原則としてマザーファンドの信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- 9) 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、金利先渡取引および為替先渡取引を行なうことの指図をすることができます。金利先渡取引および為替先渡取引の指図にあたっては、当該取引の決済日が、原則としてマザーファンドの信託期間を超えないものとします。ただし、当該取引が当該信託期間内で全部解約が可能なものについてはこの限りではありません。
- 10) 信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産に属する株式および公社債を次の範囲内で貸付の指図をすることができます。
 - イ) 株式の貸付は、貸付時点において、貸付株式の時価合計額が、信託財産で保有する株式の時価合計額の50%を超えないものとします。
 - ロ) 公社債の貸付は、貸付時点において、貸付公社債の額面金額の合計額が、信託財産で保有する公社債の額面金額の合計額の50%を超えないものとします。
- 11) 信託財産の効率的な運用に資するため、信託財産の計算においてする信託財産に属さない公社債を売り付けることの指図をすることができます。当該売付けの指図は、当該売付けにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- 12) 信託財産の効率的な運用に資するため、公社債の借入れの指図をすることができます。公社債の借入れの指図は、当該借入れにかかる公社債の時価総額が信託財産の純資産総額の範囲内とします。
- 13) 信託財産の効率的な運用に資するため、外国為替の売買の予約取引の指図をすることができます。外国為替の売買の予約取引の指図は、信託財産にかかる為替の買予約の合計額と売予約の合計額との差額につき円換算した額が、信託財産の純資産総額を超えないものとします。ただし、信託財産に属する外貨建資産の為替変動リスクを回避するためにする当該予約取引の指図については、この限りではありません。
- 14) デリバティブ取引等について、一般社団法人投資信託協会規則の定めるところに従い、合理的な方法により算出した額が信託財産の純資産総額を超えないものとします。
- 15) 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ取引等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行なうこととします。

法令による投資制限

同一法人の発行する株式（投資信託及び投資法人に関する法律）

同一法人の発行する株式について、委託会社が運用の指図を行なう投資信託全体で、当該株式の議決権の過半数を保有することとなる取引は行ないません。

3【投資リスク】

(1) ファンドのリスク

当ファンドの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴います。お申込みの際は、当ファンドのリスクを十分に認識・検討し、慎重に投資のご判断を行なっていただく必要があります。

- ・投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- ・当ファンドは、主に株式および債券を実質的な投資対象としますので、株式および債券の価格の下落や、株式および債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

当ファンドの主なリスクは以下の通りです。

価格変動リスク

- ・一般に株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・一般に中小型株式や新興企業の株式は、株式市場全体の平均に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。
- ・一般に公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- ・一般に中小型株式や新興企業の株式は、株式市場全体の平均に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高いと考えられます。

信用リスク

- ・一般に投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、金融商品取引所が定める一定の基準に該当した場合、上場が廃止される可能性があり、廃止される恐れが生じた場合や廃止となる場合も発行体の株式などの価格は下がり、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあります。
- ・一般に公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。
- ・格付を有する債券については、当該格付の変更に伴ない価格が下落するリスクもあります。
- ・ファンドの資金をコール・ローン、譲渡性預金証書などの短期金融資産で運用することがありますが、買付け相手先の債務不履行により損失が発生することがあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

為替変動リスク

外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

<その他の留意事項>

・システムリスク・市場リスクなどに関する事項

証券市場および外国為替市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化、政策の変更もしくはコンピューター・ネットワーク関係の不慮の出来事などの諸事情により有価証券取引や為替取引などが一時的に停止されることがあります。これにより、ファンドの投資方針に従った運用ができない場合があります。上記の状況が発生した場合や、その他の事由により基準価額の算出が困難となる状況が発生した場合などには、委託会社の判断により一時的に取得・換金の取り扱いを停止することもあります。

・投資対象とする投資信託証券に関する事項

ファンドが投資対象とする投資信託証券（マザーファンドを含みます。）と同じ投資信託証券に投資する他のファンドにおいて、解約・償還・設定などに伴う資金流入などがあり、その結果、当該投資信託証券において有価証券の売買などが生じた場合には、ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

・解約によるファンドの資金流出に伴う基準価額変動に関する事項

一度に大量の解約があった場合に、解約資金の手当てをするため保有している有価証券を一度に大量に売却することがあります。その際は評価価格と実際の取引価格に差が生じるなどして、ファンドの基準価額が大きく変動する可能性があります。

・基準価額の妥当性に疑義が生じた場合の取得・換金の停止に関する事項

ファンドの基準価額の算出に用いた評価価格と実際の取引価格に差が生じるなど、基準価額の妥当性に疑義が生じる場合は、委託会社の判断により、一時的に取得・換金の取り扱いを停止する場合があります。

・運用制限や規制上の制限に関する事項

関係する法令規制上、または社内方針などにより取引が制限されることがあります。例えば、委託会社もしくは運用委託先またはこれらの関連会社が特定の銘柄の未公開情報を受領している場合には、当該銘柄の売買が制限されることがあります。また、委託会社もしくは運用委託先またはこれらの関連会社が行なう投資または他の運用業務に関連して、取引が制限されることもあります。したがって、これらの制限により当ファンドの運用実績に影響を及ぼす可能性があります。

・法令・税制・会計方針などの変更に関する事項

ファンドに適用される法令・税制・会計方針などは、今後変更される場合があります。

(2) リスク管理体制

<日興アセットマネジメント株式会社（委託会社）におけるリスク管理体制>



全社リスク管理

当社では運用部門、営業部門と独立した組織であるリスク管理/コンプライアンス業務担当部門を設置し、全社的なリスク管理活動のモニタリング、指導の一元化を図っております。当社グループの法令などの遵守状況についてはコンプライアンス部門が事務局を務めるコンプライアンス監督委員会、リスク管理状況についてはリスク管理部門が事務局を務めるリスク監督委員会を通して経営陣に報告され、更に年一度以上取締役会に対して全体的な活動状況を報告しております。両委員会およびそれに関連する部門別会議においては、法令遵守状況や各種リスク（運用リスク（流動性リスクを含む）、市場リスク、カウンターパーティーリスク、オペレーショナルリスク（事務リスクを含む）など）に関するモニタリングとその報告に加えて、重要事故への対応と各種リスク対応、事故防止のための施策やその管理手法の構築などの支援に努めております。

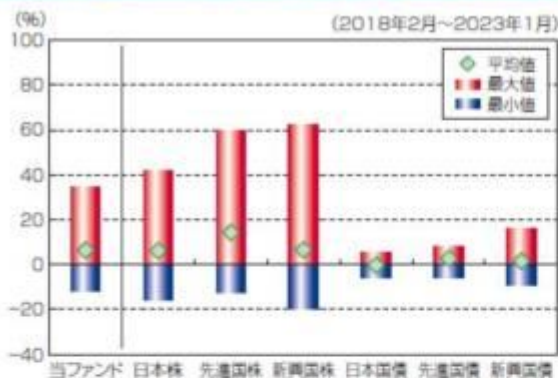
運用状況の評価・分析および運用リスク管理

ファンド財産について運用状況の評価・分析および運用リスク（流動性リスクを含む）の管理状況をモニタリングします。運用パフォーマンスおよび運用リスクに係る評価と分析の結果については運用リスク会議に報告し、運用リスク（流動性リスクを含む）の管理状況についてはリスク監督委員会へ報告され、問題点の原因の究明や改善策の策定が図られます。加えて外部委託運用部門は、外部委託ファンドの運用管理を行ない、投資方針に沿った運用が行なわれているかなどのモニタリングを行なっています。

法令など遵守状況のモニタリング

運用における法令・諸規則、信託約款などの遵守状況については、コンプライアンス業務担当部門が管理を行ないます。問題点についてはコンプライアンス関連の委員会に報告され、必要に応じ運用部門に対し是正指導が行なわれるなど、適切に管理・監督を行ないます。

上記体制は2023年1月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。

（参考情報）**当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較****（当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率および最小騰落率(%)）**

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	6.4%	6.2%	14.4%	6.6%	-0.2%	2.8%	1.6%
最大値	34.3%	42.1%	59.8%	62.7%	5.4%	7.9%	15.7%
最小値	-11.5%	-16.0%	-12.4%	-19.4%	-5.5%	-6.1%	-9.4%

※上記は当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※上記は2018年2月から2023年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大・最小・平均を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

<各資産クラスの指数>

日本株……東証株価指数(TOPIX、配当込)

先進国株……MSCI-KOKUSAIインデックス(配当込、円ベース)

新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込、円ベース)

日本国債……NOMURA-BPI国債

先進国債……FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債……JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド(円ヘッジなし、円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について**東証株価指数 (TOPIX、配当込)**

当指数は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。

MSCI-KOKUSAIインデックス (配当込、円ベース)

当指数は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

当指数は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債

当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(以下「NFRC」)が公表している指数で、その知的財産権はNFRCに帰属します。なお、NFRCは、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

当ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移

※基準価額は運用管理費用(信託報酬)控除後の1万口当たりの値です。

※分配金再投資基準価額は、2018年2月末の基準価額を起点として指数化しています。

※当ファンドの分配金再投資基準価額および年間騰落率(各月末における直近1年間の騰落率)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の基準価額および実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

当指数は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。当指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ヘッジなし、円ベース）

当指数は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

4【手数料等及び税金】**（1）【申込手数料】**

販売会社が定めるものとします。申込手数料率につきましては、販売会社の照会先にお問い合わせください。

- ・販売会社における申込手数料率は3.3%（税抜3%）が上限となっております。
- ・申込手数料の額（1口当たり）は、取得申込受付日の翌営業日の基準価額に申込手数料率を乗じて得た額とします。
- ・＜分配金再投資コース＞の場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、申込手数料はかかりません。
- ・販売会社によっては、償還乗換、乗換優遇の適用を受けることができます場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

申込手数料は、商品および関連する投資環境の説明や情報提供など、ならびに購入に関する事務コストの対価です。

（2）【換金（解約）手数料】

換金手数料

ありません。

信託財産留保額

ありません。

（3）【信託報酬等】

信託報酬

信託報酬の総額は、計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に対し年1.98%（税抜1.8%）の率を乗じて得た額とします。

信託報酬の配分

信託報酬の配分（年率）は、以下の通りとします。

販売会社毎の 純資産総額	信託報酬 = 運用期間中の基準価額 × 信託報酬率			
	合計	委託会社	販売会社	受託会社
30億円以下の部分	1.80%	1.15%	0.60%	0.05%
30億円超の部分		1.05%	0.70%	

委託会社	委託した資金の運用の対価
販売会社	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
受託会社	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価

表中の率は税抜です。別途消費税がかかります。

投資顧問会社が受ける報酬は、上記委託会社が受ける信託報酬の中から支払います。

支払時期

信託報酬(信託報酬に係る消費税等相当額を含みます。)は、日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日(当該終了日が休業日の場合はその翌営業日とします。)および毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払います。

(4)【その他の手数料等】

信託財産に関する以下の費用およびそれに付随する消費税等相当額は、受益者の負担とし、信託財産から支払います。

組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料および先物・オプション取引などに要する費用。

信託財産の財務諸表の監査に要する費用(日々、計上されます。)

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、外貨建資産の保管などに要する費用、解約に伴う支払資金の手当てなどを目的とした借入金の利息および受託会社の立て替えた立替金の利息。

<投資対象とするマザーファンドに係る費用>

- ・組入有価証券の売買時の売買委託手数料
- ・信託事務の処理に要する諸費用
- ・信託財産に関する租税 など

監査費用は、監査法人などに支払うファンドの監査に係る費用です。

* 監査費用、売買委託手数料などは、保有期間や運用の状況などに応じて異なり、あらかじめ見積もることができないため、表示することができません。

投資家の皆様にご負担いただく手数料などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

(5)【課税上の取扱い】

課税上は、株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。

個人受益者の場合

1) 収益分配金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については配当所得として、20.315%(所得税15.315%および地方税5%)の税率による源泉徴収(原則として、確定申告は不要です。)が行なわれます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税(配当控除の適用はありません。)のいずれかを選択することもできます。

2) 解約金および償還金に対する課税

解約時および償還時の差益(譲渡益)*については譲渡所得として、20.315%(所得税15.315%および地方税5%)の税率による申告分離課税の対象となり、確定申告が必要となります。なお、源泉徴収ありの特定口座(源泉徴収選択口座)を選択している場合は、20.315%(所得税15.315%および地方税5%)の税率による源泉徴収(原則として、確定申告は不要です。)が行なわれます。

* 解約価額および償還価額から取得費用(申込手数料および当該手数料に係る消費税等相当額を含みます。)を控除した利益

確定申告等により、解約時および償還時の差損(譲渡損失)については、上場株式等の譲渡益、上場株式等の配当等および特定公社債等の利子所得(申告分離課税を選択したものに限り)と損益通算が可能です。また、解約時および償還時の差益(譲渡益)、普通分配金および特定公社債等の利子所得(申告分離課税を選択したものに限り)については、上場株式等の譲渡損失と損益通算が可能です。

少額投資非課税制度「愛称：NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「愛称：ジュニアNISA」をご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。なお、他の口座で生じた配当所得・譲渡所

得との損益通算はできません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

法人受益者の場合

1) 収益分配金、解約金、償還金に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに解約時および償還時の個別元本超過額については配当所得として、15.315%（所得税のみ）の税率による源泉徴収が行なわれます。源泉徴収された税金は、所有期間に応じて法人税から控除される場合があります。

2) 益金不算入制度の適用

益金不算入制度は適用されません。

買取請求による換金の際の課税については、販売会社にお問い合わせください。

個別元本

1) 各受益者の買付時の基準価額（申込手数料および当該手数料に係る消費税等相当額は含まれません。）が個別元本になります。

2) 受益者が同一ファンドを複数回お申込みの場合、1口当たりの個別元本は、申込口数で加重平均した値となります。ただし、個別元本は、複数支店で同一ファンドをお申込みの場合などにより把握方法が異なる場合がありますので、販売会社にお問い合わせください。

普通分配金と元本払戻金(特別分配金)

1) 収益分配金には課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(元本の一部払戻しに相当する部分)の区分があります。

2) 受益者が収益分配金を受け取る際

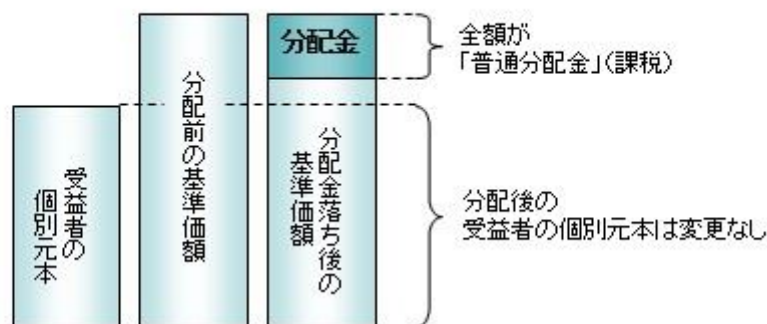
イ) 収益分配金落ち後の基準価額が、受益者の1口当たりの個別元本と同額かまたは上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となります。

ロ) 収益分配金落ち後の基準価額が、受益者の1口当たりの個別元本を下回っている場合には、収益分配金の範囲内でその下回っている部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、収益分配金から元本払戻金(特別分配金)を控除した金額が普通分配金となります。

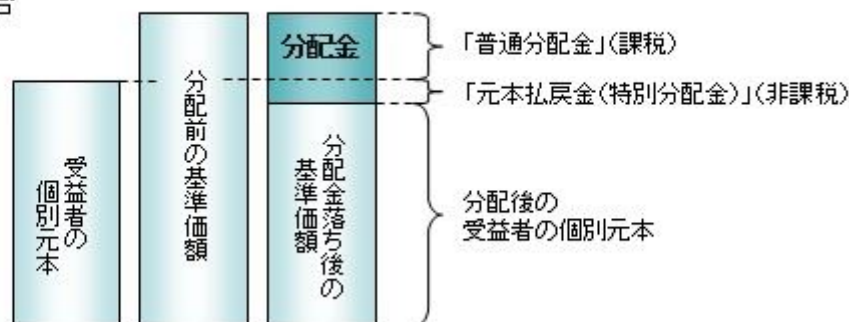
ハ) 収益分配金発生時に、その個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の受益者の個別元本となります。

<分配金に関するイメージ図>

イ) の場合



ロ)、ハ) の場合



外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

上記は2023年4月10日現在のもので、税法が改正された場合などには、税率などの課税上の取扱いが変更になる場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家などにご確認されることをお勧めします。

5【運用状況】

【GW7つの卵】

以下の運用状況は2023年 1月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

(1) 【投資状況】

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	45,913,696,808	99.02
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）		454,372,091	0.98
合計（純資産総額）		46,368,068,899	100.00

(2) 【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	簿価 単価 （円）	簿価 金額 （円）	評価 単価 （円）	評価 金額 （円）	投資 比率 （％）
日本	親投資信託受益証券	日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド	3,589,740,697	3.1188	11,195,683,286	3.2886	11,805,221,256	25.46
日本	親投資信託受益証券	北米株式グローバル・ラップマザーファンド	1,634,987,589	5.1233	8,376,531,915	5.2812	8,634,696,455	18.62
日本	親投資信託受益証券	日本債券グローバル・ラップマザーファンド	6,359,846,389	1.3456	8,558,110,102	1.3450	8,553,993,393	18.45
日本	親投資信託受益証券	欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	1,140,592,673	5.1871	5,916,368,255	5.2597	5,999,175,282	12.94
日本	親投資信託受益証券	海外債券グローバル・ラップマザーファンド	1,768,432,502	2.7870	4,928,754,509	2.7842	4,923,669,772	10.62
日本	親投資信託受益証券	日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド	511,464,752	7.6572	3,916,387,900	8.0921	4,138,823,919	8.93
日本	親投資信託受益証券	アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	174,179,937	10.2915	1,792,572,822	10.6678	1,858,116,731	4.01

ロ. 種類別の投資比率

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	99.02
合計	99.02

【投資不動産物件】

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

期別	純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
	分配落ち	分配付き	分配落ち	分配付き
第11計算期間末 (2014年 1月10日)	107,192	110,809	1.0372	1.0722
第12計算期間末 (2015年 1月13日)	85,521	91,107	1.0718	1.1418
第13計算期間末 (2016年 1月12日)	68,917	70,957	1.0132	1.0432
第14計算期間末 (2017年 1月10日)	64,401	67,480	1.0457	1.0957
第15計算期間末 (2018年 1月10日)	56,056	63,867	1.0765	1.2265
第16計算期間末 (2019年 1月10日)	54,091	54,263	0.9433	0.9463
第17計算期間末 (2020年 1月10日)	53,298	55,853	1.0427	1.0927
第18計算期間末 (2021年 1月12日)	48,746	51,496	1.0636	1.1236
第19計算期間末 (2022年 1月11日)	46,025	50,706	1.0816	1.1916
第20計算期間末 (2023年 1月10日)	44,853	45,724	1.0295	1.0495
2022年 1月末日	46,362		1.0443	
2月末日	45,959		1.0363	
3月末日	48,463		1.0953	
4月末日	47,018		1.0664	
5月末日	47,229		1.0719	
6月末日	46,261		1.0507	
7月末日	47,393		1.0762	
8月末日	47,588		1.0831	
9月末日	45,561		1.0375	
10月末日	47,765		1.0907	
11月末日	47,645		1.0904	
12月末日	45,494		1.0444	
2023年 1月末日	46,368		1.0567	

【分配の推移】

期	期間	1口当たりの分配金（円）
第11期	2013年 1月11日～2014年 1月10日	0.0350
第12期	2014年 1月11日～2015年 1月13日	0.0700
第13期	2015年 1月14日～2016年 1月12日	0.0300
第14期	2016年 1月13日～2017年 1月10日	0.0500
第15期	2017年 1月11日～2018年 1月10日	0.1500
第16期	2018年 1月11日～2019年 1月10日	0.0030
第17期	2019年 1月11日～2020年 1月10日	0.0500

第18期	2020年 1月11日～2021年 1月12日	0.0600
第19期	2021年 1月13日～2022年 1月11日	0.1100
第20期	2022年 1月12日～2023年 1月10日	0.0200

【収益率の推移】

期	期間	収益率（％）
第11期	2013年 1月11日～2014年 1月10日	32.65
第12期	2014年 1月11日～2015年 1月13日	10.08
第13期	2015年 1月14日～2016年 1月12日	2.67
第14期	2016年 1月13日～2017年 1月10日	8.14
第15期	2017年 1月11日～2018年 1月10日	17.29
第16期	2018年 1月11日～2019年 1月10日	12.09
第17期	2019年 1月11日～2020年 1月10日	15.84
第18期	2020年 1月11日～2021年 1月12日	7.76
第19期	2021年 1月13日～2022年 1月11日	12.03
第20期	2022年 1月12日～2023年 1月10日	2.97

(注)各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落ち）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ち。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。

（４）【設定及び解約の実績】

期	期間	設定口数（口）	解約口数（口）
第11期	2013年 1月11日～2014年 1月10日	1,150,408,361	41,372,192,112
第12期	2014年 1月11日～2015年 1月13日	3,998,358,835	27,550,578,403
第13期	2015年 1月14日～2016年 1月12日	4,685,780,147	16,458,000,036
第14期	2016年 1月13日～2017年 1月10日	2,093,430,717	8,531,237,609
第15期	2017年 1月11日～2018年 1月10日	2,591,306,295	12,103,089,879
第16期	2018年 1月11日～2019年 1月10日	9,824,291,828	4,554,320,029
第17期	2019年 1月11日～2020年 1月10日	3,670,776,502	9,899,144,899
第18期	2020年 1月11日～2021年 1月12日	1,926,228,789	7,208,268,884
第19期	2021年 1月13日～2022年 1月11日	2,257,799,023	5,536,310,450
第20期	2022年 1月12日～2023年 1月10日	3,302,221,373	2,287,703,820

（参考）

日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド

以下の運用状況は2023年 1月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	日本	25,716,578,170	99.27
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）		190,282,284	0.73
合計（純資産総額）		25,906,860,454	100.00

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	業種	数量又は 額面総額	簿価 単価 （円）	簿価 金額 （円）	評価 単価 （円）	評価 金額 （円）	投資 比率 （％）
日本	株式	ソニーグループ	電気機器	132,100	12,221.65	1,614,480,390	11,580.00	1,529,718,000	5.90
日本	株式	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	250,300	4,168.38	1,043,345,514	5,652.00	1,414,695,600	5.46
日本	株式	日本電信電話	情報・通信業	324,700	3,638.27	1,181,348,564	3,892.00	1,263,732,400	4.88
日本	株式	信越化学工業	化学	46,700	18,173.71	848,712,257	19,075.00	890,802,500	3.44
日本	株式	伊藤忠商事	卸売業	193,400	4,186.53	809,676,371	4,183.00	808,992,200	3.12
日本	株式	東海旅客鉄道	陸運業	46,200	16,428.18	758,982,232	15,840.00	731,808,000	2.82
日本	株式	オリックス	その他金融業	306,200	2,258.59	691,582,142	2,275.00	696,605,000	2.69
日本	株式	第一三共	医薬品	170,200	2,828.69	481,443,038	4,064.00	691,692,800	2.67
日本	株式	日立製作所	電気機器	95,000	6,241.26	592,919,700	6,782.00	644,290,000	2.49
日本	株式	富士電機	電気機器	114,200	5,972.24	682,030,687	5,220.00	596,124,000	2.30
日本	株式	テルモ	精密機器	147,500	3,906.72	576,241,200	3,763.00	555,042,500	2.14
日本	株式	キーエンス	電気機器	9,300	56,219.77	522,843,861	59,280.00	551,304,000	2.13
日本	株式	スズキ	輸送用機器	109,900	4,276.73	470,013,410	4,839.00	531,806,100	2.05
日本	株式	デンソー	輸送用機器	75,500	7,484.64	565,090,320	6,972.00	526,386,000	2.03
日本	株式	T & Dホールディングス	保険業	246,200	1,639.96	403,758,152	2,077.00	511,357,400	1.97
日本	株式	ダイキン工業	機械	21,900	22,198.30	486,142,942	22,470.00	492,093,000	1.90
日本	株式	住友金属鉱山	非鉄金属	93,400	5,804.61	542,150,635	5,248.00	490,163,200	1.89
日本	株式	東京海上ホールディングス	保険業	176,500	2,450.30	432,477,950	2,714.00	479,021,000	1.85
日本	株式	電通グループ	サービス業	112,700	4,849.31	546,517,237	4,165.00	469,395,500	1.81
日本	株式	ブリヂストン	ゴム製品	95,700	4,679.75	447,852,075	4,835.00	462,709,500	1.79
日本	株式	村田製作所	電気機器	60,700	8,291.30	503,281,910	7,394.00	448,815,800	1.73
日本	株式	ヤマトホールディングス	陸運業	195,600	2,336.27	456,976,246	2,264.00	442,838,400	1.71
日本	株式	ニトリホールディングス	小売業	25,400	14,047.40	356,803,994	17,100.00	434,340,000	1.68
日本	株式	本田技研工業	輸送用機器	134,800	3,468.27	467,522,796	3,207.00	432,303,600	1.67
日本	株式	大和ハウス工業	建設業	138,600	3,279.08	454,480,488	3,111.00	431,184,600	1.66
日本	株式	三井不動産	不動産業	174,200	2,724.80	474,660,160	2,431.00	423,480,200	1.63

日本	株式	大塚商会	情報・通信業	98,700	4,483.34	442,505,658	4,255.00	419,968,500	1.62
日本	株式	東京エレクトロン	電気機器	9,100	59,502.04	541,468,564	45,170.00	411,047,000	1.59
日本	株式	アサヒグループホールディングス	食料品	94,900	4,466.58	423,878,442	4,282.00	406,361,800	1.57
日本	株式	セブン&アイ・ホールディングス	小売業	66,000	5,478.32	361,569,120	6,127.00	404,382,000	1.56

ロ.種類別及び業種別の投資比率

種類	国内/国外	業種	投資比率(%)
株式	国内	建設業	2.74
		食料品	3.73
		化学	5.22
		医薬品	3.43
		ゴム製品	1.79
		ガラス・土石製品	0.90
		非鉄金属	3.22
		機械	4.35
		電気機器	18.56
		輸送用機器	7.73
		精密機器	4.36
		その他製品	0.34
		電気・ガス業	0.77
		陸運業	4.53
		情報・通信業	9.54
		卸売業	4.66
		小売業	4.98
		銀行業	6.74
		保険業	3.82
その他金融業	3.45		
不動産業	1.63		
サービス業	2.75		
合 計			99.27

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド

以下の運用状況は2023年 1月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計(円)	投資比率(%)
株式	日本	8,436,525,200	94.19
コール・ローン等、その他資産(負債控除後)		520,351,331	5.81
合計(純資産総額)		8,956,876,531	100.00

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	業種	数量又は 額面総額	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
日本	株式	武蔵精密工業	輸送用機器	102,300	1,509.33	154,404,459	1,777.00	181,787,100	2.03
日本	株式	日本光電工業	電気機器	52,000	3,110.00	161,720,000	3,405.00	177,060,000	1.98
日本	株式	武蔵野銀行	銀行業	77,800	1,893.78	147,336,506	2,275.00	176,995,000	1.98
日本	株式	アジアパイルホールディングス	ガラス・土石製品	269,400	442.00	119,074,800	643.00	173,224,200	1.93
日本	株式	日本工営	サービス業	48,200	3,031.19	146,103,358	3,555.00	171,351,000	1.91
日本	株式	ライフネット生命保険	保険業	129,500	574.37	74,380,915	1,323.00	171,328,500	1.91
日本	株式	シークス	卸売業	121,200	1,063.16	128,854,992	1,395.00	169,074,000	1.89
日本	株式	アイティフォー	情報・通信業	188,700	802.82	151,492,528	864.00	163,036,800	1.82
日本	株式	ノジマ	小売業	116,800	1,201.65	140,353,515	1,391.00	162,468,800	1.81
日本	株式	日精エー・エス・ビー機械	機械	35,800	3,349.46	119,910,950	4,485.00	160,563,000	1.79
日本	株式	クリーク・アンド・リバー社	サービス業	71,900	1,905.67	137,017,842	2,180.00	156,742,000	1.75
日本	株式	トーセイ	不動産業	105,000	1,196.52	125,635,124	1,479.00	155,295,000	1.73
日本	株式	シップヘルスケアホールディングス	卸売業	60,900	2,096.55	127,679,895	2,518.00	153,346,200	1.71
日本	株式	オカムラ	その他製品	106,500	1,228.23	130,807,516	1,419.00	151,123,500	1.69
日本	株式	サイゼリヤ	小売業	47,000	2,668.09	125,400,366	3,215.00	151,105,000	1.69
日本	株式	マクセル	電気機器	106,400	1,398.99	148,852,735	1,413.00	150,343,200	1.68
日本	株式	TREホールディングス	サービス業	102,900	1,812.61	186,517,892	1,459.00	150,131,100	1.68
日本	株式	岩谷産業	卸売業	26,600	5,443.95	144,809,308	5,580.00	148,428,000	1.66
日本	株式	イオンファンタジー	サービス業	47,000	2,445.37	114,932,544	3,115.00	146,405,000	1.63
日本	株式	共英製鋼	鉄鋼	101,800	1,421.65	144,724,776	1,414.00	143,945,200	1.61
日本	株式	五洋建設	建設業	221,700	725.74	160,896,558	646.00	143,218,200	1.60
日本	株式	SBSホールディングス	陸運業	48,000	3,327.60	159,725,018	2,959.00	142,032,000	1.59
日本	株式	西本Wismettacホールディングス	卸売業	40,800	2,886.96	117,788,180	3,465.00	141,372,000	1.58
日本	株式	榑本チエイン	機械	45,100	3,216.59	145,068,518	3,095.00	139,584,500	1.56

日本	株式	NITTOKU	機械	52,700	2,538.39	133,773,285	2,636.00	138,917,200	1.55
日本	株式	東プレ	金属製品	109,600	1,214.37	133,094,982	1,262.00	138,315,200	1.54
日本	株式	三菱総合研究所	情報・通信業	27,200	4,571.75	124,351,660	5,050.00	137,360,000	1.53
日本	株式	J.フロント リテイリング	小売業	111,300	1,162.67	129,406,162	1,208.00	134,450,400	1.50
日本	株式	日本信号	電気機器	127,300	919.27	117,024,007	1,041.00	132,519,300	1.48
日本	株式	ベネフィット・ワン	サービス業	62,000	2,350.61	145,738,439	2,127.00	131,874,000	1.47

ロ. 種類別及び業種別の投資比率

種類	国内/国外	業種	投資比率(%)
株式	国内	建設業	2.97
		食料品	1.02
		繊維製品	0.98
		パルプ・紙	1.30
		化学	1.29
		ガラス・土石製品	3.22
		鉄鋼	1.61
		金属製品	3.35
		機械	12.32
		電気機器	9.38
		輸送用機器	3.08
		その他製品	2.87
		電気・ガス業	0.61
		陸運業	2.56
		情報・通信業	8.01
		卸売業	9.37
		小売業	7.86
		銀行業	1.98
保険業	1.91		
その他金融業	0.80		
不動産業	2.58		
サービス業	15.13		
合計			94.19

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

日本債券グローバル・ラップマザーファンド

以下の運用状況は2023年 1月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	日本	102,744,914,000	65.07
社債券	日本	49,487,158,442	31.34
	アメリカ	293,941,268	0.19
	フランス	2,088,283,347	1.32
	スペイン	197,726,000	0.13
	イギリス	1,795,215,624	1.14
	小計		53,862,324,681
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）		1,289,592,629	0.82
合計（純資産総額）		157,896,831,310	100.00

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	数量又は額面総額	簿価単価（円）	簿価金額（円）	評価単価（円）	評価金額（円）	利率（％）	償還期限	投資比率（％）
日本	国債証券	第444回利付国債（2年）	11,500,000,000	99.98	11,498,158,000	100.05	11,506,555,000	0.005	2025/1/1	7.29
日本	国債証券	第154回利付国債（5年）	10,000,000,000	99.45	9,945,257,300	99.74	9,974,700,000	0.100	2027/9/20	6.32
日本	国債証券	第358回利付国債（10年）	8,500,000,000	98.96	8,412,004,000	97.85	8,317,420,000	0.100	2030/3/20	5.27
日本	国債証券	第153回利付国債（5年）	6,900,000,000	99.85	6,889,650,000	99.43	6,860,877,000	0.005	2027/6/20	4.35
日本	国債証券	第369回利付国債（10年）	5,600,000,000	100.71	5,640,306,000	100.09	5,605,264,000	0.500	2032/12/20	3.55
日本	国債証券	第155回利付国債（5年）	4,500,000,000	100.57	4,525,965,000	100.55	4,525,020,000	0.300	2027/12/20	2.87
日本	国債証券	第357回利付国債（10年）	4,300,000,000	99.25	4,267,750,000	98.02	4,214,989,000	0.100	2029/12/20	2.67
日本	国債証券	第181回利付国債（20年）	3,800,000,000	98.56	3,745,280,000	92.23	3,505,006,000	0.900	2042/6/20	2.22
日本	社債券	第1回株式会社ドンキホーテHD利払繰延条項・期限前償還（劣後特約付）	3,000,000,000	101.46	3,044,034,000	100.52	3,015,756,000	1.490	2053/11/28	1.91
日本	社債券	第1回武田薬品工業株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	2,600,000,000	102.46	2,664,012,000	101.28	2,633,303,400	1.720	2079/6/6	1.67

日本	国債証券	第364回利付国債(10年)	2,600,000,000	97.94	2,546,564,000	96.25	2,502,526,000	0.100	2031/9/20	1.58
日本	国債証券	第152回利付国債(20年)	2,300,000,000	108.92	2,505,174,000	103.62	2,383,260,000	1.200	2035/3/20	1.51
日本	国債証券	第148回利付国債(20年)	1,900,000,000	113.28	2,152,415,000	107.53	2,043,203,000	1.500	2034/3/20	1.29
日本	国債証券	第359回利付国債(10年)	1,800,000,000	98.33	1,769,940,000	97.43	1,753,740,000	0.100	2030/6/20	1.11
日本	国債証券	第75回利付国債(30年)	1,800,000,000	100.21	1,803,780,000	93.63	1,685,340,000	1.300	2052/6/20	1.07
日本	国債証券	第180回利付国債(20年)	1,800,000,000	98.42	1,771,596,000	90.74	1,633,338,000	0.800	2042/3/20	1.03
日本	国債証券	第76回利付国債(30年)	1,700,000,000	97.96	1,665,470,000	95.78	1,628,379,000	1.400	2052/9/20	1.03
日本	国債証券	第182回利付国債(20年)	1,700,000,000	99.96	1,699,387,000	95.45	1,622,701,000	1.100	2042/9/20	1.03
日本	国債証券	第45回利付国債(30年)	1,500,000,000	114.67	1,720,050,000	100.83	1,512,450,000	1.500	2044/12/20	0.96
日本	国債証券	第368回利付国債(10年)	1,500,000,000	99.54	1,493,219,000	99.71	1,495,755,000	0.200	2032/9/20	0.95
日本	国債証券	第48回利付国債(30年)	1,500,000,000	112.52	1,687,920,000	98.47	1,477,140,000	1.400	2045/9/20	0.94
日本	社債券	第1回アサヒグループホールディングス株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	1,400,000,000	101.25	1,417,589,600	99.77	1,396,886,400	0.970	2080/10/15	0.88
日本	国債証券	第156回利付国債(20年)	1,500,000,000	99.71	1,495,725,000	93.03	1,395,540,000	0.400	2036/3/20	0.88
日本	国債証券	第150回利付国債(20年)	1,200,000,000	112.22	1,346,664,000	106.15	1,273,908,000	1.400	2034/9/20	0.81
日本	国債証券	第145回利付国債(20年)	1,100,000,000	115.20	1,267,299,000	109.89	1,208,790,000	1.700	2033/6/20	0.77
日本	国債証券	第11回利付国債(40年)	1,500,000,000	95.59	1,433,895,000	78.47	1,177,185,000	0.800	2058/3/20	0.75
日本	社債券	第1回大樹生命保険株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付・適格機関投資家限定分分割制限少数人私募)	1,200,000,000	100.04	1,200,558,000	97.40	1,168,843,200	0.740	2051/7/2	0.74
日本	国債証券	第159回利付国債(20年)	1,200,000,000	101.30	1,215,600,000	94.49	1,133,880,000	0.600	2036/12/20	0.72
日本	国債証券	第14回利付国債(40年)	1,500,000,000	91.71	1,375,710,000	73.87	1,108,125,000	0.700	2061/3/20	0.70
日本	国債証券	第155回利付国債(20年)	1,100,000,000	107.18	1,178,994,000	100.63	1,106,941,000	1.000	2035/12/20	0.70

ロ. 種類別の投資比率

種類	投資比率(%)
国債証券	65.07
社債券	34.11
合計	99.18

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

北米株式グローバル・ラップマザーファンド

以下の運用状況は2023年 1月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	アメリカ	16,602,465,740	88.70
	カナダ	805,048,622	4.30
	オランダ	38,879,217	0.21
	アイルランド	306,501,781	1.64
	イギリス	335,220,568	1.79
	ジャージー	153,340,099	0.82
	小計	18,241,456,027	97.46
投資証券	アメリカ	406,807,537	2.17
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）		68,450,596	0.37
合計（純資産総額）		18,716,714,160	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
為替予約取引	売建		13,299,848	0.07

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	業種	数量又は 額面総額	簿価 単価 （円）	簿価 金額 （円）	評価 単価 （円）	評価 金額 （円）	投資 比率 （％）
アメリカ	株式	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	38,947	38,924.41	1,515,989,378	31,666.37	1,233,310,257	6.59
アメリカ	株式	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	62,478	22,374.30	1,397,901,534	18,657.20	1,165,665,166	6.23
アメリカ	株式	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	55,588	17,737.39	985,986,397	12,779.53	710,388,875	3.80

アメリカ	株式	AMAZON.COM INC	小売	43,283	20,350.72	880,840,237	13,118.75	567,819,224	3.03
アメリカ	株式	JPMORGAN CHASE & CO	銀行	26,166	17,764.79	464,833,631	18,152.29	474,972,849	2.54
アメリカ	株式	PROCTER & GAMBLE CO	家庭用品・パーソナル用品	23,401	19,523.31	456,865,110	18,397.57	430,521,646	2.30
アメリカ	株式	MASTERCARD INC	ソフトウェア・サービス	7,957	45,449.22	361,639,479	48,420.02	385,278,150	2.06
アメリカ	株式	VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	12,145	28,188.04	342,343,788	29,890.67	363,022,272	1.94
アメリカ	株式	NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	14,222	34,934.64	496,840,552	25,000.66	355,559,406	1.90
アメリカ	株式	CONSTELLATION BRANDS INC-A	食品・飲料・タバコ	11,038	29,830.97	329,274,257	29,533.18	325,987,342	1.74
アメリカ	株式	T-MOBILE US INC	電気通信サービス	16,019	17,416.44	278,993,957	19,176.48	307,188,043	1.64
アメリカ	株式	LIBERTY MEDIA CORP-LIBERTY-C	メディア・娯楽	31,871	8,487.07	270,491,519	9,097.67	289,951,939	1.55
アメリカ	株式	BOOKING HOLDINGS INC	消費者サービス	834	284,862.97	237,575,725	317,952.78	265,172,619	1.42
カナダ	株式	CANADIAN NATURAL RESOURCES	エネルギー	28,905	7,623.89	220,368,758	7,880.13	227,775,401	1.22
アメリカ	株式	UNITEDHEALTH GROUP INC	ヘルスケア機器・サービス	3,514	67,749.15	238,070,537	63,381.02	222,720,909	1.19
アメリカ	株式	MCDONALD'S CORP	消費者サービス	6,250	31,790.32	198,689,501	35,343.01	220,893,864	1.18
アメリカ	株式	MERCK & CO. INC.	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	15,732	11,016.88	173,317,663	13,841.56	217,755,458	1.16
アメリカ	株式	BANK OF AMERICA CORP	銀行	47,270	4,597.76	217,336,248	4,605.59	217,706,287	1.16
アメリカ	株式	UNITED PARCEL SERVICE-CL B	運輸	9,379	27,492.63	257,853,456	23,089.27	216,554,319	1.16
アメリカ	株式	HOWMET AEROSPACE INC	資本財	39,532	4,826.08	190,784,804	5,243.58	207,289,572	1.11
アメリカ	株式	MORGAN STANLEY	各種金融	16,534	11,914.52	196,994,680	12,519.90	207,004,046	1.11
イギリス	株式	ASTRAZENECA PLC-SPONS ADR	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	24,091	8,604.49	207,290,925	8,590.14	206,945,178	1.11
アメリカ	株式	ABBVIE INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	10,869	20,642.96	224,368,369	19,002.95	206,543,123	1.10
アメリカ	株式	DEERE & CO	資本財	3,757	55,397.56	208,128,640	54,875.68	206,167,937	1.10
アメリカ	株式	VISTRA CORP	公益事業	70,290	2,979.93	209,459,617	2,918.61	205,149,371	1.10
アメリカ	株式	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2,774	74,275.26	206,039,589	73,622.91	204,229,970	1.09
アメリカ	株式	MARATHON PETROLEUM CORP	エネルギー	12,050	10,980.35	132,313,280	16,848.89	203,029,194	1.08
アメリカ	株式	INGERSOLL-RAND INC	資本財	26,914	6,475.22	174,274,235	7,216.29	194,219,382	1.04
アイルランド	株式	TRANE TECHNOLOGIES PLC	資本財	8,436	20,286.78	171,139,279	22,851.82	192,777,958	1.03
アメリカ	株式	PROGRESSIVE CORP	保険	10,852	15,009.26	162,880,585	17,665.63	191,707,504	1.02

ロ.種類別及び業種別の投資比率

種類	国内/国外	業種	投資比率(%)
----	-------	----	---------

株式	国外	エネルギー	6.68
		素材	2.20
		資本財	8.36
		商業・専門サービス	1.58
		運輸	2.53
		自動車・自動車部品	0.30
		耐久消費財・アパレル	1.36
		消費者サービス	3.94
		メディア・娯楽	6.00
		小売	3.73
		食品・飲料・タバコ	1.74
		家庭用品・パーソナル用品	2.30
		ヘルスケア機器・サービス	4.66
		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.31
		銀行	4.46
		各種金融	6.42
		保険	1.92
		ソフトウェア・サービス	14.91
		テクノロジー・ハードウェアおよび機器	7.08
		電気通信サービス	1.64
公益事業	1.87		
半導体・半導体製造装置	4.48		
投資証券		2.17	
合計		99.63	

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

資産の種類	名称	建別	数量	契約額等（円）	評価額（円）	投資比率（%）
為替予約取引	米ドル	売建	101,952.20	13,231,860	13,299,848	0.07

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド

以下の運用状況は2023年 1月31日現在です。

- ・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	ドイツ	1,318,769,333	9.87
	イタリア	361,865,430	2.71
	フランス	2,434,571,158	18.23
	オランダ	1,165,425,487	8.73
	スペイン	598,965,178	4.48
	ルクセンブルク	354,389,935	2.65
	フィンランド	154,793,674	1.16
	アイルランド	1,072,106,866	8.03
	ポルトガル	128,269,890	0.96
	イギリス	2,756,985,199	20.64
	スイス	1,965,341,322	14.71
	ノルウェー	119,545,682	0.90
	デンマーク	199,890,651	1.50
	バミューダ	141,053,612	1.06
	ジャージー	206,470,523	1.55
	小計	12,978,443,940	97.17
新株予約権証券	スイス	5,250,131	0.04
投資証券	イギリス	95,366,240	0.71
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）		277,338,988	2.08
合計（純資産総額）		13,356,399,299	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
為替予約取引	買建		4,053,885	0.03
	売建		4,063,203	0.03

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ.評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	業種	数量又は額面総額	簿価単価（円）	簿価金額（円）	評価単価（円）	評価金額（円）	投資比率（％）
スイス	株式	NESTLE SA-REG	食品・飲料・タバコ	39,452	16,798.83	662,747,654	15,683.05	618,727,720	4.63
フランス	株式	LVHM MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	耐久消費財・アパレル	5,084	89,379.56	454,405,726	113,078.12	574,889,203	4.30
スイス	株式	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	11,047	50,632.07	559,332,548	40,653.49	449,099,126	3.36

オランダ	株式	ASML HOLDING NV	半導体・半導体製造装置	4,603	85,799.51	394,935,172	85,417.30	393,175,850	2.94
フランス	株式	SCHNEIDER ELECTRIC SE	資本財	18,195	21,049.97	383,004,241	20,834.80	379,089,201	2.84
アイルランド	株式	LINDE PLC	素材	8,164	40,876.86	333,718,731	42,666.18	348,326,726	2.61
フランス	株式	TOTALENERGIES SE	エネルギー	40,305	7,458.57	300,618,059	8,197.73	330,409,895	2.47
イギリス	株式	DIAGEO PLC	食品・飲料・タバコ	54,149	6,026.65	326,337,607	5,500.11	297,825,637	2.23
イギリス	株式	BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	食品・飲料・タバコ	59,311	5,273.52	312,778,279	4,946.15	293,361,156	2.20
フランス	株式	BNP PARIBAS	銀行	33,092	7,201.15	238,300,694	8,792.29	290,954,514	2.18
スイス	株式	NOVARTIS AG-REG	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	24,107	10,980.11	264,697,521	11,731.96	282,822,364	2.12
フランス	株式	SANOFI	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	19,823	11,609.33	230,131,860	12,710.67	251,963,659	1.89
オランダ	株式	WOLTERS KLUWER	商業・専門サービス	17,038	13,591.17	231,566,450	14,139.01	240,900,500	1.80
スペイン	株式	CELLNEX TELECOM SA	電気通信サービス	45,741	5,965.33	272,860,544	5,145.70	235,369,738	1.76
スペイン	株式	IBERDROLA SA	公益事業	153,651	1,312.26	201,630,246	1,526.72	234,582,761	1.76
スイス	株式	CIE FINANCIERE RICHEMON-REG	耐久消費財・アパレル	11,676	15,839.62	184,943,490	20,086.94	234,535,158	1.76
アイルランド	株式	EXPERIAN PLC	商業・専門サービス	49,008	4,699.40	230,308,577	4,747.78	232,679,633	1.74
オランダ	株式	EURONEXT NV	各種金融	21,661	11,297.90	244,723,890	10,659.46	230,894,736	1.73
アイルランド	株式	FLUTTER ENTERTAINMENT PLC	消費者サービス	10,880	14,459.46	157,319,014	20,118.43	218,888,546	1.64
スイス	株式	UBS GROUP AG-REG	各種金融	77,264	2,444.56	188,877,241	2,800.04	216,342,368	1.62
イギリス	株式	NATWEST GROUP PLC	銀行	433,747	390.27	169,279,916	497.67	215,866,868	1.62
ジャーシー	株式	GLENCORE PLC	素材	233,117	754.74	175,943,564	885.69	206,470,523	1.55
イギリス	株式	BEAZLEY PLC/UK	保険	187,697	706.36	132,582,141	1,078.08	202,354,249	1.52
イタリア	株式	INFRASTRUTTURE WIRELESS ITAL	電気通信サービス	133,998	1,373.13	183,996,942	1,431.87	191,868,976	1.44
ドイツ	株式	E.ON SE	公益事業	135,056	1,425.50	192,523,570	1,416.30	191,280,866	1.43
ドイツ	株式	DEUTSCHE BOERSE AG	各種金融	8,199	22,682.15	185,971,020	23,045.96	188,953,892	1.41
イギリス	株式	LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	各種金融	15,771	12,688.72	200,113,860	11,914.62	187,905,592	1.41
イギリス	株式	NATIONAL GRID PLC	公益事業	110,958	1,735.26	192,541,556	1,665.11	184,757,580	1.38
イギリス	株式	IG GROUP HOLDINGS PLC	各種金融	135,311	1,275.64	172,608,895	1,277.25	172,827,111	1.29
イギリス	株式	RECKITT BENCKISER GROUP PLC	家庭用品・パーソナル用品	18,590	9,219.80	171,396,192	9,234.32	171,666,013	1.29

ロ.種類別及び業種別の投資比率

種類	国内 / 国外	業種	投資比率 (%)
株式	国外	エネルギー	6.47
		素材	7.13
		資本財	8.28
		商業・専門サービス	3.55

	運輸	0.86
	自動車・自動車部品	1.00
	耐久消費財・アパレル	6.91
	消費者サービス	3.30
	メディア・娯楽	0.63
	小売	2.60
	食品・生活必需品小売り	1.08
	食品・飲料・タバコ	9.84
	家庭用品・パーソナル用品	1.29
	ヘルスケア機器・サービス	0.52
	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	10.49
	銀行	6.13
	各種金融	9.35
	保険	3.73
	ソフトウェア・サービス	2.46
	電気通信サービス	3.20
	公益事業	5.42
	半導体・半導体製造装置	2.94
新株予約権証券		0.04
投資証券		0.71
合 計		97.92

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

資産の種類	名称	建別	数量	契約額等（円）	評価額（円）	投資比率（%）
為替予約取引	ユーロ	買建	736.78	104,404	104,290	0.00
	ノルウェークローネ	買建	302,220.28	3,960,546	3,949,595	0.03
	英ポンド	売建	25,198.06	4,064,950	4,063,203	0.03

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド

以下の運用状況は2023年 1月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（%）
-------	------	---------	---------

株式	アメリカ	76,094,800	1.79
	アイルランド	77,934,623	1.84
	ケイマン	67,073,929	1.58
	オーストラリア	2,453,285,305	57.86
	ニュージーランド	148,993,223	3.51
	香港	870,547,997	20.53
	シンガポール	444,260,167	10.48
	中国	16,875,607	0.40
	小計	4,155,065,651	98.00
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）		84,970,363	2.00
合計（純資産総額）		4,240,036,014	100.00

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	業種	数量又は 額面総額	簿価 単価 (円)	簿価 金額 (円)	評価 単価 (円)	評価 金額 (円)	投資 比率 (%)
オーストラリア	株式	BHP GROUP LTD	素材	78,387	3,965.86	310,871,883	4,525.71	354,757,135	8.37
香港	株式	AIA GROUP LTD	保険	236,200	1,340.15	316,545,438	1,487.67	351,389,426	8.29
オーストラリア	株式	CSL LTD	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	10,040	24,919.46	250,191,430	26,935.49	270,432,320	6.38
香港	株式	HONG KONG EXCHANGES & CLEAR	各種金融	25,500	5,567.42	141,969,389	5,987.34	152,677,170	3.60
オーストラリア	株式	WESTPAC BANKING CORP	銀行	69,803	2,172.30	151,633,468	2,183.33	152,403,507	3.59
オーストラリア	株式	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	銀行	14,261	9,762.96	139,229,658	10,090.23	143,896,867	3.39
シンガポール	株式	DBS GROUP HOLDINGS LTD	銀行	38,000	3,392.73	128,924,094	3,542.66	134,621,354	3.18
オーストラリア	株式	ANZ GROUP HOLDINGS LTD	銀行	58,417	2,440.74	142,580,796	2,301.00	134,417,978	3.17
シンガポール	株式	OVERSEA-CHINESE BANKING CORP	銀行	90,370	1,216.30	109,917,256	1,289.77	116,557,156	2.75
オーストラリア	株式	RIO TINTO LTD	素材	9,753	10,332.93	100,777,086	11,539.05	112,540,390	2.65
オーストラリア	株式	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	銀行	37,674	2,885.68	108,715,210	2,926.13	110,239,093	2.60
オーストラリア	株式	WOOLWORTHS GROUP LTD	食品・生活必需品小売り	34,001	3,301.20	112,244,316	3,196.40	108,681,004	2.56
オーストラリア	株式	BRAMBLES LTD	商業・専門サービス	94,053	909.18	85,511,830	1,104.99	103,928,433	2.45
オーストラリア	株式	COLES GROUP LTD	食品・生活必需品小売り	62,372	1,622.56	101,202,593	1,594.98	99,482,436	2.35
オーストラリア	株式	SUNCORP GROUP LTD	保険	81,788	1,026.85	83,984,670	1,154.64	94,435,762	2.23
シンガポール	株式	SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS	電気通信サービス	357,920	258.15	92,398,480	250.21	89,555,450	2.11

香港	株式	TECHTRONIC INDUSTRIES CO	資本財	52,500	2,017.14	105,900,243	1,646.68	86,450,962	2.04
香港	株式	BOC HONG KONG HOLDINGS LTD	銀行	176,500	469.17	82,809,760	463.70	81,843,491	1.93
オーストラリア	株式	ARISTOCRAT LEISURE LTD	消費者サービス	25,058	3,299.36	82,675,556	3,120.10	78,183,571	1.84
アイルランド	株式	JAMES HARDIE INDUSTRIES PLC-CDI	素材	27,085	3,689.33	99,925,570	2,877.40	77,934,623	1.84
アメリカ	株式	RESMED INC-CDI	ヘルスケア機器・サービス	26,395	2,968.41	78,351,438	2,882.92	76,094,800	1.79
香港	株式	HANG LUNG PROPERTIES LTD	不動産	285,000	255.41	72,792,135	259.40	73,930,995	1.74
オーストラリア	株式	TELSTRA GROUP LTD	電気通信サービス	188,804	357.60	67,517,765	377.83	71,336,250	1.68
オーストラリア	株式	MEDIBANK PRIVATE LTD	保険	260,003	282.22	73,379,373	266.59	69,316,020	1.63
オーストラリア	株式	WOODSIDE ENERGY GROUP LTD	エネルギー	20,642	2,921.53	60,306,334	3,337.05	68,883,572	1.62
香港	株式	SUN HUNG KAI PROPERTIES	不動産	35,500	1,571.92	55,803,391	1,911.42	67,855,410	1.60
オーストラリア	株式	SEEK LTD	メディア・娯楽	29,683	2,477.61	73,543,021	2,242.17	66,554,412	1.57
オーストラリア	株式	ASX LTD	各種金融	10,325	7,339.69	75,782,312	6,368.91	65,759,000	1.55
オーストラリア	株式	COCHLEAR LTD	ヘルスケア機器・サービス	3,397	19,770.46	67,160,272	19,192.22	65,195,992	1.54
ニュージーランド	株式	CONTACT ENERGY LIMITED	公益事業	96,904	670.50	64,974,423	664.59	64,402,321	1.52

ロ.種類別及び業種別の投資比率

種類	国内 / 国外	業種	投資比率 (%)
株式	国外	エネルギー	1.62
		素材	16.50
		資本財	3.15
		商業・専門サービス	2.45
		消費者サービス	3.12
		メディア・娯楽	2.57
		食品・生活必需品小売り	6.26
		ヘルスケア機器・サービス	3.33
		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.38
		銀行	20.61
		各種金融	6.35
		保険	12.55
		不動産	4.67
		ソフトウェア・サービス	0.40
		テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.24
電気通信サービス	5.26		
公益事業	1.52		
合計			98.00

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

該当事項はありません。

海外債券グローバル・ラップマザーファンド

以下の運用状況は2023年 1月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	アメリカ	3,430,985,179	34.73
	カナダ	173,189,837	1.75
	メキシコ	80,176,814	0.81
	ドイツ	415,599,265	4.21
	イタリア	747,044,828	7.56
	フランス	705,407,797	7.14
	オランダ	196,546,968	1.99
	スペイン	487,722,773	4.94
	ベルギー	192,776,401	1.95
	オーストリア	103,066,258	1.04
	フィンランド	59,721,744	0.60
	アイルランド	52,361,074	0.53
	イギリス	526,082,335	5.33
	スウェーデン	30,311,085	0.31
	ノルウェー	10,658,513	0.11
	デンマーク	27,222,361	0.28
	ポーランド	43,815,555	0.44
	オーストラリア	179,752,471	1.82
	ニュージーランド	39,061,828	0.40
	シンガポール	31,550,196	0.32
マレーシア	50,932,952	0.52	
中国	352,524,571	3.57	
イスラエル	34,620,336	0.35	
小計		7,971,131,141	80.69
地方債証券	カナダ	358,731,741	3.63
特殊債券	アメリカ	6,802,785	0.07
	カナダ	162,575,173	1.65
	フランス	52,810,019	0.53
	オランダ	82,771,780	0.84

	国際機関	2,664,633	0.03
	小計	307,624,390	3.11
社債券	アメリカ	458,782,805	4.64
	カナダ	37,450,914	0.38
	ドイツ	14,100,588	0.14
	フランス	34,753,735	0.35
	オランダ	71,043,469	0.72
	アイルランド	36,715,934	0.37
	小計	652,847,445	6.61
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）		588,259,467	5.95
合計（純資産総額）		9,878,594,184	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
債券先物取引	買建	アメリカ	654,413,066	6.62
	買建	カナダ	22,046,460	0.22
	買建	ドイツ	16,578,091	0.17
	買建	オーストラリア	77,585,368	0.79
	売建	アメリカ	708,270,672	7.17
	売建	カナダ	73,902,603	0.75
	売建	ドイツ	302,021,091	3.06
	売建	イギリス	118,059,316	1.20

(注)先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
為替予約取引	買建		4,079,280,914	41.29
	売建		4,193,526,906	42.45

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

投資資産

投資有価証券の主要銘柄

イ. 評価額上位銘柄明細

国・地域	種類	銘柄名	数量又は額面総額	簿価単価（円）	簿価金額（円）	評価単価（円）	評価金額（円）	利率（％）	償還期限	投資比率（％）
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	4,845,000	12,425.36	602,008,844	12,246.59	593,347,628	0.375	2024/8/15	6.01
フランス	国債証券	FRANCE (GOVT OF)	2,126,000	12,899.33	274,239,956	12,749.68	271,058,404	0.000	2027/2/25	2.74
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	2,231,000	12,143.13	270,913,420	11,702.54	261,083,831	0.750	2026/8/31	2.64
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	2,081,000	12,555.37	261,277,379	12,475.68	259,618,984	2.750	2028/2/15	2.63
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	1,645,000	12,734.32	209,479,704	12,111.79	199,239,028	2.375	2029/5/15	2.02

アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	1,580,000	12,565.56	198,535,938	12,588.31	198,895,395	0.500	2023/11/30	2.01
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	2,056,000	9,943.55	204,439,509	9,178.76	188,715,470	2.000	2051/8/15	1.91
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	1,372,000	13,090.13	179,596,695	13,073.24	179,364,943	4.500	2024/11/30	1.82
イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	1,232,000	13,644.10	168,095,422	13,554.36	166,989,838	2.650	2027/12/1	1.69
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	1,524,000	11,622.71	177,130,185	10,902.39	166,152,565	1.250	2031/8/15	1.68
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	1,337,000	13,799.24	184,495,844	11,431.41	152,838,012	3.000	2045/5/15	1.55
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	1,262,000	14,101.20	177,957,229	11,412.04	144,020,043	3.000	2048/2/15	1.46
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	1,256,000	13,844.59	173,888,170	11,417.14	143,399,330	3.000	2045/11/15	1.45
イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	1,111,000	13,610.99	151,218,143	12,721.96	141,341,073	0.000	2026/4/1	1.43
フランス	国債証券	FRANCE (GOVT OF)	1,246,000	12,894.70	160,667,967	11,201.62	139,572,292	0.000	2031/11/25	1.41
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	1,023,000	13,244.74	135,493,726	13,209.06	135,128,757	4.500	2025/11/15	1.37
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	1,229,000	9,260.30	113,809,111	9,465.95	116,336,588	1.750	2041/8/15	1.18
中国	国債証券	CHINA GOVERNMENT BOND	5,890,000	1,917.08	112,916,387	1,908.11	112,387,965	2.370	2027/1/20	1.14
イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	807,000	13,937.99	112,479,640	13,891.43	112,103,851	1.750	2024/5/30	1.13
ドイツ	国債証券	BUNDESREP. DEUTSCHLAND	1,019,000	13,076.30	133,247,574	10,630.70	108,326,863	0.000	2035/5/15	1.10
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	886,000	11,793.91	104,494,109	11,827.92	104,795,378	0.250	2025/9/30	1.06
スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	820,000	12,737.20	104,445,103	12,618.02	103,467,775	0.000	2027/1/31	1.05
イタリア	国債証券	BUONI POLIENNALI DEL TES	747,000	13,785.67	102,979,022	13,492.59	100,789,671	0.000	2024/8/15	1.02
カナダ	地方債証券	ONTARIO (PROVINCE OF)	691,000	14,888.28	102,878,045	13,910.52	96,121,730	0.250	2026/12/15	0.97
スペイン	国債証券	BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	708,000	13,598.52	96,277,558	13,277.19	94,002,544	2.550	2032/10/31	0.95
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	700,000	13,201.42	92,409,964	13,150.45	92,053,202	3.875	2027/11/30	0.93
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	709,000	13,985.07	99,154,212	11,787.14	83,570,886	3.125	2043/2/15	0.85
オランダ	特殊債券	NEDER WATERSCHAPSBANK	652,000	13,698.39	89,313,522	12,695.05	82,771,780	0.000	2026/11/16	0.84
イギリス	国債証券	UK TREASURY	742,000	11,947.88	88,653,291	11,122.63	82,529,918	1.125	2039/1/31	0.84
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B	694,000	12,072.55	83,783,512	11,738.22	81,463,266	0.375	2026/1/31	0.82

ロ.種類別の投資比率

種類	投資比率 (%)
国債証券	80.69
地方債証券	3.63
特殊債券	3.11
社債券	6.61
合計	94.05

投資不動産物件

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

資産の種類	地域	取引所	名称	建別	数量	通貨	契約額等 (各通貨)	契約額等(円)	評価額 (各通貨)	評価額(円)	投資 比率 (%)
債券先物取引	アメリカ	シカゴ商品取引所	TNOTE2Y 2303	売建	22	米ドル	4,528,108.16	590,782,271	4,520,140.68	589,742,754	5.97
	アメリカ	シカゴ商品取引所	TNOTE5Y 2303	買建	9	米ドル	985,438.47	128,570,157	981,281.25	128,027,765	1.30
	アメリカ	シカゴ商品取引所	TNOTE10Y2303	買建	18	米ドル	2,077,907.94	271,104,649	2,057,062.5	268,384,944	2.72
	アメリカ	シカゴ商品取引所	TBOND20Y2303	売建	7	米ドル	877,270.8	114,457,522	908,468.75	118,527,918	1.20
	アメリカ	シカゴ商品取引所	TNOUL10Y2303	買建	14	米ドル	1,658,141.18	216,337,680	1,693,781.32	220,987,649	2.24
	アメリカ	シカゴ商品取引所	TBOND30Y2303	買建	2	米ドル	286,072.78	37,323,915	283,687.5	37,012,708	0.37
	カナダ	モントリオール取引所	CAN 05Y 2303	買建	2	加ドル	227,084.1	22,124,803	226,280	22,046,460	0.22
	カナダ	モントリオール取引所	CAN 10Y 2303	売建	6	加ドル	760,027.22	74,049,451	758,520	73,902,603	0.75
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	FBTP10Y 2303	売建	2	ユーロ	231,767.19	32,808,963	227,820	32,250,199	0.33
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	BOBL5Y 2303	買建	1	ユーロ	118,130.92	16,722,612	117,110	16,578,091	0.17
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	BUND10Y 2303	売建	10	ユーロ	1,407,158.58	199,197,369	1,367,000	193,512,520	1.96
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	BUXL30Y 2303	売建	1	ユーロ	162,298.22	22,974,936	144,560	20,463,914	0.21
	ドイツ	ユーレックス・ドイツ金融先物取引所	OAT10Y 2303	売建	3	ユーロ	402,013.82	56,909,076	394,140	55,794,458	0.56
	オーストラリア	シドニー先物取引所	AUSTR10Y2303	買建	7	豪ドル	842,149.52	77,418,805	843,961.37	77,585,368	0.79
イギリス	ロンドン国際金融先物オプション取引所	GILT10Y 2303	売建	7	英ポンド	731,614.97	117,987,546	732,060	118,059,316	1.20	

(注)先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

資産の種類	名称	建別	数量	契約額等(円)	評価額(円)	投資 比率 (%)
為替予約取引	米ドル	買建	17,936,842.93	2,331,336,205	2,337,808,057	23.67
	加ドル	買建	2,872,000.00	280,255,061	279,597,526	2.83
	メキシコペソ	買建	4,044,000.00	27,681,972	28,076,278	0.28
	ユーロ	買建	2,381,000.00	336,659,358	336,842,566	3.41
	英ポンド	買建	1,062,000.00	168,857,584	171,145,860	1.73
	スイスフラン	買建	1,015,000.00	144,146,484	143,145,450	1.45
	スウェーデンクローナ	買建	11,691,000.00	147,119,171	146,530,317	1.48
	ノルウェークローネ	買建	5,599,000.00	73,806,395	73,130,778	0.74
	ポーランドズロチ	買建	410,000.00	12,214,721	12,306,888	0.12

豪ドル	買建	2,271,000.00	205,672,667	208,646,532	2.11
ニュージーランドドル	買建	2,278,000.00	190,703,464	192,053,392	1.94
シンガポールドル	買建	119,000.00	11,647,508	11,806,834	0.12
南アフリカランド	買建	1,260,000.00	9,780,395	9,449,118	0.10
香港・オフショア人民元	買建	6,676,000.00	127,344,032	128,741,318	1.30
米ドル	売建	17,090,638.93	2,232,138,812	2,227,929,797	22.55
加ドル	売建	1,684,000.00	162,643,980	163,942,281	1.66
メキシコペソ	売建	2,627,000.00	18,047,608	18,238,472	0.18
ユーロ	売建	3,166,000.00	446,691,740	447,682,873	4.53
英ポンド	売建	2,228,000.00	351,841,760	359,051,773	3.63
スイスフラン	売建	1,633,000.00	230,397,790	230,301,990	2.33
スウェーデンクローナ	売建	11,504,000.00	144,351,140	144,186,534	1.46
ノルウェークローネ	売建	4,580,000.00	60,200,600	59,821,212	0.61
トルコリラ	売建	15,000.00	105,024	103,608	0.00
ポーランドズロチ	売建	401,000.00	11,890,055	12,036,736	0.12
豪ドル	売建	2,288,000.00	206,673,820	210,208,396	2.13
ニュージーランドドル	売建	2,437,000.00	202,586,020	205,458,346	2.08
南アフリカランド	売建	3,610,000.00	27,419,900	27,072,473	0.27
香港・オフショア人民元	売建	4,537,000.00	87,486,768	87,492,415	0.89

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

参考情報

運用実績

2023年1月31日現在

基準価額・純資産の推移



基準価額…………… 10,567円

純資産総額…………… 463.68億円

※基準価額は運用管理費用(信託報酬)控除後の1万口当たりの値です。
 ※分配金再投資基準価額は、2013年1月末の基準価額を起点として指数化しています。
 ※分配金再投資基準価額は当ファンドに過去10年間、分配実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものである点にご留意ください。

分配の推移(税引前、1万口当たり)

2019年1月	2020年1月	2021年1月	2022年1月	2023年1月	設定累計
30円	500円	600円	1,100円	200円	12,180円

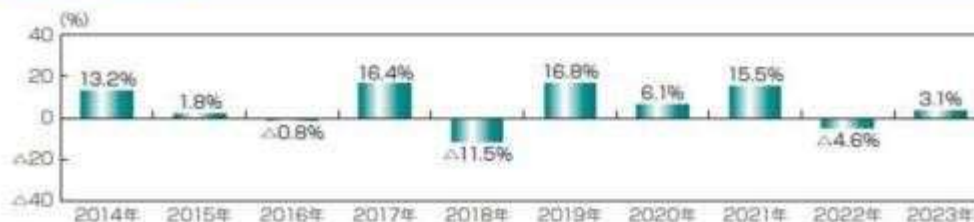
主要な資産の状況

組入資産	比率 ^{※1}	組入上位銘柄	業種名・種類	比率 ^{※2}
日本大型株式 グローバル・ラップ マザーファンド	25.5%	ソニーグループ	電気機器	5.9%
		三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	5.5%
		日本電信電話	情報・通信業	4.9%
日本小型株式 グローバル・ラップ マザーファンド	8.9%	武蔵精密工業	輸送用機器	2.0%
		日本光電工業	電気機器	2.0%
		武蔵野銀行	銀行業	2.0%
北米株式 グローバル・ラップ マザーファンド	18.6%	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	6.6%
		APPLE INC	テクノロジー・ハードウェア	6.2%
		ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	3.8%
欧州先進国株式 グローバル・ラップ マザーファンド	12.9%	NESTLE SA-REG	食品・飲料・タバコ	4.6%
		LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	耐久消費財・アパレル	4.3%
		ROCHE HOLDING AG-GENUSSSCHEIN	医薬品・バイオテクノロジー	3.4%
アジア太平洋先進国株式 グローバル・ラップ マザーファンド	4.0%	BHP GROUP LTD	素材	8.4%
		AIA GROUP LTD	保険	8.3%
		CSL LTD	医薬品・バイオテクノロジー	6.4%
日本債券 グローバル・ラップ マザーファンド	18.4%	第444回利付国債(2年)	国債証券	7.3%
		第154回利付国債(5年)	国債証券	6.3%
		第358回利付国債(10年)	国債証券	5.3%
海外債券 グローバル・ラップ マザーファンド	10.6%	US TREASURY N/B(0.375%)	国債証券	6.0%
		FRANCE (GOVT OF)(0%)	国債証券	2.7%
		US TREASURY N/B(0.75%)	国債証券	2.6%
現金その他	1.0%			

※1: 当ファンドの対純資産総額比です。また、合計の比率が四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

※2: 各マザーファンドの対純資産総額比です。

年間収益率の推移



※ファンドの年間収益率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。

※当ファンドには、ベンチマークはありません。

※2023年は、2023年1月末までの騰落率です。

※ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。

※ファンドの運用状況は別途、委託会社のホームページで開示しています。

第2【管理及び運営】

1【申込(販売)手続等】

- (1) 申込方法
販売会社所定の方法でお申し込みください。
- (2) コースの選択
収益分配金の受取方法によって、＜分配金再投資コース＞と＜分配金受取りコース＞の2通りがあります。ただし、販売会社によって取扱コースは異なります。
＜分配金再投資コース＞
収益分配金を自動的に再投資するコースです。なお、販売会社によっては、収益分配金を定期的に受け取るための「定期引出契約」を結ぶことができる場合があります。
＜分配金受取りコース＞
収益分配金を再投資せず、その都度受け取るコースです。
- (3) 申込みの受付
販売会社の営業日に受け付けます。
- (4) 取扱時間
原則として、午後3時までに、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。なお、上記時刻を過ぎた場合は、翌営業日の取扱いとなります。
- (5) 申込金額
取得申込受付日の翌営業日の基準価額に取得申込口数を乗じて得た額に、申込手数料と当該手数料に係る消費税等相当額を加算した額です。
- (6) 申込単位
販売会社の照会先にお問い合わせください。
- (7) 申込代金の支払い
取得申込者は、申込金額を販売会社が指定する日までに販売会社へお支払いください。
- (8) 受付の中止および取消
委託会社は、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、取得の申込みの受付を中止すること、および既に受け付けた取得の申込みの受付を取り消すことができます。
金融商品取引法第2条第16項に規定する金融商品取引所および金融商品取引法第2条第8項第3号口に規定する外国金融商品市場をいいます。
- (9) 償還乗換
 - ・ 受益者は、証券投資信託の償還金額（手取額）の範囲内（単位型証券投資信託については、償還金額（手取額）とその元本額のいずれか大きい額とします。）で取得する口数に係る申込手数料を徴収されない措置の適用を受けることができる場合があります。この償還乗換優遇措置を採用するか否かの選択は販売会社に任せられておりますので、販売会社により対応が異なります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
 - ・ この措置の適用を受ける受益者は、販売会社から、償還金の支払いを受けたことを証する書類の提示を求められることがあります。
- (10) 乗換優遇
受益者は、信託期間終了日の1年前以内などの一定の要件を満たした証券投資信託を解約または買取請求により換金した際の代金をもって、換金を行なった販売会社において、取得申込みをする場合の手数料率が割引となる措置の適用を受けることができる場合があります。この乗換優遇措置を採用するか否かの選択は販売会社に任せられておりますので、販売会社により対応が異なります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

2【換金（解約）手続等】

<解約請求による換金>

- (1) 解約の受付
販売会社の営業日に受け付けます。
- (2) 取扱時間
原則として、午後3時までに、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分とします。なお、上記時刻を過ぎた場合は、翌営業日の取扱いとなります。
- (3) 解約制限
ファンドの規模および商品性格などに基づき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の解約

には受付時間制限および金額制限を行なう場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

(4) 解約価額

解約請求受付日の翌営業日の基準価額とします。

- ・基準価額につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。

< 委託会社の照会先 >

日興アセットマネジメント株式会社

ホームページ アドレス www.nikkoam.com/

コールセンター 電話番号 0120-25-1404

午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

(5) 手取額

1口当たりの手取額は、解約価額から解約に係る所定の税金を差し引いた金額となります。

税法が改正された場合などには、税率などの課税上の取扱いが変更になる場合があります。

詳しくは、「課税上の取扱い」をご覧ください。

(6) 解約単位

1口単位

販売会社によっては、解約単位が異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

(7) 解約代金の支払い

原則として、解約請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

(8) 受付の中止および取消

- ・委託会社は、金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、解約請求の受付を中止すること、および既に受け付けた解約請求の受付を取り消すことができます。
- ・解約請求の受付が中止された場合には、受益者は当該受付中止当日およびその前営業日の解約請求を撤回できます。ただし、受益者がその解約請求を撤回しない場合には、当該受付中止を解除した後の最初の基準価額の計算日に解約請求を受け付けたものとして取り扱います。

販売会社によっては、買取請求による換金が可能となる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

3 【資産管理等の概要】

(1) 【資産の評価】

基準価額の算出

- ・基準価額は委託会社の営業日において日々算出されます。
- ・基準価額とは、信託財産に属する資産(受入担保金代用有価証券および借入有価証券を除きます。)を評価して得た信託財産の総額から負債総額を控除した金額(純資産総額)を、計算日における受益権総口数で除した金額をいいます。なお、ファンドは1万口あたりに換算した価額で表示することがあります。

<基準価額算出の流れ>



有価証券などの評価基準

- ・信託財産に属する資産については、法令および一般社団法人投資信託協会規則に従って時価評価します。

<主な資産の評価方法>

マザーファンド受益証券

基準価額計算日の基準価額で評価します。

国内上場株式

原則として、基準価額計算日におけるわが国の金融商品取引所の最終相場で評価します。

外国株式

原則として、基準価額計算日に知りうる直近の日における外国金融商品市場の最終相場で評価します。

公社債（国内・外国）

原則として、基準価額計算日^{*}における以下のいずれかの価額で評価します。

- ・日本証券業協会が発表する売買参考統計値（平均値）
- ・金融商品取引業者（第一種金融商品取引業者および外国の法令に準拠して設立された法人でこの者に類する者をいいます。）、銀行などの提示する価額（売気配相場を除きます。）
- ・価格情報会社の提供する価額

残存期間1年以内の公社債などについては、一部償却原価法により評価することができます。

* 外国公社債については、基準価額計算日に知りうる直近の日とします。

- ・外貨建資産（外国通貨表示の有価証券、預金その他の資産をいいます。）の円換算については、原則としてわが国における計算日の対顧客相場の仲値によって計算します。

基準価額の照会方法

販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。

<委託会社の照会先>

日興アセットマネジメント株式会社

ホームページ アドレス www.nikkoam.com/

コールセンター 電話番号 0120-25-1404

午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

(2) 【保管】

該当事項はありません。

(3) 【信託期間】

無期限とします（2003年2月28日設定）。ただし、約款の規定に基づき、信託契約を解約し、信託を終了させることがあります。

（４）【計算期間】

毎年1月11日から翌年1月10日までとします。ただし、各計算期間の末日が休業日のときはその翌営業日を計算期間の末日とし、その翌日より次の計算期間が開始されます。

（５）【その他】

信託の終了（繰上償還）

- 1) 委託会社は、次のいずれかの場合には、受託会社と合意の上、信託契約を解約し繰上償還させることができます。
 - イ) 繰上償還することが受益者のために有利であると認めるとき
 - ロ) やむを得ない事情が発生したとき
- 2) この場合、あらかじめ、その旨およびその理由などを公告し、かつ知られたる受益者に書面を交付します。ただし、全ての受益者に書面を交付した場合は、原則として公告を行いません。
- 3) この繰上償還に異議のある受益者は、一定の期間内（1ヵ月以上で委託会社が定めます。以下同じ。）に異議を述べることができます。（後述の「異議の申立て」をご覧ください。）
- 4) 委託会社は、次のいずれかの場合には、後述の「異議の申立て」の規定は適用せず、信託契約を解約し繰上償還させます。
 - イ) 第3計算期間の終了日の翌営業日以降、受益権の口数が10億口を下回る事となった場合
 - ロ) 信託財産の状態に照らし、真にやむを得ない事情が生じている場合で、一定の期間を設けてその公告および書面の交付が困難な場合
 - ハ) 監督官庁よりこの信託契約の解約の命令を受けたとき
 - ニ) 委託会社が監督官庁より登録の取消を受けたとき、解散したときまたは業務を廃止したとき（監督官庁がこの信託契約に関する委託会社の業務を他の委託会社に引き継ぐことを命じ、異議申立の結果、信託約款の変更が成立の場合を除きます。）
 - ホ) 受託会社が委託会社の承諾を受けてその任務を辞任した場合またはその任務に違反するなどして解任された場合に、委託会社が新受託会社を選任できないとき
- 5) 繰上償還を行なう際には、委託会社は、その旨をあらかじめ監督官庁に届け出ます。

償還金について

 - ・ 償還金は、信託終了日後1ヵ月以内の委託会社の指定する日（原則として償還日（償還日が休業日の場合は翌営業日）から起算して5営業日まで）から受益者に支払います。
 - ・ 償還金の支払いは、販売会社において行なわれます。

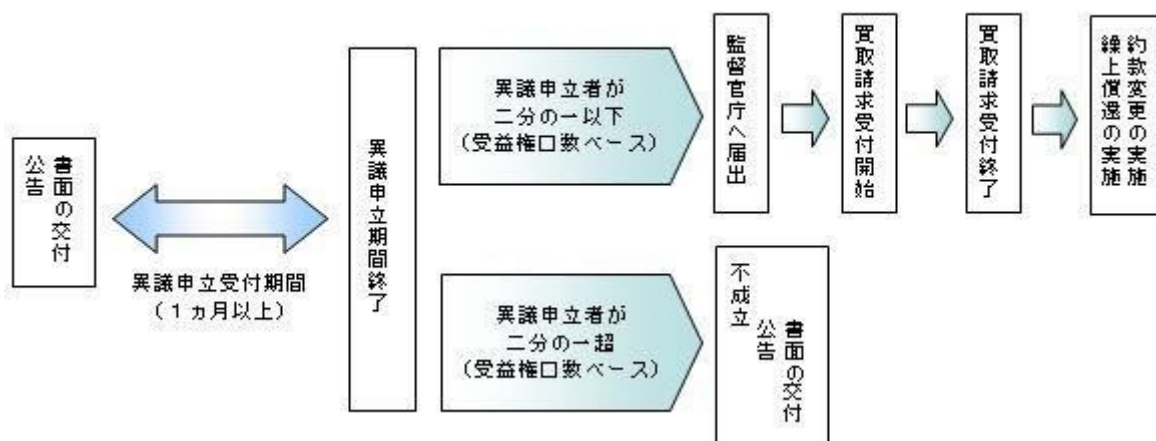
信託約款の変更

 - 1) 委託会社は、受益者の利益のため必要と認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意の上、この信託約款を変更することができます。信託約款の変更を行なう際には、委託会社は、その旨をあらかじめ監督官庁に届け出ます。
 - 2) この変更事項のうち、その内容が重大なものについては、あらかじめ、その旨およびその内容などを公告し、かつ知られたる受益者に書面を交付します。ただし、全ての受益者に書面を交付した場合は、原則として公告を行いません。
 - 3) この信託約款の変更に異議のある受益者は、一定の期間内に異議を述べることができます。（後述の「異議の申立て」をご覧ください。）
 - 4) 委託会社は、監督官庁の命令に基づいてこの信託約款を変更しようとするときは、後述の「異議の申立て」の規定を適用します。

異議の申立て

 - 1) 繰上償還または信託約款の重大な変更に対して、受益者は一定の期間内に委託会社に対して所定の手続きにより異議を述べるすることができます。一定の期間内に、異議を述べた受益者の受益権口数が受益権総口数の二分の一を超えるときは、繰上償還または信託約款の変更は行ないません。
 - 2) 委託会社は、繰上償還または信託約款の変更を行なわない場合は、その旨およびその理由などを公告し、かつ知られたる受益者に書面を交付します。ただし、全ての受益者に書面を交付した場合は、原則として公告を行いません。
 - 3) なお、一定の期間内に、異議を述べた受益者の受益権口数が受益権総口数の二分の一以下で、繰上償還、信託約款の変更を行なう場合は、異議を述べた受益者は受託会社に対し、自己に帰属する受益権を信託財産をもって買い取るべき旨を請求できます。

<繰上償還、信託約款の重大な変更を行なう場合の手続きの流れ>



公告

公告は日本経済新聞に掲載します。

運用報告書の作成

- ・委託会社は、毎期決算後および償還後に期中の運用経過、組入有価証券の内容および有価証券の売買状況などを記載した運用報告書を作成します。
- ・交付運用報告書は、原則として知っている受益者に対して交付されます。
- ・運用報告書（全体版）は、委託会社のホームページに掲載されます。ただし、受益者から運用報告書（全体版）の交付請求があった場合には、交付します。

ホームページ アドレス www.nikkoam.com/

関係法人との契約について

- ・販売会社との募集の取扱いなどに関する契約の有効期間は契約日より1年間とします。ただし、期間満了の3ヵ月前までに、販売会社、委託会社いずれからも別段の意思表示がないときは、自動的に1年間延長されるものとし、以後も同様とします。
- ・投資顧問会社とのマザーファンドにおける運用の指図に関する権限の委託契約または当ファンドにおける投資顧問契約は、当該ファンドの信託期間終了まで存続します。ただし、投資顧問会社、委託会社が重大な契約違反を行なったとき、その他契約を継続し難い重大な事由があるときは、相手方に通知をなすことにより契約を終了することができます。

4【受益者の権利等】

受益者の有する主な権利は次の通りです。

(1) 収益分配金・償還金受領権

- ・受益者は、ファンドの収益分配金・償還金を、自己に帰属する受益権の口数に応じて受領する権利を有します。
- ・ただし、受益者が収益分配金については支払開始日から5年間、償還金については支払開始日から10年間請求を行なわない場合はその権利を失い、その金銭は委託会社に帰属します。

(2) 解約請求権

受益者は、自己に帰属する受益権につき販売会社を通じて、委託会社に解約の請求をすることができます。

(3) 帳簿閲覧権

受益者は、委託会社に対し、その営業時間内にファンドの信託財産に関する帳簿書類の閲覧を請求することができます。

第3【ファンドの経理状況】

- (1) 当ファンドの財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づき作成しております。
なお、財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第20期計算期間(2022年1月12日から2023年1月10日まで)の財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による監査を受けております。

1【財務諸表】

【GW7つの卵】

(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第19期 2022年 1月11日現在	第20期 2023年 1月10日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	972,013,658	869,085,732
親投資信託受益証券	43,447,110,446	43,981,564,113
未収入金	6,832,325,642	1,358,767,621
流動資産合計	51,251,449,746	46,209,417,466
資産合計	51,251,449,746	46,209,417,466
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	4,680,868,122	871,357,282
未払解約金	36,613,367	16,324,830
未払受託者報酬	14,094,190	12,989,350
未払委託者報酬	493,298,622	454,629,328
未払利息	113	468
その他未払費用	1,127,482	1,039,092
流動負債合計	5,226,001,896	1,356,340,350
負債合計	5,226,001,896	1,356,340,350
純資産の部		
元本等		
元本	42,553,346,569	43,567,864,122
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（ ）	3,472,101,281	1,285,212,994
（分配準備積立金）	1,601,024,958	648,557,544
元本等合計	46,025,447,850	44,853,077,116
純資産合計	46,025,447,850	44,853,077,116
負債純資産合計	51,251,449,746	46,209,417,466

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第19期		第20期	
	自	2021年 1月13日 至 2022年 1月11日	自	2022年 1月12日 至 2023年 1月10日
営業収益				
有価証券売買等損益		6,753,059,899		476,634,881
営業収益合計		6,753,059,899		476,634,881
営業費用				
支払利息		87,936		181,914
受託者報酬		27,833,396		25,711,240
委託者報酬		974,172,834		899,897,498
その他費用		2,226,563		2,056,790
営業費用合計		1,004,320,729		927,847,442
営業利益又は営業損失 ()		5,748,739,170		1,404,482,323
経常利益又は経常損失 ()		5,748,739,170		1,404,482,323
当期純利益又は当期純損失 ()		5,748,739,170		1,404,482,323
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額 ()		400,084,454		29,380,049
期首剰余金又は期首欠損金 ()		2,915,083,793		3,472,101,281
剰余金増加額又は欠損金減少額		244,300,440		245,561,402
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		-		-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額		244,300,440		245,561,402
剰余金減少額又は欠損金増加額		355,069,546		185,990,133
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		355,069,546		185,990,133
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額		-		-
分配金		4,680,868,122		871,357,282
期末剰余金又は期末欠損金 ()		3,472,101,281		1,285,212,994

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき当該親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
2. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	当ファンドの計算期間は原則として、毎年1月11日から翌年1月10日までとなっております。ただし、各計算期間終了日に該当する日（以下「該当日」といいます。）が休業日のとき、各計算期間終了日は、該当日以降の営業日である日のうち、該当日に最も近い日とし、その翌日より次の計算期間が始まるものといたしますので、当計算期間は2022年 1月12日から2023年 1月10日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

		第19期 2022年 1月11日現在	第20期 2023年 1月10日現在
1.	期首元本額	45,831,857,996円	42,553,346,569円
	期中追加設定元本額	2,257,799,023円	3,302,221,373円
	期中一部解約元本額	5,536,310,450円	2,287,703,820円
2.	受益権の総数	42,553,346,569口	43,567,864,122口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第19期 自 2021年 1月13日 至 2022年 1月11日		第20期 自 2022年 1月12日 至 2023年 1月10日	
1. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用	236,169,559円	1. 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用	215,052,094円
2. 分配金の計算過程		2. 分配金の計算過程	
A 計算期末における費用控除後の 配当等収益	651,598,309円	A 計算期末における費用控除後の 配当等収益	0円
B 費用控除後、繰越欠損金補填後 の有価証券売買等損益	4,697,056,407円	B 費用控除後、繰越欠損金補填後 の有価証券売買等損益	0円
C 信託約款に定める収益調整金	1,871,076,323円	C 信託約款に定める収益調整金	636,655,450円
D 信託約款に定める分配準備積立 金	933,238,364円	D 信託約款に定める分配準備積立 金	1,519,914,826円
E 分配対象収益 (A+B+C+D)	8,152,969,403円	E 分配対象収益 (A+B+C+D)	2,156,570,276円
F 分配対象収益(1万口当たり)	1,915円	F 分配対象収益(1万口当たり)	494円
G 分配金額	4,680,868,122円	G 分配金額	871,357,282円
H 分配金額(1万口当たり)	1,100円	H 分配金額(1万口当たり)	200円

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

	第19期 自 2021年 1月13日 至 2022年 1月11日	第20期 自 2022年 1月12日 至 2023年 1月10日
金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品の運用を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが運用する主な有価証券は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券等であり、全て売買目的で保有しております。また、主なデリバティブ取引には、先物取引、オプション取引、スワップ取引等があり、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するために行うことができます。当該有価証券及びデリバティブ取引には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
金融商品に係るリスク管理体制	運用部門、営業部門と独立した組織であるリスク管理部門を設置し、全社的なリスク管理活動のモニタリング、指導の一元化を図っております。	同左

金融商品の時価等に関する事項

	第19期 2022年 1月11日現在	第20期 2023年 1月10日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありませぬ。	同左
時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によつた場合、当該価額が異なることもあります。	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため異なる前提条件等によつた場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)

第19期（2022年 1月11日現在）

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	5,067,113,855
合計	5,067,113,855

第20期（2023年 1月10日現在）

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
親投資信託受益証券	457,341,081
合計	457,341,081

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

第19期 2022年 1月11日現在		第20期 2023年 1月10日現在	
1口当たり純資産額	1.0816円	1口当たり純資産額	1.0295円
(1万口当たり純資産額)	(10,816円)	(1万口当たり純資産額)	(10,295円)

（4）【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

（単位：円）

種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
親投資信託受益証券	日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド	3,534,094,726	11,021,427,812	
	日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド	477,007,994	3,653,642,730	
	日本債券グローバル・ラップマザーファンド	5,689,481,720	7,656,335,550	
	北米株式グローバル・ラップマザーファンド	1,732,345,918	8,875,327,841	
	欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	1,222,656,285	6,342,040,415	
	アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	193,435,278	1,990,739,163	
	海外債券グローバル・ラップマザーファンド	1,590,764,433	4,442,050,602	
合計		14,439,786,354	43,981,564,113	

(注)券面総額欄の数値は、口数を表示しております。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

当ファンドは、「日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド」「日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド」「日本債券グローバル・ラップマザーファンド」「北米株式グローバル・ラップマザーファンド」「欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド」「アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド」「海外債券グローバル・ラップマザーファンド」を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は同親投資信託です。なお、同親投資信託の状況は次の通りです。ただし、当該情報は監査の対象外であります。

(参考)

日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

	2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	345,217,987	625,856,330
株式	25,880,115,250	24,030,333,300
未収入金	1,868,222,040	124,633,845

	2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
未収配当金	45,027,000	45,242,050
流動資産合計	28,138,582,277	24,826,065,525
資産合計	28,138,582,277	24,826,065,525
負債の部		
流動負債		
未払金	-	117,938,123
未払解約金	1,860,652,049	356,372,470
未払利息	40	337
流動負債合計	1,860,652,089	474,310,930
負債合計	1,860,652,089	474,310,930
純資産の部		
元本等		
元本	8,275,361,501	7,808,444,481
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	18,002,568,687	16,543,310,114
元本等合計	26,277,930,188	24,351,754,595
純資産合計	26,277,930,188	24,351,754,595
負債純資産合計	28,138,582,277	24,826,065,525

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式は移動平均法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
-----------------	---

(貸借対照表に関する注記)

		2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
1.	期首	2021年 1月13日	2022年 1月12日
	期首元本額	9,894,868,592円	8,275,361,501円
	期首からの追加設定元本額	101,559,254円	1,611,949,150円
	期首からの一部解約元本額	1,721,066,345円	2,078,866,170円
	元本の内訳		
	GW7つの卵	3,456,925,632円	3,534,094,726円
	グローバル・ラップ・バランス 安定成長型	117,644,912円	107,406,403円

グローバル・ラップ・バランス	成長型	173,229,031円	151,029,784円
グローバル・ラップ・バランス	積極成長型	1,703,006,518円	1,467,269,402円
グローバル・ラップ・バランス	積極型	738,454,675円	616,317,753円
グローバル・ラップ・バランス	超積極型	840,334,560円	691,487,680円
年金積立	グローバル・ラップ・バランス（安定型）	62,522,883円	57,040,130円
年金積立	グローバル・ラップ・バランス（安定成長型）	148,002,665円	140,409,453円
年金積立	グローバル・ラップ・バランス（成長型）	203,294,235円	199,722,516円
年金積立	グローバル・ラップ・バランス（積極成長型）	412,329,576円	411,350,887円
年金積立	グローバル・ラップ・バランス（積極型）	419,616,814円	432,315,747円
	計	8,275,361,501円	7,808,444,481円
2.	受益権の総数	8,275,361,501口	7,808,444,481口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

	自 2021年 1月13日 至 2022年 1月11日	自 2022年 1月12日 至 2023年 1月10日
金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品の運用を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが運用する主な有価証券は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券等であり、全て売買目的で保有しております。また、主なデリバティブ取引には、先物取引、オプション取引、スワップ取引等があり、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するために行うことができます。当該有価証券及びデリバティブ取引には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
金融商品に係るリスク管理体制	運用部門、営業部門と独立した組織であるリスク管理部門を設置し、全社的なリスク管理活動のモニタリング、指導の一元化を図っております。	同左

金融商品の時価等に関する事項

	2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1)有価証券	(1)有価証券

	<p>売買目的有価証券</p> <p>重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。</p> <p>(2)デリバティブ取引 該当事項はありません。</p> <p>(3)上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。</p>	<p>同左</p> <p>(2)デリバティブ取引 同左</p> <p>(3)上記以外の金融商品 同左</p>
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>	<p>金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p>

（有価証券に関する注記）

（2022年 1月11日現在）

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	956,089,494
合計	956,089,494

（2023年 1月10日現在）

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	966,381,148
合計	966,381,148

(注)当計算期間の損益に含まれた評価差額は、親投資信託の期首日から本書における開示対象ファンドの計算期間末日までに対応する金額であります。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

2022年 1月11日現在		2023年 1月10日現在	
1口当たり純資産額	3,1754円	1口当たり純資産額	3,1186円
(1万口当たり純資産額)	(31,754円)	(1万口当たり純資産額)	(31,186円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

（単位：円）

銘柄	株式数	評価額		備考
		単価	金額	
大和ハウス工業	138,600	3,008.00	416,908,800	
日揮ホールディングス	164,700	1,634.00	269,119,800	
アサヒグループホールディングス	94,900	4,057.00	385,009,300	
味の素	62,100	3,866.00	240,078,600	
ニチレイ	108,000	2,700.00	291,600,000	
旭化成	313,100	926.80	290,181,080	
信越化学工業	46,700	16,660.00	778,022,000	
タカラバイオ	89,400	1,667.00	149,029,800	
協和キリン	68,500	2,875.00	196,937,500	
第一三共	170,200	4,030.00	685,906,000	
ブリヂストン	95,700	4,704.00	450,172,800	
A G C	49,000	4,550.00	222,950,000	
住友金属鉱山	76,800	4,865.00	373,632,000	
住友電気工業	222,000	1,481.50	328,893,000	
ナブテスコ	34,500	3,360.00	115,920,000	
ダイキン工業	11,600	21,330.00	247,428,000	
セガサミーホールディングス	157,600	1,928.00	303,852,800	
マキタ	56,500	3,090.00	174,585,000	
日立製作所	106,200	6,517.00	692,105,400	
富士電機	105,900	5,180.00	548,562,000	
ソニーグループ	132,100	10,725.00	1,416,772,500	
キーエンス	9,300	52,240.00	485,832,000	
カシオ計算機	192,700	1,309.00	252,244,300	
ローム	26,400	9,720.00	256,608,000	
村田製作所	60,700	6,962.00	422,593,400	
東京エレクトロン	9,100	42,440.00	386,204,000	

豊田自動織機	36,100	7,340.00	264,974,000	
デンソー	75,500	6,545.00	494,147,500	
トヨタ自動車	120,200	1,827.00	219,605,400	
本田技研工業	191,800	3,157.00	605,512,600	
スズキ	92,300	4,275.00	394,582,500	
テルモ	147,500	3,569.00	526,427,500	
島津製作所	48,800	3,650.00	178,120,000	
HOYA	26,900	12,655.00	340,419,500	
任天堂	32,500	5,470.00	177,775,000	
東京瓦斯	78,300	2,460.00	192,618,000	
東海旅客鉄道	46,200	15,755.00	727,881,000	
ヤマトホールディングス	158,900	2,026.00	321,931,400	
日本航空	56,900	2,643.00	150,386,700	
大塚商会	98,700	4,190.00	413,553,000	
日本電信電話	305,200	3,696.00	1,128,019,200	
光通信	10,800	17,810.00	192,348,000	
コナミグループ	37,900	5,890.00	223,231,000	
ソフトバンクグループ	28,600	5,953.00	170,255,800	
伊藤忠商事	193,400	4,019.00	777,274,600	
三菱商事	91,900	4,226.00	388,369,400	
セブン&アイ・ホールディングス	66,000	5,630.00	371,580,000	
良品計画	138,700	1,409.00	195,428,300	
イズミ	33,700	2,853.00	96,146,100	
ニトリホールディングス	25,400	16,535.00	419,989,000	
サンドラッグ	42,100	3,850.00	162,085,000	
三菱UFJフィナンシャル・グループ	229,400	893.30	204,923,020	
三井住友フィナンシャルグループ	250,300	5,285.00	1,322,835,500	
東京海上ホールディングス	182,400	2,738.50	499,502,400	
T&Dホールディングス	277,000	1,880.00	520,760,000	
クレディセゾン	124,300	1,664.00	206,835,200	
オリックス	306,200	2,097.00	642,101,400	
三井不動産	174,200	2,354.00	410,066,800	
電通グループ	112,700	4,100.00	462,070,000	
リクルートホールディングス	58,800	4,208.00	247,430,400	
合 計	6,501,900		24,030,333,300	

(2) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

	2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	644,893,822	195,462,704
株式	7,536,002,900	7,862,716,900
未収入金	72,068,921	84,045,292
未収配当金	13,555,300	22,564,300
流動資産合計	8,266,520,943	8,164,789,196
資産合計	8,266,520,943	8,164,789,196
負債の部		
流動負債		
未払金	17,838,519	17,076,735
未払解約金	375,626,810	159,550,668
未払利息	75	105
流動負債合計	393,465,404	176,627,508
負債合計	393,465,404	176,627,508
純資産の部		
元本等		
元本	1,026,347,301	1,042,908,204
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	6,846,708,238	6,945,253,484
元本等合計	7,873,055,539	7,988,161,688
純資産合計	7,873,055,539	7,988,161,688
負債純資産合計	8,266,520,943	8,164,789,196

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式は移動平均法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券</p>
-----------------	--

	適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。
--	--

（貸借対照表に関する注記）

		2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
1.	期首	2021年 1月13日	2022年 1月12日
	期首元本額	1,133,405,068円	1,026,347,301円
	期首からの追加設定元本額	22,693,572円	227,472,057円
	期首からの一部解約元本額	129,751,339円	210,911,154円
	元本の内訳		
	GW7つの卵	449,936,953円	477,007,994円
	グローバル・ラップ・バランス 安定成長型	19,046,719円	18,796,205円
	グローバル・ラップ・バランス 成長型	27,293,381円	25,321,561円
	グローバル・ラップ・バランス 積極成長型	211,761,135円	201,234,018円
	グローバル・ラップ・バランス 積極型	83,011,550円	75,713,467円
	グローバル・ラップ・バランス 超積極型	68,860,769円	64,245,163円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定型）	13,926,998円	13,652,238円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定成長型）	23,804,069円	24,279,639円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（成長型）	30,463,475円	33,343,410円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極成長型）	50,852,049円	55,862,790円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極型）	47,390,203円	53,451,719円
	計	1,026,347,301円	1,042,908,204円
2.	受益権の総数	1,026,347,301口	1,042,908,204口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

	自 2021年 1月13日 至 2022年 1月11日	自 2022年 1月12日 至 2023年 1月10日
金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品の運用を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左

金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが運用する主な有価証券は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券等であり、全て売買目的で保有しております。また、主なデリバティブ取引には、先物取引、オプション取引、スワップ取引等があり、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するために行うことができます。当該有価証券及びデリバティブ取引には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
金融商品に係るリスク管理体制	運用部門、営業部門と独立した組織であるリスク管理部門を設置し、全社的なリスク管理活動のモニタリング、指導の一元化を図っております。	同左

金融商品の時価等に関する事項

	2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)

(2022年 1月11日現在)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	438,442,077
合計	438,442,077

（2023年 1月10日現在）

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	16,017,820
合計	16,017,820

(注)当計算期間の損益に含まれた評価差額は、親投資信託の期首日から本書における開示対象ファンドの計算期間末日までに対応する金額であります。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

2022年 1月11日現在		2023年 1月10日現在	
1口当たり純資産額	7.6709円	1口当たり純資産額	7.6595円
(1万口当たり純資産額)	(76,709円)	(1万口当たり純資産額)	(76,595円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1)株式

（単位：円）

銘柄	株式数	評価額		備考
		単価	金額	
五洋建設	221,700	610.00	135,237,000	
高砂熱学工業	57,700	1,713.00	98,840,100	
ヨシムラ・フード・ホールディングス	100,400	641.00	64,356,400	
マツオカコーポレーション	48,600	1,044.00	50,738,400	
ヤマトインターナショナル	83,300	239.00	19,908,700	
レンゴー	108,500	888.00	96,348,000	
東京応化工業	18,200	6,180.00	112,476,000	

アジアパイルホールディングス	284,100	560.00	159,096,000
ニチハ	41,600	2,605.00	108,368,000
共英製鋼	101,800	1,282.00	130,507,600
トーカロ	68,200	1,155.00	78,771,000
川田テクノロジーズ	22,700	3,255.00	73,888,500
東プレ	74,500	1,152.00	85,824,000
N I T T O K U	52,700	2,429.00	128,008,300
日精エー・エス・ビー機械	35,800	4,285.00	153,403,000
サトーホールディングス	61,200	1,891.00	115,729,200
オカダアイヨン	66,700	1,524.00	101,650,800
月島機械	93,200	951.00	88,633,200
椿本チエイン	45,100	2,967.00	133,811,700
タダノ	134,500	900.00	121,050,000
マックス	13,900	1,876.00	26,076,400
グローリー	37,800	2,146.00	81,118,800
ユーシン精機	133,000	664.00	88,312,000
ダイヘン	21,900	3,920.00	85,848,000
ミマキエンジニアリング	134,900	596.00	80,400,400
日本信号	127,300	990.00	126,027,000
マクセル	99,600	1,354.00	134,858,400
日本光電工業	52,000	3,150.00	163,800,000
山一電機	67,800	1,739.00	117,904,200
日本ケミコン	51,000	1,581.00	80,631,000
三菱ロジスネクスト	130,800	652.00	85,281,600
武蔵精密工業	102,300	1,563.00	159,894,900
前田工織	15,800	3,110.00	49,138,000
萩原工業	24,200	1,158.00	28,023,600
オカムラ	106,500	1,383.00	147,289,500
エフオン	106,500	488.00	51,972,000
S B S ホールディングス	48,000	2,732.00	131,136,000
京阪ホールディングス	17,500	3,465.00	60,637,500
三菱総合研究所	22,200	4,685.00	104,007,000
マクロミル	91,900	1,089.00	100,079,100
マネーフォワード	10,100	4,260.00	43,026,000
くふうカンパニー	190,500	530.00	100,965,000
ウイングアーク1st	25,200	2,003.00	50,475,600
アイティフォー	188,700	819.00	154,545,300
デジタルガレージ	8,500	4,155.00	35,317,500
I M A G I C A G R O U P	135,200	638.00	86,257,600
マクニカホールディングス	37,600	3,185.00	119,756,000
シップヘルスケアホールディングス	60,900	2,566.00	156,269,400
シークス	122,100	1,288.00	157,264,800

阪和興業	23,800	3,670.00	87,346,000	
岩谷産業	26,600	5,360.00	142,576,000	
西本Wismettacホールディングス	40,800	3,505.00	143,004,000	
J.フロント リテイリング	111,300	1,169.00	130,109,700	
メディカルシステムネットワーク	122,000	409.00	49,898,000	
ノジマ	105,800	1,361.00	143,993,800	
サイゼリヤ	47,000	2,933.00	137,851,000	
スギホールディングス	20,100	5,680.00	114,168,000	
サックスパー ホールディングス	129,400	739.00	95,626,600	
武蔵野銀行	77,800	2,060.00	160,268,000	
ライフネット生命保険	132,000	1,160.00	153,120,000	
イオンフィナンシャルサービス	87,200	1,407.00	122,690,400	
スター・マイカ・ホールディングス	176,800	710.00	125,528,000	
トーセイ	105,000	1,350.00	141,750,000	
日本工営	48,200	3,290.00	158,578,000	
ベネフィット・ワン	62,000	1,927.00	119,474,000	
タカミヤ	270,100	357.00	96,425,700	
ライク	53,900	1,985.00	106,991,500	
バリューコマース	66,300	1,827.00	121,130,100	
イオンファンタジー	46,200	2,817.00	130,145,400	
クリーク・アンド・リバー社	71,900	1,919.00	137,976,100	
TREホールディングス	102,900	1,407.00	144,780,300	
丹青社	171,000	705.00	120,555,000	
ベネッセホールディングス	59,800	1,936.00	115,772,800	
合 計	6,062,100		7,862,716,900	

(2) 株式以外の有価証券

該当事項はありません。

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

日本債券グローバル・ラップマザーファンド

貸借対照表

	2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	1,681,817,652	1,490,925,406
国債証券	88,543,083,924	100,423,546,180
社債券	70,056,316,807	54,733,939,069
未収入金	6,901,256,000	5,301,166,900
未収利息	216,576,169	200,235,898
前払費用	26,963,536	13,274,780
流動資産合計	167,426,014,088	162,163,088,233
資産合計	167,426,014,088	162,163,088,233
負債の部		
流動負債		
未払金	6,901,718,100	5,313,251,000
未払解約金	688,239,380	405,096,562
未払利息	196	804
流動負債合計	7,589,957,676	5,718,348,366
負債合計	7,589,957,676	5,718,348,366
純資産の部		
元本等		
元本	112,344,711,132	116,251,484,572
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	47,491,345,280	40,193,255,295
元本等合計	159,836,056,412	156,444,739,867
純資産合計	159,836,056,412	156,444,739,867
負債純資産合計	167,426,014,088	162,163,088,233

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券及び社債券は個別法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
-----------------	--

(貸借対照表に関する注記)

	2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
1. 期首	2021年 1月13日	2022年 1月12日

期首元本額	80,846,081,265円	112,344,711,132円
期首からの追加設定元本額	32,859,389,098円	12,252,467,809円
期首からの一部解約元本額	1,360,759,231円	8,345,694,369円
元本の内訳		
GW7つの卵	4,977,791,403円	5,689,481,720円
日興アセット/日本債券ファンド（適格機関投資家向け）	100,378,097,192円	102,990,803,272円
グローバル・ラップ・バランス 安定成長型	875,382,972円	866,972,137円
グローバル・ラップ・バランス 成長型	777,441,506円	748,229,003円
グローバル・ラップ・バランス 積極成長型	2,215,274,253円	2,393,446,307円
グローバル・ラップ・バランス 積極型	- 円	32,011,942円
年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定型）	772,607,491円	762,505,837円
年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定成長型）	989,304,777円	1,095,955,220円
年金積立 グローバル・ラップ・バランス（成長型）	833,999,687円	980,428,563円
年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極成長型）	524,811,851円	668,967,317円
年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極型）	- 円	22,683,254円
計	112,344,711,132円	116,251,484,572円
2. 受益権の総数	112,344,711,132口	116,251,484,572口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

	自 2021年 1月13日 至 2022年 1月11日	自 2022年 1月12日 至 2023年 1月10日
金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品の運用を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが運用する主な有価証券は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券等であり、全て売買目的で保有しております。また、主なデリバティブ取引には、先物取引、オプション取引、スワップ取引等があり、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するために行うことができます。当該有価証券及びデリバティブ取引には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
金融商品に係るリスク管理体制	運用部門、営業部門と独立した組織であるリスク管理部門を設置し、全社的なリスク管理活動のモニタリング、指導の一元化を図っております。	同左

金融商品の時価等に関する事項

	2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありませぬ。	同左
時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によつた場合、当該価額が異なることもあります。	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため異なる前提条件等によつた場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)

(2022年 1月11日現在)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
国債証券	829,943,436
社債券	208,987,087
合計	620,956,349

(2023年 1月10日現在)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
国債証券	4,392,692,366
社債券	1,871,498,798
合計	6,264,191,164

(注)当計算期間の損益に含まれた評価差額は、親投資信託の期首日から本書における開示対象ファンドの計算期間末日までに対応する金額であります。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

2022年 1月11日現在		2023年 1月10日現在	
1口当たり純資産額	1.4227円	1口当たり純資産額	1.3457円
(1万口当たり純資産額)	(14,227円)	(1万口当たり純資産額)	(13,457円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

(単位：円)

種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
国債証券	第443回利付国債(2年)	5,900,000,000	5,898,879,000	
	第444回利付国債(2年)	2,700,000,000	2,698,920,000	
	第152回利付国債(5年)	600,000,000	598,254,000	
	第153回利付国債(5年)	7,100,000,000	7,039,082,000	
	第154回利付国債(5年)	19,500,000,000	19,386,705,000	
	第11回利付国債(40年)	1,500,000,000	1,159,380,000	
	第12回利付国債(40年)	800,000,000	549,232,000	
	第13回利付国債(40年)	300,000,000	204,468,000	
	第14回利付国債(40年)	1,500,000,000	1,093,185,000	
	第15回利付国債(40年)	700,000,000	555,989,000	
	第357回利付国債(10年)	4,300,000,000	4,201,530,000	
	第358回利付国債(10年)	9,200,000,000	8,963,284,000	
	第359回利付国債(10年)	600,000,000	582,996,000	
	第364回利付国債(10年)	1,600,000,000	1,538,992,000	
	第367回利付国債(10年)	1,700,000,000	1,663,773,000	
	第368回利付国債(10年)	1,800,000,000	1,763,946,000	
	第369回利付国債(10年)	800,000,000	800,000,000	
	第39回利付国債(30年)	300,000,000	329,865,000	

第40回利付国債(30年)	400,000,000	432,256,000	
第42回利付国債(30年)	300,000,000	318,084,000	
第45回利付国債(30年)	1,500,000,000	1,529,025,000	
第48回利付国債(30年)	1,500,000,000	1,492,290,000	
第50回利付国債(30年)	200,000,000	174,712,000	
第53回利付国債(30年)	800,000,000	659,808,000	
第57回利付国債(30年)	700,000,000	598,038,000	
第58回利付国債(30年)	400,000,000	340,412,000	
第61回利付国債(30年)	700,000,000	574,504,000	
第62回利付国債(30年)	200,000,000	155,106,000	
第63回利付国債(30年)	800,000,000	600,976,000	
第64回利付国債(30年)	700,000,000	523,789,000	
第65回利付国債(30年)	300,000,000	225,849,000	
第67回利付国債(30年)	300,000,000	234,738,000	
第68回利付国債(30年)	100,000,000	77,968,000	
第72回利付国債(30年)	100,000,000	79,413,000	
第74回利付国債(30年)	400,000,000	344,036,000	
第75回利付国債(30年)	2,000,000,000	1,861,300,000	
第76回利付国債(30年)	1,700,000,000	1,615,306,000	
第143回利付国債(20年)	100,000,000	109,704,000	
第144回利付国債(20年)	400,000,000	434,976,000	
第145回利付国債(20年)	1,100,000,000	1,217,062,000	
第148回利付国債(20年)	1,900,000,000	2,056,617,000	
第150回利付国債(20年)	1,200,000,000	1,282,452,000	
第152回利付国債(20年)	2,300,000,000	2,396,830,000	
第153回利付国債(20年)	900,000,000	947,151,000	
第154回利付国債(20年)	600,000,000	623,340,000	
第155回利付国債(20年)	1,100,000,000	1,114,036,000	
第156回利付国債(20年)	1,500,000,000	1,404,135,000	
第157回利付国債(20年)	200,000,000	181,368,000	
第158回利付国債(20年)	500,000,000	470,745,000	
第159回利付国債(20年)	2,000,000,000	1,902,120,000	
第162回利付国債(20年)	700,000,000	658,231,000	
第163回利付国債(20年)	900,000,000	842,796,000	
第165回利付国債(20年)	500,000,000	457,690,000	
第166回利付国債(20年)	800,000,000	751,648,000	
第167回利付国債(20年)	500,000,000	453,470,000	
第168回利付国債(20年)	700,000,000	621,985,000	
第169回利付国債(20年)	800,000,000	695,408,000	
第170回利付国債(20年)	1,000,000,000	865,220,000	
第173回利付国債(20年)	500,000,000	434,485,000	
第174回利付国債(20年)	900,000,000	778,455,000	

	第175回利付国債(20年)	300,000,000	263,172,000	
	第180回利付国債(20年)	1,800,000,000	1,646,622,000	
	第181回利付国債(20年)	3,900,000,000	3,629,769,000	
	第182回利付国債(20年)	2,200,000,000	2,117,720,000	
	第1127回国庫短期証券	1,200,000,000	1,200,249,180	
国債証券 合計		104,500,000,000	100,423,546,180	
社債券	KKR GROUP FINANCE CO. I V LLC	100,000,000	99,954,916	
	CORNING INC	100,000,000	98,432,200	
	CORNING INC	100,000,000	94,878,400	
	第3回ピー・ピー・シー・イー・エス・エー非上位 円貨社債(2018)	200,000,000	200,021,950	
	第7回クレディ・アグリコル・エス・エー期限前償 還条項付非上位円貨社債(2020)	200,000,000	199,820,400	
	第1回パークレイズ・ピーエルシー期限前償還条項 付円貨社債(2018)	300,000,000	300,526,800	
	第4回エイチエスピーシーホールディングス期限前 償還条項付円貨社債(2018)	500,000,000	498,666,000	
	第5回エイチエスピーシーホールディングス期限前 償還条項付円貨社債(2018)	200,000,000	196,498,400	
	第7回エイチエスピーシー・ホールディングス・ ピーエルシー期限前償還条項付円貨社債(202 2)	300,000,000	298,482,000	
	第6回ロイズ・バンキング・グループ・ピーエル シー円貨社債(2018)	500,000,000	500,211,150	
	第1回バンコ・サンタンデル・エセ・アー非上位 円貨社債(2017)	400,000,000	400,026,152	
	第1回バンコ・サンタンデル・エセ・アー円貨社 債(2019)	200,000,000	197,484,000	
	第23回ルノー円貨社債(2021)	600,000,000	596,829,228	
	第24回ルノー円貨社債(2021)	300,000,000	297,516,000	
	第3回ピー・エヌ・ピー・パリバ非上位円貨社債 (2018)	800,000,000	799,935,224	
	SOCIETE GENERALE	200,000,000	193,252,600	
	第14回株式会社長谷工コーポレーション無担保社 債(社債間限定同順位特約付)	300,000,000	290,157,000	
	第16回株式会社長谷工コーポレーション無担保社 債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	98,526,000	
	第1回大和ハウス工業株式会社利払繰延条項・期限 前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	200,000,000	198,727,600	
	第1回株式会社タケエイ無担保社債(社債間限定同 順位特約付)	200,000,000	198,428,000	
	第2回パーソルホールディングス株式会社無担保社 債(社債間限定同順位特約付)	300,000,000	299,893,410	
	第1回アサヒグループホールディングス株式会社利 払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特 約付)	1,400,000,000	1,396,193,400	
第1回サントリーHD株式会社利払繰延条項・期限 前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	200,000,000	200,036,200		
第2回サントリーHD株式会社利払繰延条項・期限 前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	200,000,000	198,764,600		

第1回不二製油グループ本社株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	100,000,000	99,842,900	
第1回横浜冷凍株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)(サステナビリティボンド)	100,000,000	96,560,800	
第1回中央日本土地建物グループ株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	200,000,000	198,596,000	
第1回ヒューリック株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	200,000,000	200,034,434	
第2回ヒューリック株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	400,000,000	399,969,200	
第3回ヒューリック株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	300,000,000	295,165,200	
第1回東急不動産HD株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	200,000,000	199,106,800	
第3回日本土地建物株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	300,000,000	299,405,472	
第5回日本土地建物株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	200,000,000	198,146,000	
第2回株式会社マクロミル無担保社債(社債間限定同順位特約付)	400,000,000	400,075,594	
第4回株式会社マクロミル無担保社債(社債間限定同順位特約付)	200,000,000	198,834,000	
第1回住友化学株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	300,000,000	278,994,600	
第2回住友化学株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	600,000,000	596,199,600	
第1回大陽日酸株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無(劣後特約付)	500,000,000	501,953,000	
第16回株式会社ダイセル無担保社債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	98,683,000	
第1回武田薬品工業株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	2,600,000,000	2,634,047,000	
第16回武田薬品工業株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	500,000,000	468,730,000	
第1回大日本住友製薬株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	400,000,000	384,321,200	
第12回ヤフー株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	400,000,000	394,976,000	
第17回Zホールディングス株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	200,000,000	199,208,000	
第21回Zホールディングス株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	200,000,000	187,910,000	
第1回楽天株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	300,000,000	296,571,600	
第2回楽天株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	600,000,000	577,506,600	
第4回楽天株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	400,000,000	376,366,400	
第6回楽天株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	100,000,000	84,914,700	
第15回楽天グループ株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	300,000,000	291,723,000	

第16回楽天グループ株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	500,000,000	464,450,000	
第17回楽天グループ株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	1,000,000,000	882,910,000	
第18回楽天グループ株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	82,261,000	
第19回楽天グループ株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	600,000,000	472,440,000	
第20回楽天グループ株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	300,000,000	220,227,000	
第1回E N E O Sホールディングス株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	300,000,000	293,349,600	
第2回E N E O Sホールディングス株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	600,000,000	537,773,400	
第3回E N E O Sホールディングス株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	400,000,000	330,758,800	
第1回日本製鉄株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	300,000,000	299,616,000	
第2回DMG森精機株式会社利払繰延条項・任意償還条項付無担保永久社債(清算型倒産手続時劣後特約付)	100,000,000	99,798,300	
第3回DMG森精機株式会社利払繰延条項・任意償還条項付無担保永久社債(清算型倒産手続時劣後特約付)	100,000,000	99,708,000	
第4回DMG森精機株式会社利払繰延条項・任意償還条項付無担保永久社債(清算型倒産手続時劣後特約付)	100,000,000	95,902,300	
第2回株式会社小森コーポレーション無担保社債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	99,589,000	
第1回株式会社ツバキ・ナカシマ利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	200,000,000	187,116,000	
第10回日本トムソン株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	99,456,000	
第22回セイコーエプソン株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	200,000,000	192,742,000	
第1回パナソニック株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	1,100,000,000	1,033,755,800	
第2回パナソニック株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	600,000,000	555,244,200	
第3回パナソニック株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	500,000,000	426,100,500	
第2回株式会社かんぼ生命保険利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	200,000,000	189,100,400	
第2回日本住宅ローン株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	99,844,000	
第1回KYB株式会社無担保社債(社債間限定同等特約付)	200,000,000	198,474,000	
第1回アイシン精機株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	500,000,000	494,782,500	
日本生命第1回劣後ローン流動化株式会社第1回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付及び責任財産限定特約付)	100,000,000	96,914,600	

第1回日本生命第2回劣後ローン流動化株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約及び責任財産限定特約付)	200,000,000	192,711,000	
第1回明治安田生命2018基金特定目的会社特定社債(一般担保付)	600,000,000	599,732,218	
第6回楽天カード株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	500,000,000	485,440,000	
第7回楽天カード株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	200,000,000	190,820,000	
第8回楽天カード株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	200,000,000	185,352,000	
第1回日本生命第5回劣後ローン流動化株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約及び責任財産限定特約付)	100,000,000	92,983,000	
第1回明治安田生命第1回劣後ローン流動化株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約及び責任財産限定特約付)	600,000,000	546,099,000	
日本生命2021基金流動化株式会社第1回無担保社債	200,000,000	198,166,000	
第1回全共連劣後ローン流動化株式会社第1回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約及び責任財産限定特約付)	400,000,000	372,662,800	
第1回株式会社ドンキホーテHD利払繰延条項・期限前償還(劣後特約付)	3,000,000,000	3,017,259,000	
第2回大建工業株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	99,558,000	
第1回丸紅株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	200,000,000	196,780,000	
第7回三菱商事株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	400,000,000	391,754,800	
第1回ニプロ株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)(ソーシャルボンド)	300,000,000	297,649,200	
第7回イオン株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	400,000,000	359,954,800	
第8回イオン株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	200,000,000	166,109,200	
第9回イオン株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	100,000,000	76,651,100	
第10回株式会社新生銀行無担保社債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	99,514,000	
第12回株式会社新生銀行無担保社債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	99,402,000	
第17回株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	300,000,000	293,685,000	
第18回株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ期限前償還条項付無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	700,000,000	699,710,900	
第1回株式会社三井住友フィナンシャルグループ無担保社債(実質破綻時免除特約及び劣後特約付)	100,000,000	100,398,000	
第3回株式会社三井住友フィナンシャルグループ無担保社債(実質破綻時免除特約及び劣後特約付)	300,000,000	301,722,000	
第7回株式会社三井住友フィナンシャルグループ無担保社債(実質破綻時免除特約及び劣後特約付)	200,000,000	201,346,000	

第1回株式会社みずほフィナンシャルグループ無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	100,000,000	100,443,000	
第9回株式会社みずほフィナンシャルグループ無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	200,000,000	198,174,000	
第10回株式会社みずほフィナンシャルグループ無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	500,000,000	495,120,000	
第20回株式会社みずほフィナンシャルグループ期限前償還条項付無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	200,000,000	198,708,000	
第28回芙蓉総合リース株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	98,699,000	
第17回NTTファイナンス株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	300,000,000	296,589,000	
第1回東京センチュリー株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	400,000,000	398,520,000	
第2回東京センチュリー株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	700,000,000	699,484,800	
第3回東京センチュリー株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	400,000,000	376,497,600	
第33回東京センチュリー株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	97,529,000	
第21回SBIホールディングス株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	300,000,000	300,250,254	
第23回SBIホールディングス株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	300,000,000	300,000,000	
第24回SBIホールディングス株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	99,353,000	
第25回SBIホールディングス株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	99,470,000	
第26回SBIホールディングス株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	200,000,000	197,334,000	
第27回SBIホールディングス株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	1,000,000,000	995,950,000	
第28回SBIホールディングス株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	400,000,000	395,780,000	
第64回アイフル株式会社無担保社債(特定社債間限定同順位特約付)	100,000,000	99,825,000	
第20回ポケットカード株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	200,000,000	200,002,000	
第7回イオンフィナンシャルサービス株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	99,991,448	
第10回イオンフィナンシャルサービス株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	99,952,836	
第11回イオンフィナンシャルサービス株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	99,439,000	
第78回アコム株式会社無担保社債(特定社債間限定同順位特約付)	200,000,000	198,352,000	
第80回アコム株式会社無担保社債(特定社債間限定同順位特約付)	100,000,000	99,124,000	
第28回株式会社オリエントコーポレーション無担保社債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	96,614,000	
第1回オリックス株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	700,000,000	691,386,500	

第2回オリックス株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	200,000,000	181,762,600	
第28回三井住友ファイナンス&リース株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	99,963,890	
第30回三井住友ファイナンス&リース株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	200,000,000	199,845,351	
第1回三菱HCキャピタル株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	500,000,000	488,428,500	
第1回野村ホールディングス株式会社無担保社債(担保提供制限等財務上特約無)	400,000,000	399,777,476	
第2回野村ホールディングス劣後無担保社債	100,000,000	104,128,000	
第3回野村ホールディングス株式会社任意償還条項付無担保永久社債(債務免除特約および劣後特約付)	100,000,000	99,672,800	
第3回野村ホールディングス株式会社無担保社債(担保提供制限等財務上特約無)	500,000,000	491,005,000	
第3回第一生命ホールディングス株式会社利払繰延条項・任意償還条項付無担保永久社債(劣後特約付)	100,000,000	91,530,500	
第4回第一生命ホールディングス株式会社利払繰延条項・任意償還条項付無担保永久社債(劣後特約付)	200,000,000	177,623,800	
第1回東京海上日動火災保険株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	300,000,000	285,174,900	
第5回三井住友海上火災保険株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	100,000,000	93,729,000	
第1回T&Dホールディングス利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	400,000,000	394,832,800	
第2回T&Dホールディングス利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	100,000,000	99,375,400	
第3回T&Dホールディングス利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	100,000,000	94,796,300	
第5回三菱地所株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	200,000,000	197,574,800	
第32回東京建物株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	300,000,000	288,243,000	
第1回東祥株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	99,599,000	
第7回グローバル・ワン不動産投資法人無担保投資法人債(特定投資法人債間限定同順位特約付)	100,000,000	100,640,000	
第5回日本ロジスティクスファンド投資法人無担保投資法人債(特定投資法人債間限定同順位特約付)	100,000,000	98,784,000	
第11回ジャパンエクセレント投資法人無担保投資法人債(特定投資法人債間限定同順位特約付)	100,000,000	99,404,000	
第2回西日本鉄道株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	100,000,000	95,491,400	
第1回株式会社商船三井利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	200,000,000	200,778,000	
第1回日本航空株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	700,000,000	667,489,200	
第10回日本航空株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	200,000,000	198,186,000	

第3回株式会社ヤマタネ無担保社債(社債間限定同順位特約付)	300,000,000	299,827,100	
第4回株式会社ヤマタネ無担保社債(社債間限定同順位特約付)	300,000,000	297,507,000	
第3回ソフトバンク株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	300,000,000	295,998,000	
第9回ソフトバンク株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	300,000,000	294,075,000	
第12回ソフトバンク株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	200,000,000	194,008,000	
第13回ソフトバンク株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	93,753,000	
第15回ソフトバンク株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	300,000,000	289,410,000	
第23回株式会社光通信無担保社債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	86,227,000	
第28回株式会社光通信無担保社債(社債間限定同順位特約付)	200,000,000	186,470,000	
第30回株式会社光通信無担保社債(社債間限定同順位特約付)	100,000,000	90,265,000	
第31回株式会社光通信無担保社債(社債間限定同順位特約付)	200,000,000	166,744,000	
第34回株式会社光通信無担保社債(社債間限定同順位特約付)	200,000,000	156,080,000	
第36回株式会社光通信無担保社債(社債間限定同順位特約付)	400,000,000	349,112,000	
第37回株式会社光通信無担保社債(社債間限定同順位特約付)	400,000,000	321,968,000	
第1回東北電力株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債(一般担保無・劣後特約付)	200,000,000	196,945,400	
第6回東京電力パワーグリッド株式会社社債(一般担保付)	300,000,000	295,161,000	
第15回東京電力パワーグリッド株式会社社債(一般担保付)	100,000,000	95,492,000	
第25回東京電力パワーグリッド株式会社社債(一般担保付)	100,000,000	97,907,000	
第28回東京電力パワーグリッド株式会社社債(一般担保付)	300,000,000	292,902,000	
第31回東京電力パワーグリッド株式会社社債(一般担保付)	100,000,000	97,242,000	
第33回東京電力パワーグリッド株式会社社債(一般担保付)	100,000,000	98,525,000	
第38回東京電力パワーグリッド株式会社社債(一般担保付)	100,000,000	99,425,000	
第44回東京電力パワーグリッド株式会社社債(一般担保付)	300,000,000	294,993,000	
第3回株式会社イチネンホールディングス無担保社債(特定社債間限定同順位特約付)	500,000,000	500,376,675	
第7回株式会社イチネンホールディングス無担保社債(特定社債間限定同順位特約付)	100,000,000	99,153,000	
第3回東京都競馬株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	200,000,000	199,971,391	

第13回コナミホールディングス株式会社無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300,000,000	296,022,000	
第4回ソフトバンクグループ株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）	300,000,000	290,486,700	
第4回ソフトバンクグループ株式会社無担保社債（劣後特約付）	300,000,000	282,198,000	
第1回A号明治安田生命保険相互会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付・適格機関投資家限定分付分割制限少数人数私募）	100,000,000	98,622,700	
第1回大樹生命保険株式会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付・適格機関投資家限定分付分割制限少数人数私募）	1,200,000,000	1,169,797,200	
第4回A号日本生命保険相互会社利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付・適格機関投資家限定分付分割制限少数人数私募）	100,000,000	97,974,600	
社債券 合計	56,500,000,000	54,733,939,069	
合計	161,000,000,000	155,157,485,249	

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

北米株式グローバル・ラップマザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

	2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
資産の部		
流動資産		
預金	2,153,465,257	126,995,599
コール・ローン	1,490,586	1,483,005
株式	23,516,205,363	18,740,378,672
投資証券	372,236,339	427,937,955
派生商品評価勘定	8,285,573	-
未収入金	-	51,006,994
未収配当金	7,508,984	10,880,400
流動資産合計	26,059,192,102	19,358,682,625
資産合計	26,059,192,102	19,358,682,625
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	518	-
未払金	-	30,767,067
未払解約金	2,089,710,827	-
流動負債合計	2,089,711,345	30,767,067
負債合計	2,089,711,345	30,767,067
純資産の部		
元本等		
元本	4,530,448,029	3,772,516,479

	2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
剰余金		
剰余金又は欠損金()	19,439,032,728	15,555,399,079
元本等合計	23,969,480,757	19,327,915,558
純資産合計	23,969,480,757	19,327,915,558
負債純資産合計	26,059,192,102	19,358,682,625

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式及び投資証券は移動平均法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場(外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場)で評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値(平均値)等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額(ただし、売気配相場は使用しない)又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条及び第61条にしたがって処理しております。</p>

(貸借対照表に関する注記)

	2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
1. 期首	2021年 1月13日	2022年 1月12日
期首元本額	6,154,009,688円	4,530,448,029円
期首からの追加設定元本額	50,833,810円	886,494,328円
期首からの一部解約元本額	1,674,395,469円	1,644,425,878円
元本の内訳		
GW7つの卵	1,849,434,211円	1,732,345,918円
グローバル・ラップ・バランス 安定成長型	69,617,662円	56,654,747円
グローバル・ラップ・バランス 成長型	98,137,966円	78,785,136円
グローバル・ラップ・バランス 積極成長型	956,156,376円	716,573,112円
グローバル・ラップ・バランス 積極型	385,560,319円	292,753,991円
グローバル・ラップ・バランス 超積極型	427,385,791円	292,135,743円

年金積立	グローバル・ラップ・バランス（安定型）	37,875,049円	31,537,394円
年金積立	グローバル・ラップ・バランス（安定成長型）	93,461,663円	71,520,875円
年金積立	グローバル・ラップ・バランス（成長型）	129,191,851円	105,891,663円
年金積立	グローバル・ラップ・バランス（積極成長型）	247,754,248円	193,447,935円
年金積立	グローバル・ラップ・バランス（積極型）	235,872,893円	200,869,965円
	計	4,530,448,029円	3,772,516,479円
2.	受益権の総数	4,530,448,029口	3,772,516,479口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

	自 2021年 1月13日 至 2022年 1月11日	自 2022年 1月12日 至 2023年 1月10日
金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品の運用を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが運用する主な有価証券は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券等であり、全て売買目的で保有しております。また、主なデリバティブ取引には、先物取引、オプション取引、スワップ取引等があり、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するために行うことができます。当該有価証券及びデリバティブ取引には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
金融商品に係るリスク管理体制	運用部門、営業部門と独立した組織であるリスク管理部門を設置し、全社的なリスク管理活動のモニタリング、指導の一元化を図っております。	同左

金融商品の時価等に関する事項

	2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。	(1)有価証券 同左

	(2)デリバティブ取引 「デリバティブ取引等に関する注記」に記載しております。 (3)上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

（2022年 1月11日現在）

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	3,210,467,350
投資証券	40,118,249
合計	3,250,585,599

（2023年 1月10日現在）

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	2,427,769,794
投資証券	39,912,564
合計	2,467,682,358

（注）当計算期間の損益に含まれた評価差額は、親投資信託の期首日から本書における開示対象ファンドの計算期間末日までに対応する金額であります。

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

（通貨関連）

（2022年 1月11日現在）

（単位：円）

区分	種類	契約額等	時価	評価損益	
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建	5,537,116	-	5,536,598	518
	米ドル	5,537,116	-	5,536,598	518
	売建	2,089,710,827	-	2,081,425,254	8,285,573
	米ドル	2,089,710,827	-	2,081,425,254	8,285,573
合計		2,095,247,943	-	2,086,961,852	8,285,055

(注) 1. 時価の算定方法

(1)本書における開示対象ファンドの計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

同計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

同計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・同計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算しております。
- ・同計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2)本書における開示対象ファンドの計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については同計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。

3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(2023年 1月10日現在)

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

2022年 1月11日現在		2023年 1月10日現在	
1口当たり純資産額	5.2908円	1口当たり純資産額	5.1233円
(1万口当たり純資産額)	(52,908円)	(1万口当たり純資産額)	(51,233円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
米ドル	CHENIERE ENERGY INC	2,788	143.49	400,050.12	
	CHEVRON CORP	5,652	175.18	990,117.36	
	CONOCOPHILLIPS	11,570	117.36	1,357,855.20	
	EOG RESOURCES INC	11,163	127.75	1,426,073.25	
	MARATHON PETROLEUM CORP	12,788	115.76	1,480,338.88	
	PIONEER NATURAL RESOURCES CO	4,621	230.16	1,063,569.36	
	BALL CORP	11,926	55.57	662,727.82	
	SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	4,867	236.01	1,148,660.67	
	DEERE & CO	3,987	428.20	1,707,233.40	
	FERGUSON PLC	9,807	139.10	1,364,153.70	
	HONEYWELL INTERNATIONAL INC	6,999	210.67	1,474,479.33	
	HOWMET AEROSPACE INC	41,953	40.08	1,681,476.24	
	INGERSOLL-RAND INC	28,563	55.78	1,593,244.14	
	L3HARRIS TECHNOLOGIES INC	5,903	201.07	1,186,916.21	
	PARKER HANNIFIN CORP	3,714	309.52	1,149,557.28	
	TRANE TECHNOLOGIES PLC	8,953	178.08	1,594,350.24	
	WABTEC CORP	10,711	100.91	1,080,847.01	
	COSTAR GROUP INC	17,424	77.08	1,343,041.92	
	RENTOKIL INITIAL PLC-SP ADR	31,423	30.55	959,972.65	
	HUNT (JB) TRANSPRT SVCS INC	5,505	177.64	977,908.20	
	UBER TECHNOLOGIES INC	35,867	27.40	982,755.80	
	UNITED PARCEL SERVICE-CL B	9,953	181.69	1,808,360.57	
	TESLA INC	2,724	119.77	326,253.48	
	DECKERS OUTDOOR CORP	1,510	405.85	612,833.50	
	NIKE INC -CL B	11,358	124.85	1,418,046.30	
	ARAMARK	29,959	43.69	1,308,908.71	
BOOKING HOLDINGS INC	917	2,208.41	2,025,111.97		
CAESARS ENTERTAINMENT INC	15,403	43.50	670,030.50		
MCDONALD'S CORP	6,633	267.25	1,772,669.25		
ALPHABET INC-CL C	58,993	88.80	5,238,578.40		

LIBERTY MEDIA CORP-LIBERTY-C	33,823	63.77	2,156,892.71
META PLATFORMS INC-CLASS A	6,804	129.47	880,913.88
AMAZON.COM INC	45,148	87.36	3,944,129.28
BURLINGTON STORES INC	5,307	221.31	1,174,492.17
CONSTELLATION BRANDS INC-A	11,511	215.51	2,480,735.61
PROCTER & GAMBLE CO	24,291	152.04	3,693,203.64
ABBOTT LABORATORIES	7,129	112.15	799,517.35
BOSTON SCIENTIFIC CORP	21,709	45.59	989,713.31
CENTENE CORP	13,725	77.59	1,064,922.75
DENTSPLY SIRONA INC	13,754	32.99	453,744.46
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	6,240	76.35	476,424.00
HUMANA INC	1,763	481.71	849,254.73
STRYKER CORP	2,588	261.00	675,468.00
UNITEDHEALTH GROUP INC	3,729	490.06	1,827,433.74
ABBVIE INC	11,534	161.66	1,864,586.44
AMGEN INC	557	270.12	150,456.84
ARGENX SE - ADR	223	372.96	83,170.08
ASTRAZENECA PLC-SPONS ADR	25,567	70.90	1,812,700.30
CATALENT INC	9,575	48.18	461,323.50
DANAHER CORP	4,405	255.05	1,123,495.25
ELI LILLY & CO	4,013	349.83	1,403,867.79
HORIZON THERAPEUTICS PLC	4,244	113.11	480,038.84
IQVIA HOLDINGS INC	3,103	208.49	646,944.47
MERCK & CO. INC.	16,694	110.38	1,842,683.72
ORGANON & CO	12,389	29.58	366,466.62
SAREPTA THERAPEUTICS INC	8,045	117.53	945,528.85
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	2,944	546.09	1,607,688.96
VERTEX PHARMACEUTICALS INC	4,628	283.23	1,310,788.44
BANK OF AMERICA CORP	50,165	33.89	1,700,091.85
JPMORGAN CHASE & CO	27,769	137.37	3,814,627.53
APOLLO GLOBAL MANAGEMENT INC	20,462	65.32	1,336,577.84
BLACKSTONE INC	13,386	80.58	1,078,643.88
CAPITAL ONE FINANCIAL CORP	11,087	97.45	1,080,428.15
LPL FINANCIAL HOLDINGS INC	4,261	222.50	948,072.50
MORGAN STANLEY	17,547	87.64	1,537,819.08

	ONEMAIN HOLDINGS INC	17,942	36.33	651,832.86	
	SCHWAB (CHARLES) CORP	20,173	85.43	1,723,379.39	
	STATE STREET CORP	9,479	80.91	766,945.89	
	AON PLC	2,913	306.33	892,339.29	
	PROGRESSIVE CORP	11,516	132.01	1,520,227.16	
	ADOBE INC	2,263	341.98	773,900.74	
	ATLASSIAN CORP PLC-CLASS A	2,506	127.17	318,688.02	
	FIDELITY NATIONAL INFO SERV	10,987	70.00	769,090.00	
	GLOBAL PAYMENTS INC	7,138	106.46	759,911.48	
	MASTERCARD INC	8,444	370.97	3,132,470.68	
	MICROSOFT CORP	41,333	227.12	9,387,550.96	
	SERVICENOW INC	876	378.56	331,618.56	
	SYNOPSYS INC	2,541	325.95	828,238.95	
	TYLER TECHNOLOGIES INC	2,884	318.99	919,967.16	
	VISA INC-CLASS A SHARES	12,889	218.60	2,817,535.40	
	WORKDAY INC-CLASS A	6,971	162.93	1,135,785.03	
	APPLE INC	66,305	130.15	8,629,595.75	
	TELEDYNE TECHNOLOGIES INC	3,086	408.40	1,260,322.40	
	T-MOBILE US INC	16,999	148.77	2,528,941.23	
	NEXTERA ENERGY INC	8,266	84.07	694,922.62	
	SEMPRA ENERGY	3,435	157.13	539,741.55	
	VISTRA CORP	74,594	22.53	1,680,602.82	
	ADVANCED MICRO DEVICES	15,537	67.24	1,044,707.88	
	LAM RESEARCH CORP	2,573	452.43	1,164,102.39	
	MARVELL TECHNOLOGY INC	21,926	36.92	809,507.92	
	NVIDIA CORP	15,092	156.28	2,358,577.76	
	TEXAS INSTRUMENTS INC	3,751	176.68	662,726.68	
	米ドル小計	1,256,172		135,972,198.59	(17,927,934,384)
加ドル	CANADIAN NATURAL RESOURCES	30,673	73.88	2,266,121.24	
	SUNCOR ENERGY INC	39,465	42.19	1,665,028.35	
	TECK RESOURCES LTD-CLS B	34,538	52.94	1,828,441.72	
	TORONTO-DOMINION BANK	17,027	86.10	1,466,024.70	
	INTACT FINANCIAL CORP	3,047	197.86	602,879.42	
	CONSTELLATION SOFTWARE INC	192	2,220.70	426,374.40	

加ドル小計	124,942		8,254,869.83 (812,444,288)	
合 計	1,381,114		18,740,378,672 (18,740,378,672)	

(注1)通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額(単位:円)であります。

(注2)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

(2)株式以外の有価証券

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
米ドル	投資証券	AMERICAN TOWER CORP	4,972	1,090,359.60	
		EQUINIX INC	1,684	1,147,073.44	
		SBA COMMUNICATIONS CORP	3,460	1,008,209.40	
米ドル小計			10,116	3,245,642.44 (427,937,955)	
		合計		427,937,955 (427,937,955)	

(注1)通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額(単位:円)であります。

(注2)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

(注3)券面総額欄の数値は、口数を表示しております。

外貨建有価証券の内訳

種 類	銘柄数	組入株式 時価比率	組入投資証券 時価比率	合計金額に 対する比率
米ドル	株式 92銘柄	97.7%		93.6%
	投資証券 3銘柄		2.3%	2.2%
加ドル	株式 6銘柄	100.0%		4.2%

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

	2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
資産の部		
流動資産		
預金	1,377,611,981	582,159,421
コール・ローン	19,823,712	19,768,947
株式	14,618,255,869	13,844,700,432
新株予約権証券	3,909,512	4,884,243
投資証券	119,620,129	94,262,525
派生商品評価勘定	2,828,037	-
未収入金	180,752,946	-
未収配当金	26,741,244	15,527,597
流動資産合計	16,349,543,430	14,561,303,165
資産合計	16,349,543,430	14,561,303,165
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	672,634	2,184,199
未払金	104,098,722	3,895,287
未払解約金	1,198,840,977	313,570,705
未払利息	2	10
流動負債合計	1,303,612,335	319,650,201
負債合計	1,303,612,335	319,650,201
純資産の部		
元本等		
元本	3,009,310,637	2,745,602,427
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	12,036,620,458	11,496,050,537
元本等合計	15,045,931,095	14,241,652,964
純資産合計	15,045,931,095	14,241,652,964
負債純資産合計	16,349,543,430	14,561,303,165

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式、新株予約権証券及び投資証券は移動平均法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p>
--------------------	---

	(3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

		2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
1.	期首	2021年 1月13日	2022年 1月12日
	期首元本額	3,648,740,891円	3,009,310,637円
	期首からの追加設定元本額	83,063,720円	953,023,278円
	期首からの一部解約元本額	722,493,974円	1,216,731,488円
	元本の内訳		
	GW7つの卵	1,226,362,599円	1,222,656,285円
	グローバル・ラップ・バランス 安定成長型	40,486,872円	34,981,917円
	グローバル・ラップ・バランス 成長型	60,389,880円	50,715,296円
	グローバル・ラップ・バランス 積極成長型	616,027,285円	512,423,665円
	グローバル・ラップ・バランス 積極型	260,701,101円	210,298,320円
	グローバル・ラップ・バランス 超積極型	362,147,727円	286,879,575円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定型）	20,339,668円	18,089,232円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定成長型）	50,149,885円	46,162,430円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（成長型）	71,630,924円	68,815,932円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極成長型）	148,974,014円	146,034,580円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極型）	152,100,682円	148,545,195円
	計	3,009,310,637円	2,745,602,427円
2.	受益権の総数	3,009,310,637口	2,745,602,427口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

(金融商品に関する注記)

金融商品の状況に関する事項

	自 2021年 1月13日 至 2022年 1月11日	自 2022年 1月12日 至 2023年 1月10日
金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品の運用を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左

金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが運用する主な有価証券は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券等であり、全て売買目的で保有しております。また、主なデリバティブ取引には、先物取引、オプション取引、スワップ取引等があり、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するために行うことができます。当該有価証券及びデリバティブ取引には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
金融商品に係るリスク管理体制	運用部門、営業部門と独立した組織であるリスク管理部門を設置し、全社的なリスク管理活動のモニタリング、指導の一元化を図っております。	同左

金融商品の時価等に関する事項

	2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 「デリバティブ取引等に関する注記」に記載しております。 (3)上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)

(2022年 1月11日現在)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	1,130,780,696
新株予約権証券	2,379,703
投資証券	3,426,620
合計	1,129,733,779

（2023年 1月10日現在）

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	238,802,195
新株予約権証券	1,709,485
投資証券	1,190,718
合計	241,702,398

(注)当計算期間の損益に含まれた評価差額は、親投資信託の期首日から本書における開示対象ファンドの計算期間末日までに対応する金額であります。

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

(通貨関連)

（2022年 1月11日現在）

（単位：円）

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建	105,348,149	-	104,675,515	672,634
	英ポンド	105,348,149	-	104,675,515	672,634
	売建	1,304,189,126	-	1,301,361,089	2,828,037
	米ドル	561,959	-	558,852	3,107
	ユーロ	30,567,322	-	30,513,906	53,416
	英ポンド	1,198,840,977	-	1,196,865,920	1,975,057
	スイスフラン	73,740,904	-	72,944,824	796,080
	スウェーデンクローナ	477,964	-	477,587	377
	合計	1,409,537,275	-	1,406,036,604	2,155,403

(2023年 1月10日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	売建	313,570,705	-	315,754,904	2,184,199
	英ポンド	313,570,705	-	315,754,904	2,184,199
	合計	313,570,705	-	315,754,904	2,184,199

(注) 1. 時価の算定方法

(1) 本書における開示対象ファンドの計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

同計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

同計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 同計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算しております。
- ・ 同計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2) 本書における開示対象ファンドの計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については同計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

(3) 上記の算定方法にて、適正な時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認められた価額で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。

3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

2022年 1月11日現在		2023年 1月10日現在	
1口当たり純資産額	4.9998円	1口当たり純資産額	5.1871円
(1万口当たり純資産額)	(49,998円)	(1万口当たり純資産額)	(51,871円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1) 株式

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
米ドル	RYANAIR HOLDINGS PLC-SP ADR	10,395	88.02	914,967.90	
米ドル小計		10,395		914,967.90 (120,638,517)	
ユーロ	ENI SPA	80,852	13.94	1,127,400.28	
	GALP ENERGIA SGPS SA-B SHRS	117,903	12.58	1,483,219.74	
	TENARIS SA	54,979	15.83	870,592.46	
	TOTALENERGIES SE	39,239	58.32	2,288,418.48	
	AKZO NOBEL	11,603	66.62	772,991.86	
	LINDE PLC	8,871	301.20	2,671,945.20	
	SYMRISE AG	11,817	106.15	1,254,374.55	
	GEA GROUP AG	24,962	40.95	1,022,193.90	
	KNORR-BREMSE AG	7,490	60.82	455,541.80	
	LEGRAND SA	11,321	80.82	914,963.22	
	MTU AERO ENGINES AG	3,651	217.20	792,997.20	
	SCHNEIDER ELECTRIC SE	19,770	144.82	2,863,091.40	
	THALES SA	4,447	114.60	509,626.20	
	WOLTERS KLUWER	18,514	97.70	1,808,817.80	
	MICHELIN (CGDE)	35,976	29.23	1,051,758.36	
	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	5,524	759.60	4,196,030.40	
	SODEXO	8,669	88.34	765,819.46	
	SCOUT24 SE	12,201	49.49	603,827.49	
	JUST EAT TAKEAWAY	14,565	22.71	330,771.15	
	ZALANDO SE	11,481	40.20	461,536.20	
	DANONE	15,962	49.13	784,292.87	
	BAYER AG-REG	20,053	51.86	1,039,948.58	
	EUROFINS SCIENTIFIC	13,748	69.14	950,536.72	
	QIAGEN N.V.	25,606	46.61	1,193,495.66	
	SANOFI	21,539	90.44	1,947,987.16	
	ABN AMRO BANK NV-CVA	78,345	14.65	1,147,754.25	
	BANK OF IRELAND GROUP PLC	123,429	9.39	1,159,738.88	
	BNP PARIBAS	35,958	59.02	2,122,241.16	
	ALLFUNDS GROUP PLC	168,134	7.46	1,255,120.31	
	DEUTSCHE BOERSE AG	8,909	159.95	1,424,994.55	
EURONEXT NV	23,537	72.10	1,697,017.70		
SAMPO OYJ-A SHS	24,529	49.08	1,203,883.32		
AMADEUS IT GROUP SA	17,140	54.14	927,959.60		
CANCOM SE	9,318	31.10	289,789.80		
DASSAULT SYSTEMES SE	16,874	34.98	590,336.89		
CELLNEX TELECOM SA	49,702	32.85	1,632,710.70		
INFRASTRUTTURE WIRELESS ITAL	145,603	9.78	1,424,579.75		

	E.ON SE	120,048	9.79	1,175,269.92	
	IBERDROLA SA	186,529	10.84	2,021,974.36	
	IBERDROLA SA-RTS(N)	186,529	0.18	33,631.17	
	ASML HOLDING NV	5,002	586.60	2,934,173.20	
ユーロ小計		1,800,329		53,203,353.70	(7,521,890,146)
英ポンド	CRODA INTERNATIONAL PLC	13,992	67.62	946,139.04	
	GLENCORE PLC	253,306	5.42	1,374,438.35	
	ROLLS-ROYCE HOLDINGS PLC	574,002	1.03	595,584.47	
	WEIR GROUP PLC/THE	24,307	17.10	415,649.70	
	EXPERIAN PLC	53,252	28.67	1,526,734.84	
	BURBERRY GROUP PLC	31,230	22.12	690,807.60	
	FLUTTER ENTERTAINMENT PLC	11,823	124.65	1,473,736.95	
	WHITBREAD PLC	26,212	28.08	736,032.96	
	B&M EUROPEAN VALUE RETAIL SA	179,569	4.47	803,750.84	
	NEXT PLC	12,143	64.54	783,709.22	
	OCADO GROUP PLC	33,226	7.43	246,935.63	
	TESCO PLC	299,584	2.43	728,588.28	
	BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	64,448	32.84	2,116,794.56	
	DIAGEO PLC	55,212	36.35	2,006,956.20	
	RECKITT BENCKISER GROUP PLC	20,199	58.90	1,189,721.10	
	CONVATEC GROUP PLC	201,952	2.41	487,108.22	
	NATWEST GROUP PLC	471,311	2.77	1,309,301.95	
	IG GROUP HOLDINGS PLC	147,029	7.82	1,150,501.92	
	LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	17,137	72.86	1,248,601.82	
	BEAZLEY PLC/UK	203,952	6.67	1,360,359.84	
	HISCOX LTD	83,845	11.05	926,487.25	
	NATIONAL GRID PLC	120,568	10.37	1,250,893.00	
英ポンド小計		2,898,299		23,368,833.74	(3,749,996,750)
スイスフラン	SCHINDLER HOLDING-PART CERT	2,879	190.25	547,729.75	
	CIE FINANCIERE RICHEMON-REG	12,687	134.75	1,709,573.25	
	NESTLE SA-REG	42,869	111.62	4,785,037.78	
	NOVARTIS AG-REG	26,195	85.31	2,234,695.45	
	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	12,003	291.40	3,497,674.20	
	JULIUS BAER GROUP LTD	11,699	57.18	668,948.82	
	UBS GROUP AG-REG	83,955	18.54	1,556,945.47	
スイスフラン小計		192,287		15,000,604.72	(2,145,686,499)
ノルウェークローネ	AKER BP ASA	28,832	305.00	8,793,760.00	
ノルウェークローネ小計		28,832		8,793,760.00	(116,869,070)

デンマーククローネ	SIMCORP A/S	10,286	490.60	5,046,311.60
	ORSTED A/S	7,808	631.20	4,928,409.60
デンマーククローネ小計		18,094		9,974,721.20 (189,619,450)
合 計		4,948,236		13,844,700,432 (13,844,700,432)

(注1)通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額(単位:円)であります。

(注2)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

(2)株式以外の有価証券

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
英ポンド	投資証券	BIG YELLOW GROUP PLC	16,552	191,672.16	
		SAFESTORE HOLDINGS PLC	40,946	395,743.09	
英ポンド小計			57,498	587,415.25 (94,262,525)	
スイスフラン	新株予約権証券	CIE FINANCIERE RICHEMO-CW	34,146.00	34,146.00	
スイスフラン小計			34,146.00	34,146.00 (4,884,243)	
合 計				99,146,768 (99,146,768)	

(注1)通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額(単位:円)であります。

(注2)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

(注3)券面総額欄の数値は、口数を表示しております。

外貨建有価証券の内訳

種 類	銘柄数	組入株式 時価比率	組入新株予約権 証券時価比率	組入投資証券 時価比率	合計金額に 対する比率
米ドル	株式 1銘柄	100.0%			0.9%
ユーロ	株式 41銘柄	100.0%			53.9%
英ポンド	株式 22銘柄	97.5%			26.9%
	投資証券 2銘柄			2.5%	0.7%
スイスフラン	株式 7銘柄	99.8%			15.4%
	新株予約権 証券 1銘柄		0.2%		0.0%
ノルウェークローネ	株式 1銘柄	100.0%			0.8%
デンマーククローネ	株式 2銘柄	100.0%			1.4%

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。

アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド

貸借対照表

（単位：円）

	2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
資産の部		
流動資産		
預金	1,960,092	524,220
コール・ローン	329,577,742	194,646,544
株式	4,200,780,001	4,477,774,143
流動資産合計	4,532,317,835	4,672,944,907
資産合計	4,532,317,835	4,672,944,907
負債の部		
流動負債		
未払解約金	203,471,179	104,083,890
未払利息	38	105
流動負債合計	203,471,217	104,083,995
負債合計	203,471,217	104,083,995
純資産の部		
元本等		
元本	473,144,883	443,945,367
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	3,855,701,735	4,124,915,545
元本等合計	4,328,846,618	4,568,860,912
純資産合計	4,328,846,618	4,568,860,912
負債純資産合計	4,532,317,835	4,672,944,907

注記表

（重要な会計方針に係る事項に関する注記）

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式は移動平均法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。</p> <p>（1）金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。</p> <p>（2）金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>（3）時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
--------------------	--

2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。

（貸借対照表に関する注記）

		2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
1.	期首	2021年 1月13日	2022年 1月12日
	期首元本額	554,498,356円	473,144,883円
	期首からの追加設定元本額	9,812,185円	140,154,911円
	期首からの一部解約元本額	91,165,658円	169,354,427円
	元本の内訳		
	GW7つの卵	194,707,498円	193,435,278円
	グローバル・ラップ・バランス 安定成長型	6,758,658円	6,073,428円
	グローバル・ラップ・バランス 成長型	10,992,593円	9,423,136円
	グローバル・ラップ・バランス 積極成長型	93,368,216円	81,070,616円
	グローバル・ラップ・バランス 積極型	46,672,828円	37,471,327円
	グローバル・ラップ・バランス 超積極型	47,899,023円	42,243,632円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定型）	3,216,514円	3,090,766円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定成長型）	8,287,068円	8,021,239円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（成長型）	12,796,909円	12,942,868円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極成長型）	22,299,905円	23,184,213円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極型）	26,145,671円	26,988,864円
	計	473,144,883円	443,945,367円
2.	受益権の総数	473,144,883口	443,945,367口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

	自 2021年 1月13日 至 2022年 1月11日	自 2022年 1月12日 至 2023年 1月10日
金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品の運用を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左

金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが運用する主な有価証券は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券等であり、全て売買目的で保有しております。また、主なデリバティブ取引には、先物取引、オプション取引、スワップ取引等があり、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するために行うことができます。当該有価証券及びデリバティブ取引には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
金融商品に係るリスク管理体制	運用部門、営業部門と独立した組織であるリスク管理部門を設置し、全社的なリスク管理活動のモニタリング、指導の一元化を図っております。	同左

金融商品の時価等に関する事項

	2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3)上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)

(2022年 1月11日現在)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	112,907,064
合計	112,907,064

（2023年 1月10日現在）

売買目的有価証券

（単位：円）

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
株式	65,962,602
合計	65,962,602

(注)当計算期間の損益に含まれた評価差額は、親投資信託の期首日から本書における開示対象ファンドの計算期間末日までに対応する金額であります。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

2022年 1月11日現在		2023年 1月10日現在	
1口当たり純資産額	9.1491円	1口当たり純資産額	10.2915円
(1万口当たり純資産額)	(91,491円)	(1万口当たり純資産額)	(102,915円)

附属明細表

第1 有価証券明細表

(1)株式

通貨	銘柄	株式数	評価額		備考
			単価	金額	
米ドル	SEA LTD-ADR	5,603	53.04	297,183.12	
米ドル小計		5,603		297,183.12	
				(39,183,594)	
豪ドル	WOODSIDE ENERGY GROUP LTD	23,174	35.04	812,016.96	
	BHP GROUP LTD	88,026	48.00	4,225,248.00	
	INCITEC PIVOT LTD	183,005	3.72	680,778.60	
	JAMES HARDIE INDUSTRIES PLC-CDI	25,108	28.34	711,560.72	
	NEWCREST MINING LTD	24,941	22.80	568,654.80	

	ORICA LIMITED	46,101	14.74	679,528.74	
	RIO TINTO LTD	10,920	118.78	1,297,077.60	
	BRAMBLES LTD	105,721	11.56	1,222,134.76	
	ARISTOCRAT LEISURE LTD	28,126	31.37	882,312.62	
	LOTTERY CORP LTD/THE	105,688	4.63	489,335.44	
	SEEK LTD	30,950	21.09	652,735.50	
	COLES GROUP LTD	69,947	16.52	1,155,524.44	
	ENDEAVOUR GROUP LTD/AUSTRALI	107,358	6.26	672,061.08	
	WOOLWORTHS GROUP LTD	38,107	33.70	1,284,205.90	
	COCHLEAR LTD	3,810	207.55	790,765.50	
	RESMED INC-CDI	29,732	30.06	893,743.92	
	CSL LTD	11,269	277.00	3,121,513.00	
	ANZ GROUP HOLDINGS LTD	65,533	23.72	1,554,442.76	
	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRAL	15,998	103.32	1,652,913.36	
	NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	42,311	30.00	1,269,330.00	
	WESTPAC BANKING CORP	78,487	23.37	1,834,241.19	
	ASX LTD	11,615	66.34	770,539.10	
	MEDIBANK PRIVATE LTD	308,811	2.91	898,640.01	
	SUNCORP GROUP LTD	100,182	12.02	1,204,187.64	
	COMPUTERSHARE LTD	16,151	24.25	391,661.75	
	TELSTRA GROUP LTD	212,588	3.97	843,974.36	
豪ドル小計		1,783,659		30,559,127.75 (2,783,936,538)	
ニュージーランドドル	FLETCHER BUILDING LTD	56,354	4.82	271,626.28	
	SPARK NEW ZEALAND LTD	157,187	5.32	836,234.84	
	CONTACT ENERGY LIMITED	108,283	7.85	850,021.55	
ニュージーランドドル小計		321,824		1,957,882.67 (164,462,144)	
香港ドル	CK HUTCHISON HOLDINGS LTD	32,772	48.70	1,595,996.40	
	TECHTRONIC INDUSTRIES CO	58,500	93.65	5,478,525.00	
	BOC HONG KONG HOLDINGS LTD	187,500	27.45	5,146,875.00	
	HONG KONG EXCHANGES & CLEAR	28,500	377.40	10,755,900.00	
	AIA GROUP LTD	263,800	87.30	23,029,740.00	
	CHINA PACIFIC INSURANCE GROUP CO LTD	46,600	18.96	883,536.00	
	HANG LUNG PROPERTIES LTD	318,000	14.92	4,744,560.00	
	SUN HUNG KAI PROPERTIES	39,500	109.20	4,313,400.00	
	SWIRE PROPERTIES LTD	164,800	21.65	3,567,920.00	
香港ドル小計		1,139,972		59,516,452.40 (1,005,232,881)	
シンガポールドル	DBS GROUP HOLDINGS LTD	42,500	35.25	1,498,125.00	
	OVERSEA-CHINESE BANKING CORP	100,970	12.70	1,282,319.00	
	SINGAPORE EXCHANGE LTD	61,400	9.05	555,670.00	

	VENTURE CORP LTD	32,100	17.35	556,935.00	
	SINGAPORE TELECOMMUNICATIONS	399,820	2.51	1,003,548.20	
シンガポールドル小計		636,790		4,896,597.20	(484,958,986)
合 計		3,887,848		4,477,774,143	(4,477,774,143)

(注1)通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額(単位:円)であります。

(注2)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

(2)株式以外の有価証券

該当事項はありません。

外貨建有価証券の内訳

種 類	銘柄数	組入株式 時価比率	合計金額に 対する比率
米ドル	株式 1銘柄	100.0%	0.9%
豪ドル	株式 26銘柄	100.0%	62.2%
ニュージーランドドル	株式 3銘柄	100.0%	3.7%
香港ドル	株式 9銘柄	100.0%	22.4%
シンガポールドル	株式 5銘柄	100.0%	10.8%

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

海外債券グローバル・ラップマザーファンド

貸借対照表

(単位:円)

	2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
資産の部		
流動資産		
預金	654,360,575	47,044,064
コール・ローン	10,215,010	10,208,747
国債証券	6,995,005,510	7,007,281,597
地方債証券	408,135,409	375,884,949
特殊債券	153,698,046	379,968,843
社債券	882,174,196	699,405,204
コマーシャル・ペーパー	-	32,704,157
派生商品評価勘定	43,566,448	44,943,905
未収入金	29,320,410	51,787,741

	2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
未収利息	29,471,508	38,306,493
前払費用	2,666,599	5,116,615
差入委託証拠金	219,908,772	324,266,770
流動資産合計	9,428,522,483	9,016,919,085
資産合計	9,428,522,483	9,016,919,085
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	30,500,175	24,921,821
未払金	22,793,132	21,716,866
未払解約金	589,263,139	30,804,971
未払利息	1	5
流動負債合計	642,556,447	77,443,663
負債合計	642,556,447	77,443,663
純資産の部		
元本等		
元本	3,084,337,245	3,201,359,960
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）	5,701,628,791	5,738,115,462
元本等合計	8,785,966,036	8,939,475,422
純資産合計	8,785,966,036	8,939,475,422
負債純資産合計	9,428,522,483	9,016,919,085

注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券及びコマーシャル・ペーパーは個別法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。</p>
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	<p>(1) デリバティブ取引 個別法に基づき原則として時価で評価しております。</p> <p>(2) 為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基礎となる事項	<p>外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。</p>

(貸借対照表に関する注記)

		2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
1.	期首	2021年 1月13日	2022年 1月12日
	期首元本額	3,185,909,606円	3,084,337,245円
	期首からの追加設定元本額	156,786,731円	1,194,172,352円
	期首からの一部解約元本額	258,359,092円	1,077,149,637円
	元本の内訳		
	GW7つの卵	1,487,997,957円	1,590,764,433円
	グローバル・ラップ・バランス 安定成長型	69,961,297円	65,493,199円
	グローバル・ラップ・バランス 成長型	89,914,885円	81,682,823円
	グローバル・ラップ・バランス 積極成長型	689,597,572円	656,866,358円
	グローバル・ラップ・バランス 積極型	227,380,885円	232,517,044円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定型）	47,392,325円	44,340,105円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定成長型）	80,504,494円	83,090,795円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（成長型）	96,952,844円	107,071,430円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極成長型）	160,855,989円	178,904,980円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極型）	133,778,997円	160,628,793円
	計	3,084,337,245円	3,201,359,960円
2.	受益権の総数	3,084,337,245口	3,201,359,960口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

	自 2021年 1月13日 至 2022年 1月11日	自 2022年 1月12日 至 2023年 1月10日
金融商品に対する取組方針	当ファンドは証券投資信託として、有価証券、デリバティブ取引等の金融商品の運用を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。	同左
金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク	当ファンドが運用する主な有価証券は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載の有価証券等であり、全て売買目的で保有しております。また、主なデリバティブ取引には、先物取引、オプション取引、スワップ取引等があり、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するために行うことができます。当該有価証券及びデリバティブ取引には、性質に応じてそれぞれ価格変動リスク、流動性リスク、信用リスク等があります。	同左
金融商品に係るリスク管理体制	運用部門、営業部門と独立した組織であるリスク管理部門を設置し、全社的なリスク管理活動のモニタリング、指導の一元化を図っております。	同左

金融商品の時価等に関する事項

	2022年 1月11日現在	2023年 1月10日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1)有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2)デリバティブ取引 「デリバティブ取引等に関する注記」に記載しております。 (3)上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1)有価証券 同左 (2)デリバティブ取引 同左 (3)上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

(有価証券に関する注記)

(2022年 1月11日現在)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
国債証券	133,860,971
地方債証券	7,501,112
特殊債券	2,534,588
社債券	10,321,613
合計	154,218,284

(2023年 1月10日現在)

売買目的有価証券

(単位：円)

種類	当計算期間の損益に含まれた評価差額
国債証券	595,218,793
地方債証券	37,461,196
特殊債証券	20,429,509
社債証券	13,817,767
合計	666,927,265

(注)当計算期間の損益に含まれた評価差額は、親投資信託の期首日から本書における開示対象ファンドの計算期間末日までに対応する金額であります。

(デリバティブ取引等に関する注記)

取引の時価等に関する事項

(債券関連)

(2022年 1月11日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	債券先物取引				
	買建	1,266,374,570	-	1,249,153,940	17,220,630
	売建	2,946,158,003	-	2,915,842,893	30,315,110
合計		4,212,532,573	-	4,164,996,833	13,094,480

(2023年 1月10日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	債券先物取引				
	買建	829,353,779	-	839,327,797	9,974,018
	売建	878,777,595	-	867,214,916	11,562,679
合計		1,708,131,374	-	1,706,542,713	21,536,697

(注) 1.時価の算定方法

債券先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として本書における開示対象ファンドの計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、同計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2.債券先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

3. 契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

また契約額等及び時価の邦貨換算は、本書における開示対象ファンドの計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で行っております。

4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(通貨関連)

(2022年 1月11日現在)

(単位：円)

区分	種類	契約額等	うち1年超	時価	評価損益
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建	1,899,567,084	-	1,887,853,622	11,713,462
	米ドル	1,226,620,348	-	1,218,678,921	7,941,427
	加ドル	24,117,527	-	24,130,582	13,055
	メキシコペソ	26,772,853	-	27,056,039	283,186
	ユーロ	235,675,338	-	233,997,026	1,678,312
	英ポンド	78,323,153	-	77,827,565	495,588
	スイスフラン	10,747,127	-	10,581,854	165,273
	スウェーデンクローナ	37,364,831	-	36,933,050	431,781
	ノルウェークローネ	32,071,346	-	31,727,076	344,270
	デンマーククローネ	7,731,201	-	7,681,192	50,009
	ポーランドズロチ	16,377,318	-	16,379,862	2,544
	豪ドル	74,205,018	-	74,037,558	167,460
	ニュージーランドドル	48,597,440	-	48,151,050	446,390
	シンガポールドル	5,288,410	-	5,275,691	12,719
	イスラエルシェケル	3,802,203	-	3,751,692	50,511
	南アフリカランド	9,284,931	-	9,397,504	112,573
	香港・オフショア人民元	62,588,040	-	62,246,960	341,080
	売建	2,505,330,223	-	2,493,644,968	11,685,255
	米ドル	1,289,009,875	-	1,282,359,229	6,650,646
	加ドル	92,431,450	-	92,606,798	175,348
	ユーロ	654,920,890	-	652,834,206	2,086,684
	英ポンド	279,704,510	-	278,895,156	809,354

	スイスフラン	46,662,400	-	45,813,203	849,197
	ノルウェークローネ	12,104,400	-	12,014,679	89,721
	ポーランドズロチ	6,175,208	-	6,178,369	3,161
	豪ドル	86,590,660	-	85,561,881	1,028,779
	ニュージーランドドル	37,730,830	-	37,381,447	349,383
	合計	4,404,897,307	-	4,381,498,590	28,207

(2023年 1月10日現在)

(単位:円)

区分	種類	契約額等	うち1年超		時価	評価損益
市場取引以外の取引	為替予約取引					
	買建	1,472,342,431	-	1,478,452,353	6,109,922	
	米ドル	885,388,688	-	888,610,971	3,222,283	
	加ドル	120,991,096	-	120,845,648	145,448	
	メキシコペソ	27,681,972	-	27,637,099	44,873	
	ユーロ	98,386,866	-	98,341,001	45,865	
	英ポンド	41,855,641	-	42,222,955	367,314	
	スイスフラン	17,838,512	-	17,865,850	27,338	
	スウェーデンクローナ	47,856,508	-	48,433,800	577,292	
	ノルウェークローネ	20,781,927	-	21,076,337	294,410	
	ポーランドズロチ	12,214,721	-	12,281,058	66,337	
	豪ドル	77,542,135	-	78,052,863	510,728	
	ニュージーランドドル	43,232,798	-	43,391,667	158,869	
	シンガポールドル	11,647,508	-	11,746,371	98,863	
	南アフリカランド	9,780,395	-	9,747,990	32,405	
	香港・オフショア人民元	57,143,664	-	58,198,743	1,055,079	
	売建	1,630,947,402	-	1,638,571,937	7,624,535	
	米ドル	822,158,714	-	818,222,736	3,935,978	
	加ドル	26,397,000	-	26,484,030	87,030	
	メキシコペソ	15,669,967	-	15,621,673	48,294	
ユーロ	298,937,250	-	304,548,910	5,611,660		

英ポンド	204,860,438	-	208,221,264	3,360,826
スイスフラン	119,953,740	-	121,201,926	1,248,186
スウェーデンク ローナ	31,089,900	-	31,227,222	137,322
ノルウェークロー ネ	4,440,400	-	4,509,726	69,326
トルコリラ	105,024	-	103,485	1,539
ポーランドズロチ	3,136,550	-	3,175,102	38,552
豪ドル	40,754,165	-	41,285,884	531,719
ニュージーランド ドル	61,266,120	-	61,736,794	470,674
香港・オフショア 人民元	2,178,134	-	2,233,185	55,051
合計	3,103,289,833	-	3,117,024,290	1,514,613

(注) 1. 時価の算定方法

(1) 本書における開示対象ファンドの計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

同計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

同計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 同計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算しております。
- ・ 同計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2) 本書における開示対象ファンドの計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については同計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

(3) 上記の算定方法にて、適正な時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認められた価額で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。

3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

2022年 1月11日現在		2023年 1月10日現在	
1口当たり純資産額	2.8486円	1口当たり純資産額	2.7924円
(1万口当たり純資産額)	(28,486円)	(1万口当たり純資産額)	(27,924円)

第1 有価証券明細表

(1) 株式

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考	
米ドル	国債証券	TREASURY BILL-0.0%-23/01/24	474,000.00	473,282.56		
		TREASURY BILL-0.0%-23/03/16	115,000.00	114,146.44		
		US TREASURY N/B-0.5%-23/11/30	1,580,000.00	1,522,482.34		
		US TREASURY N/B-0.375%-24/08/15	4,845,000.00	4,547,486.71		
		US TREASURY N/B-0.5%-25/03/31	660,000.00	610,448.44		
		US TREASURY N/B-0.25%-25/09/30	886,000.00	802,833.66		
		US TREASURY N/B-0.375%-26/01/31	694,000.00	623,840.93		
		US TREASURY N/B-0.75%-26/08/31	2,231,000.00	1,999,882.34		
		US TREASURY N/B-2.75%-28/02/15	2,081,000.00	1,991,094.30		
		US TREASURY N/B-2.375%-29/05/15	1,645,000.00	1,529,207.43		
		US TREASURY N/B-1.25%-31/08/15	1,524,000.00	1,275,040.30		
		US TREASURY N/B-2.875%-32/05/15	80,000.00	75,987.50		
		US TREASURY N/B-1.75%-41/08/15	869,000.00	626,885.05		
		US TREASURY N/B-3.125%-43/02/15	765,000.00	687,364.44		
		US TREASURY N/B-2.875%-43/05/15	192,000.00	165,382.50		
		US TREASURY N/B-3.0%-45/05/15	1,337,000.00	1,163,947.29		
		US TREASURY N/B-3.0%-45/11/15	1,256,000.00	1,092,867.19		
		US TREASURY N/B-2.5%-46/05/15	265,000.00	210,074.61		
		US TREASURY N/B-3.0%-48/02/15	1,262,000.00	1,097,397.73		
		US TREASURY N/B-2.0%-50/02/15	476,000.00	335,710.15		
	US TREASURY N/B-1.875%-51/02/15	271,000.00	184,682.26			
	US TREASURY N/B-2.0%-51/08/15	1,578,000.00	1,107,127.23			
	国債証券小計			25,086,000.00	22,237,171.40 (2,931,971,049)	
	地方債証券		OMERS FINANCE TRUST-3.5%-32/04/19	320,000.00	297,875.52	
			ONTARIO TEACHERS' FINANC-2.0%-31/04/16	542,000.00	459,823.42	
			PROVINCE OF SASKATCHEWAN-3.25%-27/06/08	153,000.00	147,920.49	
	地方債証券小計			1,015,000.00	905,619.43 (119,405,921)	
	特殊債券		CPPIB CAPITAL INC-3.25%-27/06/15	250,000.00	240,215.35	
			FNGT 2004-T3 1A1-6.0%-44/02/25	8,313.97	8,458.68	
FNR 1999-37 F-4.789%-29/06/25			1,449.20	1,435.49		
FNR 2000-13 F-5.039%-23/09/25			19.15	19.11		
FNW 2004-W2 5AF-4.739%-44/03/25			4,695.43	4,625.35		

	FNW 2004-W8 2A-6.5%-44/06/25	11,287.50	11,644.29
	FSPC T-21 A-4.749%-29/10/25	3,721.52	3,710.97
	FSPC T-61 1A1-3.448%-44/07/25	24,500.16	23,632.15
	PSP CAPITAL INC-1.625%-28/10/26	252,000.00	218,585.09
特殊債券小計		555,986.93	512,326.48 (67,550,246)
社債券	AERCAP IRELAND CAP/GLOBA-1.15%- 23/10/29	290,000.00	278,953.75
	AMERICAN TOWER CORP-1.3%-25/09/15	155,000.00	140,652.33
	AT&T INC-1.65%-28/02/01	255,000.00	220,059.05
	BANK OF AMERICA CORP-1.486%-24/05/19	215,000.00	212,001.26
	BPCE SA-1.0%-26/01/20	300,000.00	265,725.71
	CANADIAN PACIFIC RAILWAY-1.35%- 24/12/02	225,000.00	211,063.63
	CIGNA CORP-3.75%-23/07/15	75,000.00	74,532.89
	COREBRIDGE FINANCIAL INC-3.5%- 25/04/04	90,000.00	86,801.12
	DISCOVERY COMMUNICATIONS-3.9%- 24/11/15	175,000.00	170,183.64
	EQUITABLE FINANCIAL LIFE-0.5%- 23/04/06	290,000.00	287,190.66
	GE HEALTHCARE HLDG LLC-5.55%-24/11/15	130,000.00	131,006.48
	GILEAD SCIENCES INC-0.75%-23/09/29	243,000.00	235,835.83
	JPMORGAN CHASE & CO-1.514%-24/06/01	280,000.00	275,897.77
	MASSMUTUAL GLOBAL FUNDIN-0.85%- 23/06/09	310,000.00	304,551.51
	MET LIFE GLOB FUNDING I-1.95%- 23/01/13	330,000.00	329,950.59
	MORGAN STANLEY-0.529%-24/01/25	300,000.00	298,384.57
	NEXTERA ENERGY CAPITAL-0.65%-23/03/01	290,000.00	288,437.91
	PNC FINANCIAL SERVICES-5.671%- 25/10/28	60,000.00	60,872.13
	PRINCIPAL LFE GLB FND II-1.25%- 25/06/23	90,000.00	82,476.09
	SIEMENS FINANCIERINGSMAT-1.2%- 26/03/11	250,000.00	225,287.44
	TORONTO-DOMINION BANK-5.103%-26/01/09	75,000.00	75,465.05
	UNITEDHEALTH GROUP INC-1.25%-26/01/15	50,000.00	45,914.66
	VERIZON COMMUNICATIONS-2.1%-28/03/22	105,000.00	92,870.73
社債券小計		4,583,000.00	4,394,114.80 (579,364,036)
コマーシャル・ ペーパー	GENERAL MTRS FINL 0%	250,000.00	248,040.63
コマーシャル・ペーパー小計		250,000.00	248,040.63 (32,704,157)
米ドル小計		31,489,986.93	28,297,272.74 (3,730,995,409)

加ドル	国債証券	CANADIAN GOVERNMENT-2.5%-24/06/01	345,000.00	337,800.88
		CANADIAN GOVERNMENT-0.5%-25/09/01	229,000.00	210,905.10
		CANADIAN GOVERNMENT-2.25%-29/06/01	624,000.00	595,827.02
		CANADIAN GOVERNMENT-0.5%-30/12/01	111,000.00	91,237.11
		CANADIAN GOVERNMENT-2.0%-32/06/01	53,000.00	48,420.48
		CANADIAN GOVERNMENT-5.0%-37/06/01	190,000.00	230,179.11
		CANADIAN GOVERNMENT-3.5%-45/12/01	80,000.00	84,662.16
		CANADIAN GOVERNMENT-2.75%-48/12/01	81,000.00	75,814.62
加ドル小計			1,713,000.00	1,674,846.48 (164,838,390)
メキシコ ペソ	国債証券	MEX BONOS DESARR FIX RT-5.5%-27/03/04	7,900,000.00	7,043,343.75
		MEX BONOS DESARR FIX RT-10.0%- 36/11/20	1,687,900.00	1,882,535.96
		MEX BONOS DESARR FIX RT-8.0%-47/11/07	901,200.00	835,863.00
		MEX BONOS DESARR FIX RT-8.0%-53/07/31	783,100.00	724,856.93
メキシコペソ小計			11,272,200.00	10,486,599.64 (72,253,720)
ユーロ	国債証券	BELGIUM KINGDOM-1.0%-26/06/22	375,000.00	356,610.37
		BELGIUM KINGDOM-0.0%-27/10/22	255,000.00	226,050.36
		BELGIUM KINGDOM-0.35%-32/06/22	210,000.00	167,314.56
		BELGIUM KINGDOM-1.25%-33/04/22	310,000.00	267,284.74
		BELGIUM KINGDOM-4.25%-41/03/28	193,000.00	222,012.91
		BELGIUM KINGDOM-1.7%-50/06/22	74,000.00	55,118.53
		BELGIUM KINGDOM-1.4%-53/06/22	108,000.00	72,695.44
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO-0.0%- 24/05/31	558,000.00	536,947.77
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO-0.0%- 26/01/31	519,000.00	476,753.40
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO-0.0%- 27/01/31	285,000.00	254,356.51
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO-0.0%- 28/01/31	388,000.00	335,952.51
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO-2.55%- 32/10/31	708,000.00	666,007.09
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO-1.85%- 35/07/30	145,000.00	122,111.46
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO-0.85%- 37/07/30	283,000.00	196,168.80
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO-4.7%- 41/07/30	58,000.00	67,030.77
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO-1.0%- 42/07/30	200,000.00	128,444.59
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO-1.9%- 52/10/31	213,000.00	144,514.74
		BONOS Y OBLIG DEL ESTADO-3.45%- 66/07/30	48,000.00	45,271.41
BUNDESobligation-1.3%-27/10/15	49,000.00	46,910.88		

BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND-0.0%- 31/08/15	391,000.00	324,851.79	
BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND-0.0%- 32/02/15	266,000.00	218,208.31	
BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND-1.7%- 32/08/15	565,000.00	539,826.41	
BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND-0.0%- 35/05/15	1,019,000.00	767,478.19	
BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND-0.0%- 36/05/15	783,000.00	575,526.91	
BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND-4.75%- 40/07/04	74,000.00	99,468.43	
BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND-1.25%- 48/08/15	64,000.00	52,761.66	
BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND-0.0%- 50/08/15	330,000.00	186,353.63	
BUONI POLIENNALI DEL TES-2.15%- 72/03/01	60,000.00	35,973.54	
BUONI POLIENNALI DEL TES-0.0%- 24/08/15	747,000.00	712,153.19	
BUONI POLIENNALI DEL TES-0.0%- 26/04/01	1,111,000.00	998,211.28	
BUONI POLIENNALI DEL TES-2.65%- 27/12/01	956,000.00	917,040.13	
BUONI POLIENNALI DEL TES-0.25%- 28/03/15	80,000.00	67,368.40	
BUONI POLIENNALI DEL TES-0.5%- 28/07/15	190,000.00	160,352.40	
BUONI POLIENNALI DEL TES-0.95%- 31/12/01	421,000.00	325,295.75	
BUONI POLIENNALI DEL TES-4.0%- 35/04/30	320,000.00	309,727.21	
BUONI POLIENNALI DEL TES-3.1%- 40/03/01	358,000.00	302,010.22	
BUONI POLIENNALI DEL TES-4.75%- 44/09/01	149,000.00	155,663.87	
BUONI POLIENNALI DEL TES-1.5%- 45/04/30	189,000.00	113,582.38	
BUONI POLIENNALI DEL TES-1.7%- 51/09/01	196,000.00	115,502.99	
BUONI POLIENNALI DEL TES-2.8%- 67/03/01	10,000.00	7,120.36	
FINNISH GOVERNMENT-0.875%-25/09/15	295,000.00	282,206.42	
FINNISH GOVERNMENT-0.125%-31/09/15	140,000.00	111,844.18	
FINNISH GOVERNMENT-0.125%-52/04/15	56,000.00	28,121.01	
FRANCE (GOVT OF)-1.75%-24/11/25	292,000.00	286,995.12	
FRANCE (GOVT OF)-0.0%-25/02/25	548,000.00	517,836.43	
FRANCE (GOVT OF)-0.0%-27/02/25	2,126,000.00	1,917,367.10	
FRANCE (GOVT OF)-0.0%-31/11/25	1,246,000.00	989,717.73	
FRANCE (GOVT OF)-2.0%-32/11/25	141,000.00	132,259.41	

	FRANCE (GOVT OF)-1.25%-34/05/25	74,000.00	62,494.33
	FRANCE (GOVT OF)-4.5%-41/04/25	40,000.00	48,080.24
	FRANCE (GOVT OF)-0.5%-44/06/25	463,000.00	284,894.08
	FRANCE (GOVT OF)-2.0%-48/05/25	126,000.00	103,744.86
	FRANCE (GOVT OF)-1.5%-50/05/25	440,000.00	319,447.92
	FRANCE (GOVT OF)-4.0%-55/04/25	33,000.00	39,691.01
	FRANCE (GOVT OF)-1.75%-66/05/25	78,000.00	57,843.24
	IRISH TREASURY-1.0%-26/05/15	160,000.00	152,738.98
	IRISH TREASURY-0.0%-31/10/18	97,000.00	77,028.08
	IRISH TREASURY-1.7%-37/05/15	136,000.00	116,292.10
	IRISH TREASURY-1.5%-50/05/15	35,000.00	25,810.85
	NETHERLANDS GOVERNMENT-0.0%-24/01/15	361,000.00	351,762.01
	NETHERLANDS GOVERNMENT-0.0%-27/01/15	392,000.00	355,745.87
	NETHERLANDS GOVERNMENT-0.0%-31/07/15	250,000.00	203,037.50
	NETHERLANDS GOVERNMENT-0.5%-32/07/15	93,000.00	77,217.34
	NETHERLANDS GOVERNMENT-0.0%-38/01/15	155,000.00	105,628.31
	NETHERLANDS GOVERNMENT-3.75%-42/01/15	221,000.00	259,318.08
	NETHERLANDS GOVERNMENT-0.0%-52/01/15	73,000.00	38,084.16
	REPUBLIC OF AUSTRIA-2.1%-17/09/20	30,000.00	24,284.38
	REPUBLIC OF AUSTRIA-0.85%-99/99/99	62,000.00	29,895.52
	REPUBLIC OF AUSTRIA-1.2%-25/10/20	100,000.00	96,582.50
	REPUBLIC OF AUSTRIA-0.75%-26/10/20	357,000.00	334,935.97
	REPUBLIC OF AUSTRIA-0.0%-31/02/20	72,000.00	57,645.50
	REPUBLIC OF AUSTRIA-2.4%-34/05/23	105,000.00	99,849.33
	REPUBLIC OF AUSTRIA-0.0%-40/10/20	100,000.00	59,602.40
	REPUBLIC OF AUSTRIA-1.85%-49/05/23	36,000.00	29,663.38
国債証券小計		22,191,000.00	19,049,699.23 (2,693,246,477)
地方債証券	ONTARIO TEACHERS' FINANC-1.85%-32/05/03	228,000.00	200,888.06
	ONTARIO TEACHERS' FINANC-0.5%-25/05/06	310,000.00	290,849.75
	ONTARIO TEACHERS' FINANC-0.1%-28/05/19	627,000.00	531,649.60
	ONTARIO TEACHERS' FINANC-0.9%-41/05/20	185,000.00	123,434.22
地方債証券小計		1,350,000.00	1,146,821.63 (162,137,642)
特殊債券	CAISSE D'AMORT DETTE SOC-1.75%-27/11/25	600,000.00	568,526.40
	CDP FINANCIAL INC-1.125%-27/04/06	545,000.00	502,375.00
	CPPIB CAPITAL INC-0.25%-27/04/06	500,000.00	445,025.50
	EUROPEAN INVESTMENT BANK-0.375%-27/09/15	21,000.00	18,890.92
	NEDER WATERSCHAPSBANK-0.0%-26/11/16	652,000.00	585,514.58
	UNEDIC-1.75%-32/11/25	100,000.00	89,446.90
		2,418,000.00	2,209,779.30

	特殊債券小計			(312,418,597)	
	社債券	COMCAST CORP-0.0%-26/09/14	125,000.00	110,327.67	
		ENEL FINANCE INTL NV-0.0%-26/05/28	100,000.00	89,020.40	
		GENERAL MOTORS FINL CO-1.0%-25/02/24	105,000.00	98,543.26	
		GSK CONSUMER HEALTHCARE-1.25%-26/03/29	100,000.00	93,036.60	
		MONDELEZ INTERNATIONAL-0.25%-28/03/17	135,000.00	114,580.44	
		VOLKSWAGEN LEASING GMBH-0.0%-24/07/19	105,000.00	98,879.34	
	社債券小計		670,000.00	604,387.71 (85,448,334)	
	ユーロ小計		26,629,000.00	23,010,687.87 (3,253,251,050)	
英ポンド	国債証券	UK TREASURY-0.125%-24/01/31	368,000.00	355,388.05	
		UK TREASURY-0.875%-29/10/22	321,000.00	271,489.60	
		UK TREASURY-0.25%-31/07/31	558,000.00	423,633.60	
		UK TREASURY-0.875%-33/07/31	463,000.00	350,355.32	
		UK TREASURY-4.25%-36/03/07	142,400.00	148,523.48	
		UK TREASURY-1.125%-39/01/31	742,000.00	494,105.22	
		UK TREASURY-4.25%-40/12/07	82,000.00	84,561.68	
		UK TREASURY-4.25%-46/12/07	260,000.00	267,501.00	
		UK TREASURY-1.25%-51/07/31	488,000.00	263,720.08	
		UK TREASURY-1.5%-53/07/31	16,000.00	9,145.02	
		UK TREASURY-0.5%-61/10/22	152,000.00	53,709.20	
		UNITED KINGDOM GILT-2.5%-65/07/22	29,000.00	21,261.35	
		国債証券小計		3,621,400.00	2,743,393.60 (440,232,370)
		地方債証券	ONTARIO (PROVINCE OF)-0.25%-26/12/15	691,000.00	587,906.69
		地方債証券小計		691,000.00	587,906.69 (94,341,386)
	社債券	NEW YORK LIFE GLOBAL FDG-1.5%-27/07/15	135,000.00	117,998.77	
		VOLKSWAGEN FIN SERV NV-1.125%-23/09/18	100,000.00	97,573.20	
	社債券小計		235,000.00	215,571.97 (34,592,834)	
	英ポンド小計		4,547,400.00	3,546,872.26 (569,166,590)	
スウェーデン コロナ	国債証券	SWEDISH GOVERNMENT-0.125%-31/05/12	1,455,000.00	1,234,963.76	
	スウェーデンコロナ小計		1,455,000.00	1,234,963.76 (15,634,641)	
ノルウェー ローネ	国債証券	NORWEGIAN GOVERNMENT-1.75%-27/02/17	745,000.00	708,159.75	
		NORWEGIAN GOVERNMENT-1.25%-31/09/17	118,000.00	101,362.00	

ノルウェークローネ小計			863,000.00	809,521.75 (10,758,544)
デンマーク クロー ネ	国債証券	KINGDOM OF DENMARK-0.0%-31/11/15	678,000.00	546,988.88
		KINGDOM OF DENMARK-4.5%-39/11/15	700,000.00	900,790.73
デンマーククローネ小計			1,378,000.00	1,447,779.61 (27,522,290)
ポーランド ズロチ	国債証券	POLAND GOVERNMENT BOND-3.75%-27/05/25	418,000.00	386,662.54
		POLAND GOVERNMENT BOND-2.5%-27/07/25	1,230,000.00	1,077,824.40
ポーランドズロチ小計			1,648,000.00	1,464,486.94 (44,132,606)
豪ドル	国債証券	AUSTRALIAN GOVERNMENT-3.25%-25/04/21	219,000.00	218,806.89
		AUSTRALIAN GOVERNMENT-0.25%-25/11/21	587,000.00	538,263.19
		AUSTRALIAN GOVERNMENT-0.5%-26/09/21	149,000.00	134,189.02
		AUSTRALIAN GOVERNMENT-4.75%-27/04/21	98,000.00	103,180.91
		AUSTRALIAN GOVERNMENT-2.25%-28/05/21	8,000.00	7,523.16
		AUSTRALIAN GOVERNMENT-3.75%-37/04/21	99,000.00	96,825.14
		AUSTRALIAN GOVERNMENT-3.0%-47/03/21	175,000.00	145,476.38
		AUSTRALIAN GOVERNMENT-1.75%-51/06/21	655,000.00	401,575.73
豪ドル小計			1,990,000.00	1,645,840.42 (149,936,062)
ニュー ジーラン ドドル	国債証券	NEW ZEALAND GOVERNMENT-2.0%-32/05/15	86,000.00	71,219.74
		NEW ZEALAND GOVERNMENT-2.75%-51/05/15	527,000.00	392,374.11
ニュージーランドドル小計			613,000.00	463,593.85 (38,941,883)
シンガ ポールド ル	国債証券	SINGAPORE GOVERNMENT-2.875%-30/09/01	131,000.00	131,131.00
		SINGAPORE GOVERNMENT-3.375%-33/09/01	57,000.00	59,565.00
		SINGAPORE GOVERNMENT-2.75%-42/04/01	129,000.00	133,247.97
シンガポールドル小計			317,000.00	323,943.97 (32,083,410)
マレーシ アリン ギット	国債証券	MALAYSIA GOVERNMENT-2.632%-31/04/15	712,000.00	644,894.00
		MALAYSIAN GOVERNMENT-4.127%-32/04/15	450,000.00	454,428.54
		MALAYSIAN GOVERNMENT-3.844%-33/04/15	540,000.00	531,627.61
マレーシアリングット小計			1,702,000.00	1,630,950.15 (49,156,674)
イスラエ ルシュケ ル	国債証券	ISRAEL FIXED BOND-2.0%-27/03/31	718,000.00	678,675.39
		ISRAEL FIXED BOND-5.5%-42/01/31	192,000.00	245,791.55
イスラエルシュケル小計			910,000.00	924,466.94 (35,083,520)
香港・オ フショア 人民元	国債証券	CHINA GOVERNMENT BOND-2.18%-24/06/25	1,710,000.00	1,707,248.96
		CHINA GOVERNMENT BOND-2.47%-24/09/02	2,030,000.00	2,034,887.22
		CHINA GOVERNMENT BOND-2.37%-27/01/20	5,890,000.00	5,835,072.80
		CHINA GOVERNMENT BOND-2.5%-27/07/25	770,000.00	764,793.64

	CHINA GOVERNMENT BOND-3.02%-31/05/27	2,800,000.00	2,838,068.10	
	CHINA GOVERNMENT BOND-2.75%-32/02/17	400,000.00	395,785.92	
	CHINA GOVERNMENT BOND-3.72%-51/04/12	1,530,000.00	1,658,591.14	
	CHINA GOVERNMENT BOND-3.53%-51/10/18	250,000.00	262,178.37	
香港・オフショア人民元小計		15,380,000.00	15,496,626.15 (301,489,961)	
合計			8,495,244,750 (8,495,244,750)	

(注1)通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額(単位:円)であります。

(注2)合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係わるもので、内書であります。

外貨建有価証券の内訳

種 類	銘柄数	組入債券 時価比率	組入其他有価 証券 時価比率	合計金額に 対する比率
米ドル	国債証券 22銘柄	78.6%		34.5%
	地方債証券 3銘柄	3.2%		1.4%
	特殊債証券 9銘柄	1.8%		0.8%
	社債証券 23銘柄	15.5%		6.8%
	コマーシャル・ペーパー 1銘柄		0.9%	0.4%
加ドル	国債証券 8銘柄	100.0%		1.9%
メキシコペソ	国債証券 4銘柄	100.0%		0.9%
ユーロ	国債証券 74銘柄	82.8%		31.7%
	地方債証券 4銘柄	5.0%		1.9%
	特殊債証券 6銘柄	9.6%		3.7%
	社債証券 6銘柄	2.6%		1.0%
英ポンド	国債証券 12銘柄	77.3%		5.2%
	地方債証券 1銘柄	16.6%		1.1%
	社債証券 2銘柄	6.1%		0.4%
スウェーデンクローナ	国債証券 1銘柄	100.0%		0.2%
ノルウェークローネ	国債証券 2銘柄	100.0%		0.1%
デンマーククローネ	国債証券 2銘柄	100.0%		0.3%
ポーランドズロチ	国債証券 2銘柄	100.0%		0.5%
豪ドル	国債証券 8銘柄	100.0%		1.8%
ニュージーランドドル	国債証券 2銘柄	100.0%		0.5%
シンガポールドル	国債証券 3銘柄	100.0%		0.4%
マレーシアリングギット	国債証券 3銘柄	100.0%		0.6%
イスラエルシェケル	国債証券 2銘柄	100.0%		0.4%
香港・オフショア人民元	国債証券 8銘柄	100.0%		3.5%

第2 信用取引契約残高明細表

該当事項はありません。

第3 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「注記表（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。

2【ファンドの現況】

以下のファンドの現況は2023年 1月31日現在です。

【GW7つの卵】

【純資産額計算書】

資産総額	46,444,021,333円
負債総額	75,952,434円
純資産総額（ - ）	46,368,068,899円
発行済口数	43,878,856,810口
1口当たり純資産額（ / ）	1.0567円

（参考）

日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド

純資産額計算書

資産総額	26,186,934,533円
負債総額	280,074,079円
純資産総額（ - ）	25,906,860,454円
発行済口数	7,877,769,510口
1口当たり純資産額（ / ）	3.2886円

日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド

純資産額計算書

資産総額	8,993,455,276円
負債総額	36,578,745円
純資産総額（ - ）	8,956,876,531円
発行済口数	1,106,861,131口
1口当たり純資産額（ / ）	8.0921円

日本債券グローバル・ラップマザーファンド

純資産額計算書

資産総額	165,278,027,809円
負債総額	7,381,196,499円
純資産総額（ - ）	157,896,831,310円
発行済口数	117,399,480,411口
1口当たり純資産額（ / ）	1.3450円

北米株式グローバル・ラップマザーファンド

純資産額計算書

資産総額	18,730,014,008円
負債総額	13,299,848円
純資産総額（ - ）	18,716,714,160円
発行済口数	3,544,031,012口
1口当たり純資産額（ / ）	5.2812円

欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド

純資産額計算書

資産総額	13,413,160,946円
負債総額	56,761,647円
純資産総額（ - ）	13,356,399,299円
発行済口数	2,539,374,419口
1口当たり純資産額（ / ）	5.2597円

アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド

純資産額計算書

資産総額	4,240,036,041円
負債総額	27円
純資産総額（ - ）	4,240,036,014円
発行済口数	397,462,050口
1口当たり純資産額（ / ）	10.6678円

海外債券グローバル・ラップマザーファンド

純資産額計算書

資産総額	10,027,134,624円
負債総額	148,540,440円
純資産総額（ - ）	9,878,594,184円
発行済口数	3,548,093,989口
1口当たり純資産額（ / ）	2.7842円

第4【内国投資信託受益証券事務の概要】

（1）名義書換

受益者は、委託会社がやむを得ない事情などにより受益証券を発行する場合を除き、無記名式受益証券から記名式受益証券への変更の請求、記名式受益証券から無記名式受益証券への変更の請求を行なわないものとします。

（2）受益者に対する特典

該当事項はありません。

（3）譲渡制限の内容

譲渡制限はありません。

受益権の譲渡

- ・受益者は、その保有する受益権を譲渡する場合には、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等に振替の申請をするものとします。
- ・前述の申請のある場合には、振替機関等は、当該譲渡に係る譲渡人の保有する受益権の口数の減少および譲受人の保有する受益権の口数の増加につき、その備える振替口座簿に記載または記録するものとします。ただし、振替機関等が振替先口座を開設したものでない場合には、譲受人の振替先口座を開設した他の振替機関等（当該他の振替機関等の上位機関を含みます。）に社債、株式等の振替に関する法律の規定にしたがい、譲受人の振替先口座に受益権の口数の増加の記載または記録が行なわれるよう通知するものとします。
- ・前述の振替について、委託会社は、当該受益者の譲渡の対象とする受益権が記載または記録されている振替口座簿に係る振替機関等と譲受人の振替先口座を開設した振替機関等が異なる場合などにおいて、委託会社が必要と認めるときまたはやむを得ない事情があると判断したときは、振替停止日や振替停止期間を設けることができます。

受益権の譲渡の対抗要件

受益権の譲渡は、振替口座簿への記載または記録によらなければ、委託会社および受託会社に対抗することができません。

（4）受益証券の再発行

受益者は、委託会社がやむを得ない事情などにより受益証券を発行する場合を除き、受益証券の再発行の請求を行なわないものとします。

（5）受益権の再分割

委託会社は、受託会社と協議のうえ、社債、株式等の振替に関する法律に定めるところにしたがい、一定日現在の受益権を均等に再分割できるものとします。

（6）質権口記載または記録の受益権の取扱いについて

振替機関等の振替口座簿の質権口に記載または記録されている受益権にかかる収益分配金の支払い、解約請求の受付、解約金および償還金の支払いなどについては、約款の規定によるほか、民法その他の法令などにしたがって取り扱われます。

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

(1) 資本金の額

2023年1月末現在	資本金	17,363,045,900円
	発行可能株式総数	230,000,000株
	発行済株式総数	197,012,500株

過去5年間における主な資本金の増減：該当事項はありません。

(2) 会社の意思決定機関（2023年1月末現在）

・株主総会

株主総会は、取締役の選任および定款変更に係る決議などの株式会社の基本的な方針や重要な事項の決定を行ないます。

当社は、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された議決権を有する株主をもって、その事業年度に関する定時株主総会において、その権利を行使することができる株主とみなし、毎年3月31日（事業年度の終了）から3ヶ月以内にこれを招集し、臨時株主総会は必要に応じてこれを招集します。

・取締役会

取締役会は、業務執行の決定を行い、取締役の職務の執行の監督をします。また、取締役会の決議によって重要な業務執行（会社法第399条の13第5項各号に掲げる事項を除く。）の決定の全部又は一部を取締役に委任することができます。

当社の取締役会は10名以内の取締役（監査等委員である取締役を除く。）及び5名以内の監査等委員である取締役で構成され、取締役（監査等委員である取締役を除く。）の任期は選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとします。取締役会はその決議をもって、取締役（監査等委員である取締役を除く。）の中から、代表取締役若干名を選定します。

・監査等委員会

当社の監査等委員会は、5名以内の監査等委員である取締役で構成され、監査等委員である取締役の任期は選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとします。監査等委員会は、その決議をもって、監査等委員の中から、常勤の監査等委員を選定します。

(3) 運用の意思決定プロセス（2023年1月末現在）

1. 投資委員会にて、国内外の経済見通し、市況見通しおよび資産配分の基本方針を決定します。
2. 各運用部門は、投資委員会の決定に基づき、個別資産および資産配分戦略に係る具体的な運用方針を策定します。
3. 各運用部門のファンドマネージャーは、上記方針を受け、個別ファンドのガイドラインおよびそれぞれの運用方針に沿って、ポートフォリオを構築・管理します。
4. トレーディング部門は、社会的信用力、情報提供力、執行対応力において最適と判断し得る発注業者、発注方針などを決定します。その上で、トレーダーは、最良執行のプロセスに則り売買を執行します。
5. 運用状況の評価・分析および運用リスク（流動性リスクを含む）の管理ならびに法令など遵守状況のモニタリングについては、運用部門から独立したリスク管理/コンプライアンス業務担当部門が担当し、これを運用部門にフィードバックすることにより、適切な運用体制を維持できるように努めています。

2【事業の内容及び営業の概況】

- ・「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行なうとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行なっています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務を行なっています。
- ・委託会社の運用する、2023年1月末現在の投資信託などは次の通りです。

種 類	ファンド本数	純資産額 (単位：億円)
投資信託総合計	860	239,019
株式投資信託	802	202,540
単位型	317	9,769
追加型	485	192,771
公社債投資信託	58	36,478
単位型	45	1,145
追加型	13	35,333

3【委託会社等の経理状況】

1. 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の規定に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年8月6日内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

また、当社の中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに同規則第38条及び第57条に基づき、「金融商品取引業等に関する内閣府令」に基づいて作成しております。

2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第63期事業年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

また、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第64期中間会計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の中間財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により中間監査を受けております。

(1)【貸借対照表】

(単位：百万円)

	第62期 (2021年3月31日)		第63期 (2022年3月31日)	
資産の部				
流動資産				
現金・預金		24,698		42,427
有価証券		17		170
前払費用		785		932
未収入金		225		96
未収委託者報酬		24,738		25,193
未収収益	3	891	3	1,048
関係会社短期貸付金		2,403		5,005
立替金		930		1,056
その他	2	361	2	998
流動資産合計		55,053		76,928
固定資産				
有形固定資産				
建物	1	245	1	244
器具備品	1	190	1	153
有形固定資産合計		436		397
無形固定資産				
ソフトウェア		241		335

無形固定資産合計	241	335
投資その他の資産		
投資有価証券	22,903	23,969
関係会社株式	25,987	22,366
長期差入保証金	678	652
繰延税金資産	1,845	3,678
投資その他の資産合計	51,414	50,667
固定資産合計	52,092	51,399
資産合計	107,145	128,328

(単位：百万円)

	第62期 (2021年3月31日)		第63期 (2022年3月31日)
負債の部			
流動負債			
預り金	844		651
未払金	9,834		9,693
未払収益分配金	8		7
未払償還金	71		71
未払手数料	8,956		8,783
その他未払金	798		831
未払費用	3	4,660	3
未払法人税等		1,090	
未払消費税等	4	775	4
賞与引当金		3,034	
役員賞与引当金		55	
訴訟損失引当金		-	
その他		643	
流動負債合計		20,938	
固定負債			
退職給付引当金		1,456	
賞与引当金		156	
その他		544	
固定負債合計		2,157	
負債合計		23,095	
純資産の部			
株主資本			
資本金		17,363	
資本剰余金			
資本準備金		5,220	
資本剰余金合計		5,220	
利益剰余金			
その他利益剰余金			
繰越利益剰余金		61,956	
利益剰余金合計		61,956	
自己株式		2,067	
株主資本合計		82,472	
評価・換算差額等			
その他有価証券評価差額金		1,461	

繰延ヘッジ損益	115	731
評価・換算差額等合計	1,577	1,618
純資産合計	84,049	91,035
負債純資産合計	107,145	128,328

(2)【損益計算書】

	(単位：百万円)	
	第62期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	第63期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業収益		
委託者報酬	78,975	94,938
その他営業収益	3,973	4,743
営業収益合計	82,948	99,682
営業費用		
支払手数料	34,050	42,026
広告宣伝費	953	987
公告費	1	1
調査費	17,813	23,000
調査費	966	1,042
委託調査費	16,825	21,932
図書費	22	25
委託計算費	545	598
営業雑経費	1,053	1,014
通信費	174	143
印刷費	331	308
協会費	51	52
諸会費	11	13
その他	483	494
営業費用計	54,419	67,628
一般管理費		
給料	10,383	11,759
役員報酬	243	156
役員賞与引当金繰入額	55	5
給料・手当	6,766	7,229
賞与	159	143
賞与引当金繰入額	3,158	4,225
交際費	14	22
寄付金	30	29
旅費交通費	57	66
租税公課	485	429
不動産賃借料	939	937
退職給付費用	388	394
退職金	10	169
固定資産減価償却費	138	172
福利費	1,084	1,171
諸経費	4,286	3,888
一般管理費計	17,817	19,042
営業利益	10,711	13,010

(単位：百万円)

	第62期		第63期	
	(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
営業外収益				
受取利息		75		71
受取配当金	1	2,555	1	5,257
有価証券償還益		14		-
時効成立分配金・償還金		1		1
為替差益		-		1,548
その他		62		58
営業外収益合計		2,710		6,936
営業外費用				
支払利息		122		177
デリバティブ費用		804		49
時効成立後支払分配金・償還金		25		9
為替差損		59		-
その他		42		39
営業外費用合計		1,054		275
経常利益		12,367		19,672
特別利益				
投資有価証券売却益		774		253
子会社有償減資払戻益		-		1,445
その他		0		-
特別利益合計		774		1,699
特別損失				
投資有価証券売却損		237		132
投資有価証券評価損		5		-
固定資産処分損		0		0
役員退職一時金		125		-
訴訟損失引当金繰入額		-		7,847
特別損失合計		369		7,980
税引前当期純利益		12,773		13,391
法人税、住民税及び事業税		3,722		3,435
法人税等還付税額		-	2	329
法人税等調整額		373		1,851
法人税等合計		3,348		1,255
当期純利益		9,424		12,136

(3) 【株主資本等変動計算書】

第62期（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計		
				繰越利益 剰余金			
当期首残高	17,363	5,220	5,220	55,395	55,395	905	77,073
当期変動額							

剰余金の配当				2,862	2,862		2,862
当期純利益				9,424	9,424		9,424
自己株式の取得						1,161	1,161
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）							
当期変動額合計	-	-	-	6,561	6,561	1,161	5,399
当期末残高	17,363	5,220	5,220	61,956	61,956	2,067	82,472

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・ 換算差額 等合計	
当期首残高	60	389	329	77,402
当期変動額				
剰余金の配当				2,862
当期純利益				9,424
自己株式の取得				1,161
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	1,521	273	1,247	1,247
当期変動額合計	1,521	273	1,247	6,647
当期末残高	1,461	115	1,577	84,049

第63期（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本						株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	17,363	5,220	5,220	61,956	61,956	2,067	82,472
当期変動額							
剰余金の配当				5,191	5,191		5,191
当期純利益				12,136	12,136		12,136
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）							
当期変動額合計	-	-	-	6,944	6,944	-	6,944
当期末残高	17,363	5,220	5,220	68,901	68,901	2,067	89,417

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・ 換算差額 等合計	
当期首残高	1,461	115	1,577	84,049
当期変動額				
剰余金の配当				5,191
当期純利益				12,136
自己株式の取得				

株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	889	847	41	41
当期変動額合計	889	847	41	6,985
当期末残高	2,350	731	1,618	91,035

[注記事項]

(重要な会計方針)

項目	第63期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)					
	1 資産の評価基準及び評価方法	<p>(1) 有価証券</p> <p>子会社株式及び関連会社株式 総平均法による原価法 その他有価証券 市場価格のない株式等以外のもの 時価法(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、総平均法により算定) 市場価格のない株式等 総平均法による原価法</p> <p>(2) デリバティブ 時価法</p>				
2 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産 定率法により償却しております。ただし、2016年4月1日以後に取得した建物 附属設備については、定額法を採用しております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。</p> <table border="0"> <tr> <td>建物</td> <td>3年～15年</td> </tr> <tr> <td>器具備品</td> <td>3年～20年</td> </tr> </table> <p>(2) 無形固定資産 定額法により償却しております。ただし、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。</p>		建物	3年～15年	器具備品	3年～20年
建物	3年～15年					
器具備品	3年～20年					
3 引当金の計上基準	<p>(1) 賞与引当金 従業員に支給する賞与の支払に充てるため、支払見込額に基づき、当事業年度の負担額を計上しております。</p> <p>(2) 役員賞与引当金 役員に支給する賞与の支払に充てるため、支払見込額に基づき、当事業年度の負担額を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、計上しております。</p> <p>退職給付見込額の期間帰属方法 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。</p> <p>数理計算上の差異の費用処理方法 数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。</p> <p>(4) 訴訟損失引当金 訴訟による損失に備えるため、損失見込額を計上しております。</p>					

4 収益の計上基準	<p>当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行業務の内容及び当該履行業務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。</p> <p>(1) 投資信託委託業務</p> <p>当社は、投資信託契約に基づき投資信託商品に関する投信委託サービスを提供し、商品の運用資産残高（以下「AUM」）に応じて手数料を受領しております。サービスの提供を通じて得られる投資信託報酬は、各ファンドのAUMに固定料率を乗じて毎日計算され、日次で収益を認識しております。</p> <p>(2) 投資顧問業務</p> <p>当社は、投資顧問契約に基づき機関投資家に投資顧問サービスを提供し、ファンドのAUMに応じて手数料を受領しております。サービスの提供を通じて得られる投資顧問報酬は、一般的に各ファンドのAUMに投資顧問契約で定められた固定料率を乗じて毎月計算され、月次で収益を認識しております。</p> <p>(3) 成功報酬</p> <p>当社がファンドの運用成果に応じて受領する成功報酬は、投資信託契約または投資顧問契約のもと、報酬を受領することが確実であり、将来返還する可能性が無いことが判明した時点で収益を認識しております。</p>
5 ヘッジ会計の方法	<p>(1) ヘッジ会計の方法</p> <p>繰延ヘッジ処理によっております。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象</p> <p>ヘッジ手段は為替予約、ヘッジ対象は投資有価証券であります。</p> <p>(3) ヘッジ方針</p> <p>ヘッジ取引規程等に基づき、ヘッジ対象に係る為替変動リスクをヘッジしております。</p> <p>(4) ヘッジ有効性評価の方法</p> <p>ヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間における相場変動によるヘッジ手段及びヘッジ対象資産に係る損益の累計を比較し有効性を評価しております。</p>
6 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>消費税等の会計処理</p> <p>資産に係る控除対象外消費税及び地方消費税は、当事業年度の費用として処理しております。</p>

(会計方針の変更)

<p>第63期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)</p>
<p>(収益認識に関する会計基準の適用)</p> <p>「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。</p> <p>収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当事業年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当事業年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。収益認識会計基準等の適用による、当財務諸表に与える影響はありません。</p> <p>(時価の算定に関する会計基準の適用)</p> <p>「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44 - 2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、当財務諸表に与える影響はありません。</p> <p>また、「金融商品関係」注記において、金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項等の注記を行うこととしました。ただし、「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第19号 2019年7月4日)第7 - 4項に定める経過的な取扱いに従って、当該注記のうち前事業年度に係るものについては、記載しておりません。</p>

（未適用の会計基準等）

- ・ 「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日）
- (1) 概要
投資信託の時価の算定及び注記に関する取扱い並びに貸借対照表に持分相当額を純額で計上する組合等への出資の時価の注記に関する取扱いが定められました。
 - (2) 適用予定日
2023年3月期の期首より適用予定であります。
 - (3) 当該会計基準等の適用による影響
当該適用指針の適用が財務諸表に及ぼす影響は、現時点で評価中であります。

（重要な会計上の見積り）

第63期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

- 1 当事業年度の財務諸表に計上した金額
訴訟損失引当金を7,847百万円計上しております。
- 2 会計上の見積りの内容に関する理解に資する情報
 - (1) 当事業年度の財務諸表に計上した金額の算出方法
訴訟について将来発生しうる損失の見込額を算出し、訴訟損失引当金として計上しています。
 - (2) 当事業年度の財務諸表に計上した金額の算出に用いた主要な仮定
原告が主張する損害額に基づき、将来発生することが予想される損失の見積を行っています。
 - (3) 翌事業年度の財務諸表に与える影響
当社では、現在までに想定しうる最善の仮定に基づき訴訟損失引当金を計上しておりますが、今後の経過により、翌事業年度において訴訟損失引当金の追加計上または取り崩しを行う可能性があります。

（貸借対照表関係）

第62期 (2021年3月31日)	第63期 (2022年3月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額 建物 1,349百万円 器具備品 764百万円	1 有形固定資産の減価償却累計額 建物 1,390百万円 器具備品 823百万円
2 信託資産 流動資産のその他のうち2百万円は、「直販顧客 分別金信託契約」により、野村信託銀行株式会社に 信託しております。	2 信託資産 流動資産のその他のうち2百万円は、「直販顧客 分別金信託契約」により、野村信託銀行株式会社に 信託しております。
3 関係会社に対する資産及び負債は次のとおりで あります。 (流動資産) 未収収益 257百万円 (流動負債) 未払費用 1,247百万円	3 関係会社に対する資産及び負債は次のとおりで あります。 (流動資産) 未収収益 233百万円 (流動負債) 未払費用 2,314百万円
4 消費税等の取扱い 仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、 「未払消費税等」として表示しております。	4 消費税等の取扱い 仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、 「未払消費税等」として表示しております。
	5 保証債務 ティンダルエクイティーズ・オーストラリア・ ピーティーワイ・リミテッド（旧社名「日興AMエ クイティーズ・オーストラリア・ピーティーワイ・ リミテッド」）が発行する買戻し条件付株式の買戻 請求に関する債務について、ヤラ・キャピタル・マ ネジメント・リミテッドは最大5百万豪ドルを提供 する義務を負っています。当社はヤラ・キャピタ ル・マネジメント・リミテッドが負う当該資金提供 義務を保証しております。

（損益計算書関係）

第62期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	第63期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1 各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。 受取配当金 2,498百万円	1 各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。 受取配当金 5,194百万円 2 法人税等還付税額 過年度の取引に関する法人税等の還付金相当額を計上しています。

(株主資本等変動計算書関係)

第62期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式(株)	197,012,500	-	-	197,012,500

2 自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式(株)	1,454,500	1,405,500	-	2,860,000

(変動事由の概要)

2020年3月25日の取締役会決議による自己株式の取得	594,300株
2020年7月17日の取締役会決議による自己株式の取得	811,200株

3 新株予約権等に関する事項

新株予約権の内訳	新株予約権の目的となる株式の種類	新株予約権の目的となる株式の数(株)				当事業年度末残高(百万円)
		当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末	
2011年度ストックオプション(1)	普通株式	1,184,700	-	752,400	432,300	-
2016年度ストックオプション(1)	普通株式	1,346,000	-	330,000	1,016,000	-
2016年度ストックオプション(2)	普通株式	2,394,000	-	622,000	1,772,000	-
2017年度ストックオプション(1)	普通株式	2,939,000	-	332,000	2,607,000	-
合計		7,863,700	-	2,036,400	5,827,300	-

(注) 1 当事業年度の減少は、新株予約権の失効等によるものであります。

2 2011年度ストックオプション(1)432,300株、2016年度ストックオプション(1)1,016,000株、2016年度ストックオプション(2)1,088,000株及び2017年度ストックオプション(1)874,000株は、当事業年度末現在、権利行使期間の初日が到来しておりますが、他の条件が満たされていないため新株予約権を行使することができません。また、2016年度ストックオプション(2)684,000株及び2017年度ストックオプション(1)1,733,000株は、権利行使期間の初日が到来していません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(百万円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年6月12日取締役会	普通株式	2,862	14.64	2020年3月31日	2020年7月1日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額(百万円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2021年5月25日取締役会	普通株式	利益剰余金	5,191	26.74	2021年3月31日	2021年6月29日

第63期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式(株)	197,012,500	-	-	197,012,500

2 自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式(株)	2,860,000	-	-	2,860,000

3 新株予約権等に関する事項

新株予約権の内訳	新株予約権の目的となる株式の種類	新株予約権の目的となる株式の数(株)				当事業年度末残高(百万円)
		当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末	
2011年度 ストックオプション(1)	普通株式	432,300	-	432,300	-	-
2016年度 ストックオプション(1)	普通株式	1,016,000	-	928,000	88,000	-
2016年度 ストックオプション(2)	普通株式	1,772,000	-	956,000	816,000	-
2017年度 ストックオプション(1)	普通株式	2,607,000	-	1,071,000	1,536,000	-
合計		5,827,300	-	3,387,300	2,440,000	-

(注) 1 当事業年度の減少は、新株予約権の失効等によるものであります。

2 2016年度ストックオプション(1)88,000株、2016年度ストックオプション(2)816,000株及び2017年度ストックオプション(1)847,000株は、当事業年度末現在、権利行使期間の初日が到来しておりますが、他の条件が満たされていないため新株予約権を行使することができません。また、2017年度ストックオプション(1)689,000株は、権利行使期間の初日が到来しておりません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(百万円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2021年5月25日 取締役会	普通株式	5,191	26.74	2021年3月31日	2021年6月29日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌事業年度となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額(百万円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2022年5月27日 取締役会	普通株式	利益剰余金	7,420	38.22	2022年3月31日	2022年6月27日

(リース取引関係)

第62期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)		第63期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	
オペレーティング・リース取引 解約不能のものに係る未経過リース料		オペレーティング・リース取引 解約不能のものに係る未経過リース料	
1年内	911百万円	1年内	911百万円
1年超	5,236百万円	1年超	4,324百万円
合計	6,148百万円	合計	5,236百万円

(金融商品関係)

第62期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自社が運用する投資信託の商品性維持を目的として、当該投資信託を有価証券及び投資有価証券として保有しております。当社が行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託に係る将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、有価証券及び投資有価証券保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

また、資金運用については短期的な預金等に限定しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

預金に関しては10数行に分散して預入れしておりますが、これら金融機関の破綻及び債務不履行等による信用リスクに晒されております。営業債権である未収委託者報酬及び未収収益に関しては、それらの源泉である預り純資産を数行の信託銀行に分散して委託しておりますが、信託銀行はその受託資産を自己勘定と分別して管理しているため、仮に信託銀行が破綻又は債務不履行等となった場合でも、これら営業債権が信用リスクに晒されることは無いと考えております。また、グローバルに事業を展開していることから生じている外貨建ての営業債権は、為替の変動リスクに晒されます。有価証券及び投資有価証券は、主に自己で設定した投資信託へのシ・ドマネ・の投入によるものであります。これら投資信託の投資対象は株式、公社債等のため、価格変動リスクや信用リスク、流動性リスク、為替変動リスクに晒されておりますが、それらの一部については為替予約、株価指数先物等のデリバティブ取引により、リスクをヘッジしております。なお、為替変動リスクに係るヘッジについてはヘッジ会計（繰延ヘッジ）を適用しております。デリバティブ取引は、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しております。なお、ヘッジ会計に関するヘッジ手段とヘッジ対象、ヘッジ方針、ヘッジ有効性評価の方法等については、前述の「重要な会計方針「5 ヘッジ会計の方法」」をご参照下さい。

営業債務である未払金（未払手数料）、未払費用に関しては、すべてが1年以内の支払期日であります。未払金（未払手数料）については、債権（未収委託者報酬）を資金回収した後に、販売会社へ当該債務を支払うフローとなっているため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。また未払費用のうち運用再委託先への顧問料支払に係るものについてもほとんどのものが、未払金同様のフローのため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。それ以外の営業費用及び一般管理費に係る未払費用に関しては、流動性リスクに晒されており、一部は外貨建て債務があるため、為替の変動リスクにも晒されております。

上記以外の外貨建ての債権及び債務に関しては、為替変動リスクに晒されておりますが、一部為替予約によりリスクをヘッジしております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

当社は、預金の預入れやデリバティブ取引を行う金融機関の選定に関しては、相手方の財政状態及び経営成績、又は必要に応じて格付等を考慮した上で決定しております。また既に取引が行われている相手方に関しても、定期的に継続したモニタリングを行うことで、相手方の財務状況の悪化等による信用リスクを早期に把握することで、リスクの軽減を図っております。

市場リスク（為替や価格等の変動リスク）の管理

当社は、原則、有価証券及び投資有価証券以外の為替変動や価格変動に係るリスクに対して、ヘッジ取引を行っておりません。外貨建ての営業債権債務について、月次ベースで為替変動リスクを測定し、モニタリングを実施しております。また、有価証券及び投資有価証券に関しては、一部について、為替変動リスクや価格変動リスクを回避する目的でデリバティブ取引を行っております。毎月末にそれぞれの時価を算出し、評価損益（ヘッジ対象の有価証券及び投資有価証券は、ヘッジ損益考慮後の評価損益）を把握しております。また、市場の変動等に基づき、今後の一定期間において特定の確率で、金融商品に生じ得る損失額の推計値を把握するため、バリュ・アット・リスクを用いた市場リスク管理を週次ベースで実施しております。さらに、外貨建ての貸付金に関しては、為替変動リスクを回避する目的でデリバティブ取引を行っております。

流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

当社は、日々資金残高管理を行っております。また、適時に資金繰予定表を作成・更新するとともに、手許流動性（最低限必要な運転資金）を状況に応じて見直し・維持すること等により、流動性リスクを管理しております。

2 金融商品の時価等に関する事項

2021年3月31日（当事業年度の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

（単位：百万円）

	貸借対照表 計上額(1)	時価(1)	差額
(1) 現金・預金	24,698	24,698	-
(2) 未収委託者報酬	24,738	24,738	-
(3) 未収収益	891	891	-
(4) 関係会社短期貸付金	2,403	2,403	-
(5) 有価証券及び投資有価証券 その他有価証券	22,905	22,905	-
(6) 未払金	(9,834)	(9,834)	-
(7) 未払費用	(4,660)	(4,660)	-
(8) デリバティブ取引(2)			
ヘッジ会計が適用されていないもの	(188)	(188)	-
ヘッジ会計が適用されているもの	(453)	(453)	-

デリバティブ取引計	(642)	(642)	-
-----------	-------	-------	---

(1)負債に計上されているものについては、()で示しております。

(2)デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しております。

(注) 1 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券及びデリバティブ取引に関する事項

(1) 現金・預金、(2) 未収委託者報酬、(3) 未収収益並びに(4) 関係会社短期貸付金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(5) 有価証券及び投資有価証券

投資信託は基準価額によっております。

(6) 未払金及び(7) 未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(8) デリバティブ取引

(デリバティブ取引関係)注記を参照ください。なお、上記金額は貸借対照表上流動負債のその他に含まれております。

2 非上場株式等(貸借対照表計上額16百万円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(5)有価証券及び投資有価証券 其他有価証券」には含めておりません。

3 子会社株式(貸借対照表計上額23,094百万円)及び関連会社株式(貸借対照表計上額2,892百万円)は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上記の表には含めておりません。

4 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位:百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	24,698	-	-	-
未収委託者報酬	24,738	-	-	-
未収収益	891	-	-	-
有価証券及び投資有価証券 投資信託	17	812	10,348	20
合計	50,346	812	10,348	20

第63期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資信託の運用を業として行っており、自社が運用する投資信託の商品性維持を目的として、当該投資信託を有価証券及び投資有価証券として保有しております。当社が行っているデリバティブ取引については、保有する投資信託に係る将来の為替及び価格の変動によるリスクの軽減を目的としているため、有価証券及び投資有価証券保有残高の範囲内で行うこととし、投機目的のためのデリバティブ取引は行わない方針であります。

また、資金運用については短期的な預金等に限定しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

預金に関しては10数行に分散して預入れしておりますが、これら金融機関の破綻及び債務不履行等による信用リスクに晒されております。営業債権である未収委託者報酬及び未収収益に関しては、それらの源泉である預り純資産を数行の信託銀行に分散して委託しておりますが、信託銀行はその受託資産を自己勘定と分別して管理しているため、仮に信託銀行が破綻又は債務不履行等となった場合でも、これら営業債権が信用リスクに晒されることは無いと考えております。また、グローバルに事業を展開していることから生じている外貨建ての営業債権は、為替の変動リスクに晒されます。有価証券及び投資有価証券は、主に自己で設定した投資信託へのシードマネーの投入によるものであります。これら投資信託の投資対象は株式、公社債等のため、価格変動リスクや信用リスク、流動性リスク、為替変動リスクに晒されておりますが、それらの一部については為替予約、株価指数先物等のデリバティブ取引により、リスクをヘッジしております。なお、為替変動リスクに係るヘッジについてはヘッジ会計(繰延ヘッジ)を適用しております。デリバティブ取引は、取引相手先として高格付を有する金融機関に限定しております。なお、ヘッジ会計に関するヘッジ手段とヘッジ対象、ヘッジ方針、ヘッジ有効性評価の方法等については、前述の「重要な会計方針「5 ヘッジ会計の方法」」をご参照下さい。

営業債務である未払金(未払手数料)、未払費用に関しては、すべてが1年以内の支払期日であります。未払金(未払手数料)については、債権(未収委託者報酬)を資金回収した後に、販売会社へ当該債務を支払うフローとなっているため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。また未払費用のうち運用再委託先への顧問料支払に係るものについてもほとんどのものが、未払金同様のフローのため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。それ以外の営業費用及び一般管理費に係る未

払費用に関しては、流動性リスクに晒されており、一部は外貨建て債務があるため、為替の変動リスクにも晒されています。

上記以外の外貨建ての債権及び債務に関しては、為替変動リスクに晒されていますが、一部為替予約によりリスクをヘッジしております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

当社は、預金の預入れやデリバティブ取引を行う金融機関の選定に関しては、相手方の財政状態及び経営成績、又は必要に応じて格付等を考慮した上で決定しております。また既に取引が行われている相手方に関して、定期的に継続したモニタリングを行うことで、相手方の財務状況の悪化等による信用リスクを早期に把握することで、リスクの軽減を図っております。

市場リスク（為替や価格等の変動リスク）の管理

当社は、原則、有価証券及び投資有価証券以外の為替変動や価格変動に係るリスクに対して、ヘッジ取引を行っておりません。外貨建ての営業債権債務について、月次ベースで為替変動リスクを測定し、モニタリングを実施しております。また、有価証券及び投資有価証券に関しては、一部について、為替変動リスクや価格変動リスクを回避する目的でデリバティブ取引を行っております。毎月末にそれぞれの時価を算出し、評価損益（ヘッジ対象の有価証券及び投資有価証券は、ヘッジ損益考慮後の評価損益）を把握しております。また、市場の変動等に基づき、今後の一定期間において特定の確率で、金融商品に生じ得る損失額の推計値を把握するため、バリュ・アット・リスクを用いた市場リスク管理を週次ベースで実施しております。さらに、外貨建ての貸付金に関しては、為替変動リスクを回避する目的でデリバティブ取引を行っております。

流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

当社は、日々資金残高管理を行っております。また、適時に資金繰予定表を作成・更新するとともに、手許流動性（最低限必要な運転資金）を状況に応じて見直し・維持すること等により、流動性リスクを管理しております。

2 金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びレベルごとの内訳等については、次のとおりであります。なお、企業会計基準適用指針第31号「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2019年7月4日。以下、「時価算定適用指針」という。）第26項に従い経過措置を適用した投資信託及び市場価格のない株式等は、次表には含めておりません。

また、金融商品の時価は、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下3つのレベルに分類しております。

- レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価
- レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価
- レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価をもって貸借対照表価額とする金融資産及び金融負債

（単位：百万円）

	貸借対照表計上額（*4）			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計
デリバティブ取引（*1）				
株式関連（*2）	262	-	-	262
通貨関連（*3）	-	1,066	-	1,066
デリバティブ取引計	262	1,066	-	1,329

- （1）デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、で示しております。
- （2）株式関連のデリバティブ取引のうち 262百万円は、貸借対照表上流動負債のその他に含まれております。
- （3）通貨関連のデリバティブ取引の 1,066百万円は、貸借対照表上流動負債のその他に含まれております。
- （4）時価算定適用指針に従い、経過措置を適用した投資信託は上記に含めておりません。貸借対照表における当該投資信託の金額は有価証券に170百万円、投資有価証券に23,952百万円となります。

(2) 時価をもって貸借対照表価額としない金融資産及び金融負債

現金・預金、未収委託者報酬、未収収益、関係会社短期貸付金、未払金及び未払費用は、短期間（1年以内）で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

（注1）時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

デリバティブ取引
株式関連

株式指数先物取引は活発な市場における無調整の相場価格を利用できることから、その時価をレベル1に分類しております。

通貨関連

為替予約の時価は、金利や為替レート等の観察可能なインプットを用いて割引現在価値法により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

(注2) 市場価格のない株式等の貸借対照表計上額は次のとおりであります。

(単位：百万円)

区分	貸借対照表計上額
非上場株式	16
子会社株式	17,183
関連会社株式	5,183

3 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超
現金・預金	42,427			
未収委託者報酬	25,193			
未収収益	1,048			
有価証券及び投資有価証券 投資信託	170	345	8,874	19
合計	68,839	345	8,874	19

(有価証券関係)

第62期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 子会社株式及び関連会社株式

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額
子会社株式	23,094
関連会社株式	2,892

(注) 子会社株式及び関連会社株式は市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、時価を記載しておりません。

2 その他有価証券

(単位：百万円)

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	投資信託	16,914	14,476	2,438
	小計	16,914	14,476	2,438
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	投資信託	5,990	6,322	332
	小計	5,990	6,322	332
合計		22,905	20,799	2,105

(注) 1 減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合にはすべて減損処理を行い、30%～50%程度下落した場合には、当該金額の重要性、回復可能性等を考慮して必要と認められた額について減損処理を行っております。当事業年度において、有価証券について5百万円(その他有価証券の投資信託)減損処理を行っております。

2 非上場株式等(貸借対照表計上額 16百万円)については、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3 当事業年度中に売却したその他有価証券

(単位：百万円)

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
投資信託	5,735	774	237
合計	5,735	774	237

第63期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1 子会社株式及び関連会社株式

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額
子会社株式	17,183
関連会社株式	5,183

(注) 子会社株式及び関連会社株式は市場価格のない株式等であるため、時価を記載しておりません。

2 その他有価証券

(単位：百万円)

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	投資信託	20,934	17,366	3,568
	小計	20,934	17,366	3,568
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	投資信託	3,188	3,369	180
	小計	3,188	3,369	180
合計		24,123	20,735	3,387

(注) 1 減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合にはすべて減損処理を行い、30%～50%程度下落した場合には、当該金額の重要性、回復可能性等を考慮して必要と認められた額について減損処理を行っております。

2 非上場株式等(貸借対照表計上額 16百万円)については、市場価格のない株式等であることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3 当事業年度中に売却したその他有価証券

(単位：百万円)

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
投資信託	3,079	253	132
合計	3,079	253	132

(デリバティブ取引関係)

第62期(2021年3月31日)

1 ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(1) 株式関連

種類		契約額等 (百万円)	契約額等 のうち1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引	株価指数先物取引				
	売建	2,670	-	75	75
	買建	-	-	-	-
合計		2,670	-	75	75

(注) 1 上記取引については時価評価を行い、評価損益は損益計算書に計上しております。

2 時価の算定方法

金融商品取引所が定める清算指数によっております。

(2) 通貨関連

種類		契約額等 (百万円)	契約額等 のうち1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引以外 の取引	為替予約取引 売建 米ドル	1,713	-	112	112
合計		1,713	-	112	112

(注) 1 時価の算定方法

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しております。

2 ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引
通貨関連

ヘッジ会計の 方法	デリバティブ取引の 種類等	主なヘッジ対象	契約額等 (百万円)	契約額等 のうち1年超 (百万円)	時価 (百万円)
原則的処理 方法	為替予約取引 売建	投資有価証券			
	米ドル		4,620	-	273
	香港ドル		862	-	57
	人民元		1,684	-	117
	ユーロ		180	-	5
合計			7,347	-	453

(注) 1 時価の算定方法

取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しております。

第63期(2022年3月31日)

1 ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(1) 株式関連

種類		契約額等 (百万円)	契約額等 のうち1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引	株価指数先物取引				
	売建	2,306	-	262	262
	買建	-	-	-	-
合計		2,306	-	262	262

(注) 1 上記取引については時価評価を行い、評価損益は損益計算書に計上しております。

2 時価の算定方法

金融商品取引所が定める清算指数によっております。

(2) 通貨関連

種類		契約額等 (百万円)	契約額等 のうち1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引以外 の取引	為替予約取引 売建 米ドル	4,708	-	293	293
合計		4,708	-	293	293

(注) 1 時価の算定方法
取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しております。

2 ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引 通貨関連

ヘッジ会計の方法	デリバティブ取引の種類等	主なヘッジ対象	契約額等 (百万円)	契約額等 のうち1年超 (百万円)	時価 (百万円)
原則的処理 方法	為替予約取引 売建	投資有価証券			
	米ドル		5,445	-	367
	豪ドル		222	-	20
	香港ドル		1,097	-	59
	人民元		5,185	-	324
	ユーロ		35	-	0
	合計		11,986	-	772

(注) 1 時価の算定方法
取引先金融機関から提示された価格等に基づき算定しております。

(持分法損益等)

第62期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	第63期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
関連会社に持分法を適用した場合の投資損益等 (単位：百万円)	関連会社に持分法を適用した場合の投資損益等 (単位：百万円)
(1) 関連会社に対する投資の金額 3,010	(1) 関連会社に対する投資の金額 5,312
(2) 持分法を適用した場合の投資の金額 12,258	(2) 持分法を適用した場合の投資の金額 15,942
(3) 持分法を適用した場合の投資利益の金額 2,751	(3) 持分法を適用した場合の投資利益の金額 1,964

(退職給付関係)

第62期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定拠出型企業年金制度及びキャッシュバランスプラン型退職金制度を設けております。

2 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	(百万円)
退職給付債務の期首残高	1,363
勤務費用	142
利息費用	2
数理計算上の差異の発生額	6
退職給付の支払額	86
退職給付債務の期末残高	1,429

(2) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

退職給付債務	1,429
未積立退職給付債務	1,429
未認識数理計算上の差異	27
貸借対照表に計上された負債の額	1,456
退職給付引当金	1,456

貸借対照表に計上された負債の額	1,456
-----------------	-------

(3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	142
利息費用	2
数理計算上の差異の費用処理額	2
確定給付制度に係る退職給付費用	147

(4) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎 割引率	0.2%
--------------------------------	------

3 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、240百万円でありました。

第63期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定拠出型企業年金制度及びキャッシュバランスプラン型退職金制度を設けております。

2 確定給付制度

(1) 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	(百万円)
退職給付債務の期首残高	1,429
勤務費用	143
利息費用	2
数理計算上の差異の発生額	12
退職給付の支払額	211
退職給付債務の期末残高	1,352

(2) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

退職給付債務	1,352
未積立退職給付債務	1,352
未認識数理計算上の差異	43
貸借対照表に計上された負債の額	1,395
退職給付引当金	1,395
貸借対照表に計上された負債の額	1,395

(3) 退職給付費用及びその内訳項目の金額

勤務費用	143
利息費用	2
数理計算上の差異の費用処理額	3
確定給付制度に係る退職給付費用	150

(4) 数理計算上の計算基礎に関する事項

当事業年度末における主要な数理計算上の計算基礎 割引率	0.3%
--------------------------------	------

3 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、244百万円でありました。

(ストックオプション等関係)

第62期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 ストックオプション(新株予約権)の内容、規模及びその変動状況

(1) ストックオプション(新株予約権)の内容

	2011年度ストックオプション(1)	2016年度ストックオプション(1)
付与対象者の区分及び人数	当社及び関係会社の 取締役・従業員 186名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 16名
株式の種類別のストックオプションの付与数（注）	普通株式 6,101,700株	普通株式 4,437,000株
付与日	2011年10月7日	2016年7月15日
権利確定条件	2013年10月7日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	2018年7月15日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の3分の1、3分の1、3分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで
権利行使期間	2013年10月7日から 2021年10月6日まで	2018年7月15日から 2026年7月31日まで

	2016年度ストックオプション(2)	2017年度ストックオプション(1)
付与対象者の区分及び人数	当社及び関係会社の 取締役・従業員 31名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 36名
株式の種類別のストックオプションの付与数（注）	普通株式 4,409,000株	普通株式 4,422,000株
付与日	2017年4月27日	2018年4月27日
権利確定条件	2019年4月27日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の3分の1、3分の1、3分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	2020年4月27日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の3分の1、3分の1、3分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで
権利行使期間	2019年4月27日から 2027年4月30日まで	2020年4月27日から 2028年4月30日まで

(注) 株式数に換算して記載しております。

(2) ストックオプション(新株予約権)の規模及びその変動状況
ストックオプション(新株予約権)の数

	2011年度ストックオプション(1)	2016年度ストックオプション(1)
付与日	2011年10月7日	2016年7月15日
権利確定前(株)		
期首	1,184,700	1,346,000
付与	0	0
失効	752,300	330,000
権利確定	0	0
権利未確定残	432,300	1,016,000
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

	2016年度ストックオプション(2)	2017年度ストックオプション(1)
付与日	2017年4月27日	2018年4月27日
権利確定前(株)		
期首	2,394,000	2,939,000
付与	0	0
失効	622,000	332,000
権利確定	0	0
権利未確定残	1,772,000	2,607,000
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

(注) 株式数に換算して記載しております。

単価情報

	2011年度ストックオプション(1)	2016年度ストックオプション(1)
付与日	2011年10月7日	2016年7月15日
権利行使価格(円)	737(注)3	558
付与日における公正な評価単価(円) (注)1	0	0

	2016年度ストックオプション(2)	2017年度ストックオプション(1)
付与日	2017年4月27日	2018年4月27日
権利行使価格(円)	553	694
付与日における公正な評価単価(円) (注)1	0	0

- (注) 1 公正な評価単価に代え、本源的価値（評価額と行使価格との差額）の見積りによっております。
- 2 ストックオプションの単位当たりの本源的価値による算定を行った場合の本源的価値の合計額
当事業年度末における本源的価値の合計額 1,738百万円
- 3 株式公開価格が737円（割当日後、株式の分割又は併合が行われたときは、当該金額は、当該株式の分割又は併合の内容を適切に反映するように調整される。）を上回る金額に定められた場合には、株式公開日において、権利行使価格は株式公開価格と同一の金額に調整されます。

第63期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1 ストックオプション(新株予約権)の内容、規模及びその変動状況

(1) ストックオプション(新株予約権)の内容

	2011年度ストックオプション(1)	2016年度ストックオプション(1)
付与対象者の区分及び人数	当社及び関係会社の 取締役・従業員 186名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 16名
株式の種類別のストックオプションの付与数（注）	普通株式 6,101,700株	普通株式 4,437,000株
付与日	2011年10月7日	2016年7月15日
権利確定条件	2013年10月7日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	2018年7月15日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の3分の1、3分の1、3分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで
権利行使期間	2013年10月7日から 2021年10月6日まで	2018年7月15日から 2026年7月31日まで

	2016年度ストックオプション(2)	2017年度ストックオプション(1)
付与対象者の区分及び人数	当社及び関係会社の 取締役・従業員 31名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 36名
株式の種類別のストックオプションの付与数（注）	普通株式 4,409,000株	普通株式 4,422,000株
付与日	2017年4月27日	2018年4月27日
権利確定条件	2019年4月27日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の3分の1、3分の1、3分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	2020年4月27日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の3分の1、3分の1、3分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。

対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から 2年を経過した日まで	付与日から、権利行使可能初日から 2年を経過した日まで
権利行使期間	2019年4月27日から 2027年4月30日まで	2020年4月27日から 2028年4月30日まで

(注) 株式数に換算して記載しております。

(2) ストックオプション(新株予約権)の規模及びその変動状況

ストックオプション(新株予約権)の数

	2011年度ストックオプション(1)	2016年度ストックオプション(1)
付与日	2011年10月7日	2016年7月15日
権利確定前(株)		
期首	432,300	1,016,000
付与	0	0
失効	432,300	928,000
権利確定	0	0
権利未確定残	-	88,000
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

	2016年度ストックオプション(2)	2017年度ストックオプション(1)
付与日	2017年4月27日	2018年4月27日
権利確定前(株)		
期首	1,772,000	2,607,000
付与	0	0
失効	956,000	1,071,000
権利確定	0	0
権利未確定残	816,000	1,536,000
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

(注) 株式数に換算して記載しております。

単価情報

	2011年度ストックオプション(1)	2016年度ストックオプション(1)
付与日	2011年10月7日	2016年7月15日
権利行使価格(円)	737(注)3	558

付与日における公正な評価単価 (円) (注) 1	0	0
-----------------------------	---	---

	2016年度ストックオプション(2)	2017年度ストックオプション(1)
付与日	2017年4月27日	2018年4月27日
権利行使価格(円)	553	694
付与日における公正な評価単価 (円) (注) 1	0	0

- (注) 1 公正な評価単価に代え、本源的価値(評価額と行使価格との差額)の見積りによっております。
 2 ストックオプションの単位当たりの本源的価値による算定を行った場合の本源的価値の合計額
 当事業年度末における本源的価値の合計額 1,222百万円
 3 株式公開価格が737円(割当日後、株式の分割又は併合が行われたときは、当該金額は、当該株式の分割
 又は併合の内容を適切に反映するように調整される。)を上回る金額に定められた場合には、株式公開日
 において、権利行使価格は株式公開価格と同一の金額に調整されます。

(税効果会計関係)

第62期 (2021年3月31日)	第63期 (2022年3月31日)
1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生的主要原因別の 内訳 (単位:百万円)	1 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生的主要原因別の 内訳 (単位:百万円)
繰延税金資産	繰延税金資産
賞与引当金 929	賞与引当金 1,341
投資有価証券評価損 97	投資有価証券評価損 97
関係会社株式評価損 1,430	関係会社株式評価損 52
退職給付引当金 446	退職給付引当金 427
固定資産減価償却費 90	固定資産減価償却費 87
その他 978	繰延ヘッジ損益 322
繰延税金資産小計 3,972	訴訟損失引当金 2,403
評価性引当金 1,430	その他 1,039
繰延税金資産合計 2,541	繰延税金資産小計 5,772
繰延税金負債	評価性引当金(注) 52
繰延ヘッジ利益 51	繰延税金資産合計 5,719
その他有価証券評価差額金 645	繰延税金負債
繰延税金負債合計 696	その他有価証券評価差額金 1,092
繰延税金資産の純額 1,845	その他 948
	繰延税金負債合計 2,041
	繰延税金資産の純額 3,678

(注) 関係会社株式評価損に係る繰延税金資産から控除した
 評価性引当金が、在外子会社の減資により1,377百万円
 減少しております。

2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳	2 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳
法定実効税率 (調整)	法定実効税率 (調整)
30.6%	30.6%
交際費等永久に損金に算入されない項目	交際費等永久に損金に算入されない項目
0.3%	0.1%
受取配当金等永久に益金に算入されない項目	受取配当金等永久に益金に算入されない項目
5.7%	10.9%
その他	評価性引当金の減少
1.0%	10.3%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	その他
26.2%	0.1%
	税効果会計適用後の法人税等の負担率
	9.4%

(関連当事者情報)

第62期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社と関連当事者の取引

(ア) 財務諸表提出会社の親会社

重要な該当事項はありません。

(イ) 財務諸表提出会社の子会社

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
子会社	Nikko Asset Management International Limited	シンガポール国	342,369 (SGD千)	アセット マネジメント 業	直接 100.00	-	資金の貸付 (米国ドル 貸建) (注1)	-	関係会社 短期 貸付金	1,825 (USD 16,500千)
							貸付金利息 (米国ドル 貸建) (注1)	63 (USD 596千)	未収収益	7 (USD 71千)
							資金の貸付 (円貸建) (注1)	-	関係会社 短期 貸付金	577
							貸付金利息 (円貸建) (注1)	12	未収収益	3
子会社	Nikko AM Americas Holding Co., Inc.	米国	131,079 (USD千) (注2)	アセット マネジメント 業	直接 100.00	-	配当の受取	1,783 (USD 17,000千)	-	-
子会社	Nikko Asset Management Luxembourg S.A.	ルクセンブルグ	2,828 (EUR千)	アセット マネジメント 業	直接 100.00	-	増資の引受 (注3)	217 (EUR 1,750千)	-	-

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- 融資枠5,000百万円(若しくは5,000百万円相当額の外国通貨)、返済期間1年間のリボルビング・ローンで、金利は市場金利を勘案して決定しております。
- Nikko AM Americas Holding Co., Inc.の資本金は、資本金及び資本剰余金の合計額を記載しております。
- Nikko Asset Management Luxembourg S.A.の行った70,000株の新株発行増資を、1株につき25ユーロで当社が引き受けたものであります。

2 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社(東京証券取引所等に上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

当事業年度において、重要な関連会社は融通(ロントン)基金管理有限公司であり、その要約財務情報は以下のとおりであります。なお、下記数値は2020年12月31日に終了した年度の財務諸表を当日の直物為替相場で円貨に換算したものであります。

資産合計	30,151百万円
負債合計	5,919百万円
純資産合計	24,231百万円
営業収益	19,946百万円
税引前当期純利益	7,020百万円
当期純利益	5,194百万円

第63期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社と関連当事者の取引

(ア) 財務諸表提出会社の親会社

重要な該当事項はありません。

(イ) 財務諸表提出会社の子会社

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金	事業の内容	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
子会社	Nikko Asset Management International Limited	シンガポール国	232,369 (SGD千)	アセットマネジメント業	直接100.00	-	資金の貸付(米国ドル貸建)(注1)	-	関係会社短期貸付金	2,019 (USD 16,500千)
							貸付金利息(米国ドル貸建)(注1)	44 (USD 397千)	未収収益	10 (USD 86千)
							資金の返済(円貸建)(注1)	577	関係会社短期貸付金	-
							貸付金利息(円貸建)(注1)	3	未収収益	-
							資金の貸付(シンガポールドル貸建)(注1)	2,788 (SGD 33,000千)	関係会社短期貸付金	2,985 (SGD 33,000千)
							貸付金利息(シンガポールドル貸建)(注1)	23 (SGD 266千)	未収収益	23 (SGD 266千)
減資(注2)	9,149 (SGD 110,000千)	-	-							
子会社	Nikko AM Americas Holding Co., Inc.	米国	131,079 (USD千)(注3)	アセットマネジメント業	直接100.00	-	配当の受取	3,788 (USD 34,000千)	-	-

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- 融資枠5,300百万円(若しくは5,300百万円相当額の外国通貨)、返済期間1年間のリボルビング・ローンで、金利は市場金利を勘案して決定しております。
- Nikko Asset Management International Limitedの行った110,000千株の減資により、当社は資金の払戻を受けております。
- Nikko AM Americas Holding Co., Inc.の資本金は、資本金及び資本剰余金の合計額を記載しております。

2 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社(東京証券取引所等に上場)

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

当事業年度において、重要な関連会社は融通(ロントン)基金管理有限公司であり、その要約財務情報は以下のとおりであります。なお、下記数値は2021年12月31日に終了した年度の財務諸表を当日の直物為替相場場で円貨に換算したものであります。

資産合計	34,450百万円
------	-----------

負債合計	6,257百万円
純資産合計	28,192百万円
営業収益	18,176百万円
税引前当期純利益	5,587百万円
当期純利益	3,956百万円

（セグメント情報等）

セグメント情報

第62期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

当社はアセットマネジメント業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

第63期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

当社はアセットマネジメント業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

関連情報

第62期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービスはアセットマネジメント業として単一であるため、記載しておりません。

2 地域ごとの情報

(1) 営業収益

国内の外部顧客への営業収益に分類した額が営業収益の90%超であるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

国外に所在している有形固定資産が無い場合、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める単一の外部顧客が無い場合、記載しておりません。

第63期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービスはアセットマネジメント業として単一であるため、記載しておりません。

2 地域ごとの情報

(1) 営業収益

国内の外部顧客への営業収益に分類した額が営業収益の90%超であるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

国外に所在している有形固定資産が無い場合、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める単一の外部顧客が無い場合、記載しておりません。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

第62期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

第63期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

第62期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

第63期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

第62期(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

第63期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

第63期(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1 顧客との契約から生じる収益を分解した情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

2 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報は、「(重要な会計方針) 4 収益の計上基準」に記載のとおりです。

3 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から当事業年度の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(1株当たり情報)

項目	第62期	第63期
	(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	432円90銭	468円88銭
1株当たり当期純利益金額	48円45銭	62円50銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、当社株式が非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので、希薄化効果を算定できないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	第62期	第63期
	(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益(百万円)	9,424	12,136
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る当期純利益(百万円)	9,424	12,136
普通株式の期中平均株式数(千株)	194,509	194,152

希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	2011年度ストックオプション (1) 432,300株、2016年度ストックオプション(1) 1,016,000株、2016年度ストックオプション(2) 1,772,000株、2017年度ストックオプション(1) 2,607,000株	2016年度ストックオプション (1) 88,000株、2016年度ストックオプション(2) 816,000株、2017年度ストックオプション(1) 1,536,000株
--	---	--

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	第62期 (2021年3月31日)	第63期 (2022年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	84,049	91,035
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	-	-
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	84,049	91,035
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	194,152	194,152

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

中間財務諸表等

(1) 中間貸借対照表

(単位:百万円)

		第64期中間会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金		33,164
有価証券		481
未収委託者報酬		16,607
未収収益		1,063
関係会社短期貸付金		3,335
その他	2	3,967
流動資産合計		58,620
固定資産		
有形固定資産	1	404
無形固定資産		353
投資その他の資産		
投資有価証券		23,904
関係会社株式		22,366
長期差入保証金		416
繰延税金資産		4,029
投資その他の資産合計		50,718
固定資産合計		51,476
資産合計		110,097

(単位:百万円)

第64期中間会計期間
(2022年9月30日)

負債の部	
流動負債	
未払金	7,815
未払費用	3,556
未払法人税等	3,271
未払消費税等	3
賞与引当金	1,924
役員賞与引当金	110
その他	1,258
流動負債合計	18,282
固定負債	
退職給付引当金	1,445
賞与引当金	321
役員賞与引当金	16
その他	119
固定負債合計	1,903
負債合計	20,186
純資産の部	
株主資本	
資本金	17,363
資本剰余金	
資本準備金	5,220
資本剰余金合計	5,220
利益剰余金	
その他利益剰余金	
繰越利益剰余金	68,572
利益剰余金合計	68,572
自己株式	2,067
株主資本合計	89,088
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	2,064
繰延ヘッジ損益	1,242
評価・換算差額等合計	822
純資産合計	89,911
負債純資産合計	110,097

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

第64期中間会計期間
(自 2022年4月1日
至 2022年9月30日)

営業収益	
委託者報酬	38,118
その他営業収益	1,728
営業収益合計	39,846

営業費用及び一般管理費	1	34,563
営業利益		5,283
営業外収益	2	1,046
営業外費用	3	516
経常利益		5,813
特別利益	4	4,602
特別損失	5	137
税引前中間純利益		10,277
法人税等	6	3,185
中間純利益		7,091

(3) 中間株主資本等変動計算書

第64期中間会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本						株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	
		資本 準備金	資本 剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計		
当期首残高	17,363	5,220	5,220	68,901	68,901	2,067	89,417
当中間期変動額							
剰余金の配当				7,420	7,420		7,420
中間純利益				7,091	7,091		7,091
株主資本以外の項目の 当中間期変動額 (純額)							
当中間期変動額合計	-	-	-	328	328	-	328
当中間期末残高	17,363	5,220	5,220	68,572	68,572	2,067	89,088

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	2,350	731	1,618	91,035
当中間期変動額				
剰余金の配当				7,420
中間純利益				7,091
株主資本以外の項目の 当中間期変動額 (純額)	285	510	795	795
当中間期変動額合計	285	510	795	1,124
当中間期末残高	2,064	1,242	822	89,911

注記事項

(重要な会計方針)

項目	第64期中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
----	---

1 資産の評価基準及び評価方法	<p>(1) 有価証券 子会社株式及び関連会社株式 総平均法による原価法</p> <p>その他有価証券 市場価格のない株式等以外のもの 時価法(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、総平均法により算定)</p> <p>市場価格のない株式等 総平均法による原価法</p>
2 固定資産の減価償却の方法	<p>(2) デリバティブ 時価法</p> <p>(1) 有形固定資産 定率法により償却しております。ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。</p> <p>(2) 無形固定資産 定額法により償却しております。なお、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。</p>
3 引当金の計上基準	<p>(1) 賞与引当金 従業員に支給する賞与の支払に充てるため、支払見込額に基づき当中間会計期間負担額を計上しております。</p> <p>(2) 役員賞与引当金 役員に支給する賞与の支払に充てるため、支払見込額に基づき当中間会計期間負担額を計上しております。</p> <p>(3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。</p> <p>退職給付見込額の期間帰属方法 退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当中間会計期間末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。</p> <p>数理計算上の差異の費用処理方法 数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。</p>
4 収益の計上基準	<p>当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行业務の内容及び当該履行业務を充足する通常の時点(収益を認識する通常の時点)は以下のとおりであります。</p> <p>(1) 投資信託委託業務 当社は、投資信託契約に基づき投資信託商品に関する投信委託サービスを提供し、商品の運用資産残高(以下「AUM」)に応じて手数料を受領しております。サービスの提供を通じて得られる投資信託報酬は、各ファンドのAUMに固定料率を乗じて毎日計算され、日次で収益を認識しております。</p> <p>(2) 投資顧問業務 当社は、投資顧問契約に基づき機関投資家に投資顧問サービスを提供し、ファンドのAUMに応じて手数料を受領しております。サービスの提供を通じて得られる投資顧問報酬は、一般的に各ファンドのAUMに投資顧問契約で定められた固定料率を乗じて毎月計算され、月次で収益を認識しております。</p>

5 ヘッジ会計の方法	<p>(3) 成功報酬 当社がファンドの運用成果に応じて受領する成功報酬は、投資信託契約または投資顧問契約のもと、報酬を受領することが確実であり、将来返還する可能性が無いことが判明した時点で収益を認識しております。</p> <p>(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっております。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段は為替予約、ヘッジ対象は投資有価証券であります。</p> <p>(3) ヘッジ方針 ヘッジ取引細則等に基づき、ヘッジ対象に係る為替変動リスクをヘッジしております。</p> <p>(4) ヘッジ有効性評価の方法 ヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間における相場変動によるヘッジ手段及びヘッジ対象資産に係る損益の累計を比較し有効性を評価しております。</p>
6 その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>(1) 資産に係る控除対象外消費税等の会計処理 資産に係る控除対象外消費税及び地方消費税は当中間会計期間の費用として処理しております。</p> <p>(2) 税金費用の計算方法 税金費用については、当中間会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に、当該見積実効税率を乗じて計算しております。</p>

(会計方針の変更)

<p>第64期中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)</p>
<p>(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用) 「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当中間会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、当中間財務諸表に与える影響は軽微であります。</p>

(表示方法の変更)

<p>第64期中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)</p>
<p>(損益計算書) その他有価証券の為替リスクヘッジに係るヘッジ損益について、ヘッジ対象の損益認識時に繰延ヘッジ損益を純損益に計上するに当たり、前中間会計期間において、「営業外費用」に含めていましたが、金額的重要性が高まったことから、ヘッジの効果をより明瞭に表示するため当中間会計期間よりヘッジ対象の損益区分と同一区分である特別利益あるいは特別損失として表示することとしております。</p>

(中間貸借対照表関係)

<p>第64期中間会計期間 (2022年9月30日)</p>	
1	<p>有形固定資産の減価償却累計額 2,264百万円</p>
2	<p>信託資産 流動資産のその他のうち2百万円は、「直販顧客分別金信託契約」により、野村信託銀行株式会社に信託しております。</p>

3 消費税等の取扱い

仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、「未払消費税等」として表示しております。

4 保証債務

ティンダルエクイティーズ・オーストラリア・ピーティーワイ・リミテッド（旧社名「日興AMエクイティーズ・オーストラリア・ピーティーワイ・リミテッド」）が発行する買戻し条件付株式の買戻請求に関する債務について、ヤラ・キャピタル・マネジメント・リミテッドは最大470百万円（5百万豪ドル）を提供する義務を負っています。当社はヤラ・キャピタル・マネジメント・リミテッドが負う当該資金提供義務を保証しております。

（中間損益計算書関係）

第64期中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
1 減価償却実施額	
有形固定資産	50百万円
無形固定資産	37百万円
2 営業外収益のうち主要なもの	
受取利息	40百万円
受取配当金	131百万円
デリバティブ収益	685百万円
3 営業外費用のうち主要なもの	
支払利息	156百万円
為替差損	351百万円
4 特別利益のうち主要なもの	
投資有価証券売却益	120百万円
訴訟損失引当金戻入額	4,481百万円
5 特別損失のうち主要なもの	
投資有価証券売却損	137百万円
6 中間会計期間における税金費用につきましては、簡便法により計算しているため、法人税等調整額は「法人税等」に含めて表示しております。	

（中間株主資本等変動計算書関係）

第64期中間会計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当中間会計期間増加	当中間会計期間減少	当中間会計期間末
普通株式（株）	197,012,500	-	-	197,012,500

2 自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当中間会計期間増加	当中間会計期間減少	当中間会計期間末
普通株式（株）	2,860,000	-	-	2,860,000

3 新株予約権等に関する事項

新株予約権の内訳	新株予約権の 目的となる 株式の種類	新株予約権の目的となる株式の数(株)				当中間会 計期間末 残高 (百万円)
		当事業 年度期首	当中間 会計期間 増加	当中間 会計期間 減少	当中間 会計期間末	

2016年度 ストックオプション(1)	普通株式	88,000	-	88,000	-	-
2016年度 ストックオプション(2)	普通株式	816,000	-	599,000	217,000	-
2017年度 ストックオプション(1)	普通株式	1,536,000	-	667,000	869,000	-
合計		2,440,000	-	1,354,000	1,086,000	-

(注) 1 当中間会計期間の減少は、新株予約権の失効等によるものであります。

2 2016年度ストックオプション(2)217,000株及び2017年度ストックオプション(1)869,000株は、当中間会計期間末現在、権利行使期間の初日が到来しておりますが、他の条件が満たされていないため新株予約権を行使することができません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2022年5月27日 取締役会	普通株式	7,420	38.22	2022年3月31日	2022年6月27日

(2) 基準日が当中間会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

(リース取引関係)

第64期中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
オペレーティング・リース取引 解約不能のものに係る未経過リース料	
1年内	910百万円
1年超	3,870百万円
合計	4,780百万円

(金融商品関係)

第64期中間会計期間(2022年9月30日)

金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額並びにレベルごとの内訳等については、次のとおりであります。なお、市場価格のない株式等は、次表には含めておりません。

また、金融商品の時価は、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下3つのレベルに分類しております。

レベル1の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、活発な市場において形成される当該時価の算定の対象となる資産又は負債に関する相場価格により算定した時価

レベル2の時価：観察可能な時価の算定に係るインプットのうち、レベル1のインプット以外の時価の算定に係るインプットを用いて算定した時価

レベル3の時価：観察できない時価の算定に係るインプットを使用して算定した時価

時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

(1) 時価をもって中間貸借対照表価額とする金融資産及び金融負債

(単位：百万円)

	中間貸借対照表計上額			
	レベル1	レベル2	レベル3	合計

有価証券 その他有価証券 投資信託	4,796	19,572	-	24,369
資産計	4,796	19,572	-	24,369
デリバティブ取引(1、2)				
株式関連	666	-	-	666
通貨関連	-	626	-	626
デリバティブ取引計	666	626	-	39

- (1) デリバティブ取引によって生じた正味の債権・債務は純額で表示しており、合計で正味の債務となる項目については、
で示しております。
- (2) 株式関連のデリバティブ取引のうち666百万円は、中間貸借対照表上流動資産のその他に含まれております。また通貨関連のデリバティブ取引のうち626百万円は、流動負債のその他に含まれております。

(2) 時価をもって中間貸借対照表価額としない金融資産及び金融負債

現金・預金、未収委託者報酬、未収収益、関係会社短期貸付金、未払金及び未払費用は、短期間（1年以内）で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。

(注1) 時価の算定に用いた評価技法及びインプットの説明

資 産

有価証券

上場投資信託は、取引所の価格を時価としており、市場の活発性に基づき、レベル1の時価に分類しております。市場における取引価格が存在しない投資信託については、解約又は買取請求に関して市場参加者からリスクの対価を求められるほどの重要な制限が無い場合には基準価額等を時価としており、レベル2の時価に分類しております。

デリバティブ取引

株式関連

株式指数先物取引は活発な市場における無調整の相場価格を利用できることから、その時価をレベル1に分類しております。

通貨関連

為替予約の時価は、金利や為替レート等の観察可能なインプットを用いて割引現在価値法により算定しており、レベル2の時価に分類しております。

(注2) 市場価格のない株式等の中間貸借対照表計上額は次のとおりであります。

(単位：百万円)

区分	中間貸借対照表計上額
非上場株式	16
子会社株式	17,183
関連会社株式	5,183

(有価証券関係)

第64期中間会計期間(2022年9月30日)

1 子会社株式及び関連会社株式

(注)子会社株式及び関連会社株式は市場価格がない株式等であり、(金融商品関係)金融商品の時価等及び時価のレベルごとの内訳等に関する事項(注2)に記載のとおりであります。

2 その他有価証券

(単位：百万円)

	種類	中間貸借対照表計上額	取得原価	差額

中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	投資信託	17,633	13,768	3,865
	小計	17,633	13,768	3,865
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	投資信託	6,735	7,625	889
	小計	6,735	7,625	889
合計		24,369	21,393	2,976

(注) 1 減損処理にあたっては、中間期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合にはすべて減損処理を行い、30%～50%程度下落した場合には、当該金額の重要性、回復可能性等を考慮して必要と認められた額について減損処理を行っております。当中間会計期間については、該当ございません。

2 非上場株式(中間貸借対照表計上額16百万円)については、市場価格がない株式等であることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

(デリバティブ取引関係)

第64期中間会計期間(2022年9月30日)

1 ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(1) 株式関連

種類		契約額等 (百万円)	契約額等の うち1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引	株価指数先物取引 売建	7,428	-	666	666
合計		7,428	-	666	666

(注) 1 上記取引については時価評価を行い、評価損益は損益計算書に計上しております。

(2) 通貨関連

種類		契約額等 (百万円)	契約額等の うち1年超 (百万円)	時価 (百万円)	評価損益 (百万円)
市場取引 以外の取引	為替予約取引 売建 シンガポール ドル	3,222	-	98	98
合計		3,222	-	98	98

(注) 1 上記取引については時価評価を行い、評価損益は損益計算書に計上しております。

2 ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引 通貨関連

ヘッジ会計 の方法	デリバティブ取引の 種類等	主なヘッジ対象	契約額等 (百万円)	契約額等の うち1年超 (百万円)	時価 (百万円)
原則的 処理方法	為替予約取引 売建	投資有価証券			
	米ドル		6,241	-	357
	豪ドル		193	-	0
	ユーロ		319	-	8
	香港ドル		976	-	68
	人民元	6,254	-	94	
合計			13,984	-	528

（持分法損益等）

第64期中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	
関連会社に持分法を適用した場合の投資損益等	
(1) 関連会社に対する投資の金額	5,327百万円
(2) 持分法を適用した場合の投資の金額	17,684百万円
(3) 持分法を適用した場合の投資利益の金額	1,341百万円

（収益認識関係）

第64期中間会計期間(2022年9月30日)

- 顧客との契約から生じる収益を分解した情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。
- 顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報
顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報は、「重要な会計方針 4 . 収益の計上基準」に記載のとおりです。
- 顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当中間会計期間末において存在する顧客との契約から当中間会計期間の末日後に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。

（ストックオプション等関係）

第64期中間会計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

〔セグメント情報〕

第64期中間会計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

当社はアセットマネジメント業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

〔関連情報〕

第64期中間会計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

- 製品及びサービスごとの情報
当社の製品及びサービスはアセットマネジメント業として単一であるため、記載しておりません。
- 地域ごとの情報
 - 営業収益
国内の外部顧客への営業収益に分類した額が営業収益の90%超であるため、記載を省略しております。
 - 有形固定資産
国外に所在している有形固定資産が無いため、該当事項はありません。
- 主要な顧客ごとの情報
営業収益の10%以上を占める単一の外部顧客が無いため、記載しておりません。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

第64期中間会計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
該当事項はありません。

報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報
第64期中間会計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
該当事項はありません。

報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報
第64期中間会計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	第64期中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
1株当たり純資産額	463円09銭
1株当たり中間純利益金額	36円52銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額については、新株予約権等の残高はありますが、当社株式が非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので、希薄化効果を算定できないため記載しておりません。

2 1株当たり中間純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	第64期中間会計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
中間純利益(百万円)	7,091
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-
普通株式に係る中間純利益(百万円)	7,091
普通株式の期中平均株式数(千株)	194,152
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり中間純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	2016年度ストックオプション(2)217,000株、 2017年度ストックオプション(1)869,000株

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	第64期中間会計期間 (2022年9月30日)
中間貸借対照表の純資産の部の合計額(百万円)	89,911
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	-
普通株式に係る中間会計期間末の純資産額(百万円)	89,911
1株当たり純資産額の算定に用いられた中間会計期間末の普通株式の数(千株)	194,152

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4【利害関係人との取引制限】

委託会社は、「金融商品取引法」の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

- (1) 自己またはその取締役もしくは執行役との間における取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- (2) 運用財産相互間において取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと（投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。

- (3) 通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等(委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下(4)、(5)において同じ。)または子法人等(委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。)と有価証券の売買その他の取引または金融デリバティブ取引を行なうこと。
- (4) 委託会社の親法人等または子法人等の利益を図るため、その行なう投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額もしくは市場の状況に照らして不必要な取引を行なうことを内容とした運用を行なうこと。
- (5) 上記(3)、(4)に掲げるもののほか、委託会社の親法人等または子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、もしくは取引の公正を害し、または金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為。

5【その他】

(1) 定款の変更

委託会社の定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

(2) 訴訟事件その他の重要事項

委託会社に重要な影響を与えた事実、または与えると予想される訴訟事件などは発生していません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1) 受託会社

名 称	資本金の額 (2022年3月末現在)	事業の内容
野村信託銀行株式会社	50,000百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

(2) 販売会社

名 称	資本金の額 (2022年3月末現在)	事業の内容
あかつき証券株式会社	3,067百万円	金融商品取引法に定める第
池田泉州T T証券株式会社	1,250百万円	
岩井コスモ証券株式会社	13,500百万円	
auカブコム証券株式会社	7,196百万円	
S M B C 日興証券株式会社	10,000百万円	
株式会社 S B I 証券	48,323百万円	
九州 F G 証券株式会社	3,000百万円	
四国アライアンス証券株式会社	3,000百万円	
七十七証券株式会社	3,000百万円	
ちばぎん証券株式会社	4,374百万円	
東海東京証券株式会社	6,000百万円	
とうほう証券株式会社	3,000百万円	
東洋証券株式会社	13,494百万円	
内藤証券株式会社	3,002百万円	

西日本シティ T T 証券株式会社	3,000百万円	一種金融商品取引業を営んでいます。
日産証券株式会社	1,500百万円	
野村証券株式会社	10,000百万円	
浜銀 T T 証券株式会社 1	3,307百万円	
ばんせい証券株式会社	1,558百万円	
ひろぎん証券株式会社 1	5,000百万円	
ほくほく T T 証券株式会社 1	1,250百万円	
北洋証券株式会社	3,000百万円	
松井証券株式会社	11,945百万円	
マネックス証券株式会社	12,200百万円	
みずほ証券株式会社 1	125,167百万円	
明和証券株式会社	511百万円	
楽天証券株式会社	17,495百万円	
ワイエム証券株式会社	1,270百万円	銀行法に基づき銀行業を営んでいます。
株式会社あおぞら銀行 1	100,000百万円	
株式会社秋田銀行	14,100百万円	
株式会社足利銀行	135,000百万円	
株式会社伊予銀行	20,948百万円	
株式会社沖縄銀行	22,725百万円	
株式会社鹿児島銀行	18,130百万円	
株式会社関西みらい銀行	38,971百万円	
株式会社北九州銀行	10,000百万円	
株式会社北日本銀行	7,761百万円	
株式会社紀陽銀行	80,096百万円	
株式会社群馬銀行	48,652百万円	
株式会社埼玉りそな銀行	70,000百万円	
株式会社滋賀銀行	33,076百万円	
株式会社七十七銀行	24,658百万円	
株式会社十八親和銀行	36,878百万円	
スルガ銀行株式会社	30,043百万円	
株式会社第四北越銀行	32,776百万円	
株式会社千葉銀行	145,069百万円	
株式会社東邦銀行	23,519百万円	
株式会社徳島大正銀行 1	11,036百万円	
株式会社鳥取銀行	9,061百万円	
株式会社トマト銀行	17,810百万円	
株式会社長野銀行	13,017百万円	
株式会社南都銀行	37,924百万円	
株式会社肥後銀行	18,128百万円	
株式会社百十四銀行	37,322百万円	
株式会社広島銀行	54,573百万円	
株式会社福岡銀行	82,329百万円	

PayPay銀行株式会社	37,250百万円	
株式会社豊和銀行	12,495百万円	
株式会社北洋銀行 1	121,101百万円	
株式会社北國銀行	26,673百万円	
株式会社宮崎太陽銀行	15,252百万円	
株式会社もみじ銀行	10,000百万円	
株式会社山口銀行	10,005百万円	
株式会社山梨中央銀行	15,400百万円	
三井住友信託銀行株式会社	342,037百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。
株式会社りそな銀行	279,928百万円	
全国信用協同組合連合会	111,875百万円 (出資の総額)	協同組合による金融事業に関する法律に基づき金融事業を営んでいます。

1 募集の取扱いを行いません。

(3) 投資顧問会社

名 称	資本金の額	事業の内容
ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー	372百万米ドル (2021年12月末現在)	資産運用に関する業務を営んでいます。
MFS インターナショナル(U.K.) リミテッド	1,996千英ポンド (2022年12月末現在)	
JPMorgan・アセット・マネジメン ト株式会社	2,218百万円 (2022年9月末現在)	
ジャナス・ヘンダーソン・インベ スターズ・US・エルエルシー	871.4百万米ドル 資本の額 (2022年9月末現在)	
スパークス・アセット・マネジメン ト株式会社	2,500百万円 (2022年12月末現在)	
シュローダー・インベストメント・マ ネージメント(シンガポール)リミ テッド	5,077万シンガポールドル (2022年12月末現在)	
日興アセットマネジメント アメリ カズ・インク	181百万米ドル 資本金と資本剰余金 の合計額 (2022年3月末現在)	
日興グローバルラップ株式会社	1,499百万円 (2022年12月末現在)	
三井住友トラスト・アセットマネジ メント株式会社	2,000百万円 (2022年12月末現在)	

2【関係業務の概要】

(1) 受託会社

ファンドの信託財産に属する有価証券の管理・計算事務などを行いません。

(2) 販売会社

日本におけるファンドの募集、解約、収益分配金および償還金の取扱いなどを行いません。

(3) 投資顧問会社

- ・委託会社から、マザーファンドの運用指図権限の委託を受け当該ファンドの運用(投資一任)を行いません。
J Pモルガン・アセット・マネジメント株式会社
スパークス・アセット・マネジメント株式会社
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・U S・エルエルシー
M F Sインターナショナル(U.K.)リミテッド
シュローダー・インベストメント・マネージメント(シンガポール)リミテッド
ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー
- ・各マザーファンドの適切な組入比率の投資助言および投資顧問会社の評価・選定などに関する情報提供や助言などを行いません。
日興グローバルラップ株式会社
- ・各マザーファンドの投資顧問会社の評価・選定などに関する情報提供や助言などを行いません。
日興アセットマネジメント アメリカズ・インク

3【資本関係】

(1) 受託会社

該当事項はありません。

(2) 販売会社

該当事項はありません。

(3) 投資顧問会社

日興アセットマネジメント株式会社の100%子会社である持株会社が、日興アセットマネジメント アメリカズ・インクの発行済株式総数の100%を保有しております。(2022年3月末現在)

第3【その他】

- (1) 目論見書の別称として「投資信託説明書(交付目論見書)」または「投資信託説明書(請求目論見書)」という名称を使用します。
- (2) 目論見書の表紙、表紙裏または裏表紙に、以下を記載することがあります。
 - 委託会社の金融商品取引業者登録番号および設立年月日
 - ファンドの基本的性格など
 - 委託会社およびファンドのロゴ・マークや図案など
 - 委託会社のホームページや携帯電話サイトのご案内など
 - 目論見書の使用開始日
- (3) 目論見書の表紙または表紙裏に、以下の趣旨の文章の全部または一部を記載することがあります。
 - 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではない旨。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはならない旨の記載。
 - 投資信託は、元金および利回りが保証されているものではない旨の記載。
 - 投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託を購入されたお客様が負う旨の記載。
 - 「金融商品取引法第13条の規定に基づく目論見書である。」旨の記載。
 - 「ご購入に際しては、目論見書の内容を十分にお読みください。」という趣旨の記載。
 - 請求目論見書の入手方法(ホームページで閲覧、ダウンロードできるなど)についての記載。
 - 請求目論見書は投資者の請求により販売会社から交付される旨および当該請求を行なった場合にはその旨の記録をしておくべきである旨の記載。
 - 「約款が請求目論見書に掲載されている。」旨の記載。
 - 商品内容に関して重大な変更を行なう場合には、投資信託及び投資法人に関する法律に基づき事前に受益者の意向を確認する旨の記載。
 - 投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されている旨の記載。
 - 有価証券届出書の効力発生およびその確認方法に関する記載。
 - 委託会社の情報として記載することが望ましい事項と判断する事項がある場合は、当該事項の記載。

- (4) 有価証券届出書本文「第一部 証券情報」、「第二部 ファンド情報」に記載の内容について、投資者の理解を助けるため、当該内容を説明した図表などを付加して目論見書の当該内容に関連する箇所に記載することがあります。
- (5) 目論見書に約款を掲載し、有価証券届出書本文「第二部 ファンド情報」中「第1 ファンドの状況」「2 投資方針」の詳細な内容につきましては、当該約款を参照する旨を記載することで、目論見書の内容の記載とすることがあります。
- (6) 投信評価機関、投信評価会社などによる評価を取得・使用することがあります。
- (7) 目論見書は電子媒体などとして使用されるほか、インターネットなどに掲載されることがあります。
- (8) 交付目論見書の投資リスクに、以下の趣旨の文章の全部または一部を記載することがあります。

ファンドの取引に関して、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用がない旨の記載。

投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではない旨。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはならない旨の記載。

ファンドは、大量の解約が発生し、短期間で解約資金の手当てをする必要が生じた場合や、主たる取引市場において市場が急変した場合などに、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがある旨。これにより、基準価額にマイナスの影響をおよぼす可能性や、換金の申込みの受付を中止する可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性がある旨の記載。

分配金は、投資信託の純資産から支払われるので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がる旨。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合がある旨。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合がある旨の記載。

独立監査人の監査報告書

2022年6月13日

日興アセットマネジメント株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人
東京事務所指定有限責任社員 公認会計士 貞 廣 篤 典
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 三 上 和 彦
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている日興アセットマネジメント株式会社の2021年4月1日から2022年3月31日までの第63期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、日興アセットマネジメント株式会社の2022年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、監査した財務諸表を含む開示書類に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。

当監査法人は、その他の記載内容が存在しないと判断したため、その他の記載内容に対するいかなる作業も実施していない。

財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。

- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注)1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

2023年3月29日

日興アセットマネジメント株式会社

取締役会御中

PwCあらた有限責任監査法人
東京事務所指定有限責任社員 公認会計士 辻村 和之
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 榊原 康太
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられているGW7つの卵の2022年1月12日から2023年1月10日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、GW7つの卵の2023年1月10日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、日興アセットマネジメント株式会社及びファンドから独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、有価証券報告書及び有価証券届出書（訂正有価証券届出書を含む。）に含まれる情報のうち、財務諸表及びその監査報告書以外の情報である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。

当監査法人の財務諸表に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

財務諸表監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と財務諸表又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうかを検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての財務諸表に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する財務諸表の注記事項が適切でない場合は、財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、ファンドは継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- 財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた財務諸表の表示、構成及び内容、並びに財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。

監査人は、経営者に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

日興アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注)1. 上記の監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。

独立監査人の中間監査報告書

2022年12月5日

日興アセットマネジメント株式会社
取締役会御中

有限責任 あずさ監査法人

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 秋 宗 勝 彦

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 三 上 和 彦

中間監査意見

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている日興アセットマネジメント株式会社の2022年4月1日から2023年3月31日までの第64期事業年度の中間会計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）に係る中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益計算書、中間株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について中間監査を行った。

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、日興アセットマネジメント株式会社の2022年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する中間会計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の経営成績に関する有用な情報を表示しているものと認める。

中間監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準における当監査法人の責任は、「中間財務諸表監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

中間財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき中間財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

中間財務諸表監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した中間監査に基づいて、全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得て、中間監査報告書において独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、中間財務諸表の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に従って、中間監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応する中間監査手続を立案し、実施する。中間監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。なお、中間監査手続は、年度監査と比べて監査手続の一部が省略され、監査人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示リスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要な応じて追加の監査手続が選択及び適用される。
- 中間財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- 経営者が継続企業を前提として中間財務諸表を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、

継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、中間監査報告書において中間財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する中間財務諸表の注記事項が適切でない場合は、中間財務諸表に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、中間監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 中間財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた中間財務諸表の表示、構成及び内容、並びに中間財務諸表が基礎となる取引や会計事象に関して有用な情報を表示しているかどうかを評価する。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した中間監査の範囲とその実施時期、中間監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む中間監査上の重要な発見事項、及び中間監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注)1. 上記の中間監査報告書の原本は当社が別途保管しております。

2. X B R L データは中間監査の対象には含まれていません。